

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（27）
2. 日時：令和2年11月18日 13時30分～18時50分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、名倉安全管理調査官、江崎企画調査官、  
止野上席安全審査官、植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官、  
藤原主任安全審査官、皆川主任安全審査官、宮本主任安全審査官、  
小野安全審査専門職、土居安全審査専門職、服部安全審査専門職、  
杉原技術参与、山浦技術参与、西澤原子力規制専門員

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 副部長、他2名

原子力本部 土木建築部 部長、他8名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「新型コロナウイルス感染症対策に係る原子力規制委員会の対応の一部変更について」（令和2年6月24日 第12回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- （1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（地盤支持性能）（O2-他-F-19-0001\_改1）
- （2）VI-2-1-3 地盤の支持性能に係る基本方針（O2-工-B-19-0001\_改1）（令和2年10月12日提出資料）
- （3）補足-600-1【地盤の支持性能について】（O2-補-E-19-0600-1\_改3）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁フジワラです。1時間になりましたので、と地盤の支持に関するヒアリングの方始めたいと思います。前半と後半に分かれまして、前半のほうにつきましてはその地下水位低下設備の位置付け、その辺り、説明のほうは先にやりたいと思いますので、
0:00:17	それでは説明のほう、特に電力さんの方をお願いします。
0:00:22	はい。東北電力のダテでございます。それでは10月10日のヒアリング引き続き今コメント回答ということで始めたいと思います。資料の確認でございますけれども、資料3点でございます。①ということで回答整理上映を置かF-19-000近い一番でございます。
0:00:44	次に資料②といたしまして、O2孔B190001の会議一番映像地盤の申請に係る間接関わる基本方針ということでございます。こちらは10月12日のヒアリングと同じ盤をゲームしてございます。
0:01:00	次最後三番目でございますけれども2歩e-19-06001階の3、補助600のうち、地盤の申請についてということでございます。
0:01:10	この3点でございますが、今回の処理につきましては、10月人事についていただいたコメントのうち主に地下水関係の設定関係のコメントの回答ということで資料のほうを準備してございます。最初ですね、まず第1部ということで、
0:01:27	まず設備の回位海洋でその運用についてこのあたりについてご説明されたと思いますが、説明につきましては資料の③番、補足説明書のほうで御説明したいと思います。
0:01:41	それでは資料を③番でございますが、設備の構成概要について御説明いたします。ページで画素参考の3号、1-1というページでございます。
0:01:53	③番の資料のやや真ん中より後ろのほうでございますけれども、参考資料3-1と。
0:01:59	いう資料でございます。
0:02:02	こちらのほうで地下水位低下設備の全体概要ということで御説明いたします。
0:02:07	参考の3-1-1ページでございます。こちら全体配置ということでお示ししてございます。大きく2号原子炉建屋エリアと3号のMS交換機建屋だということで、それぞれ各エリアに要請が二つ。
0:02:23	続いていると色ん中にポンプ配管設計を内包しておるということでございます。平面図を制御盤電源盤の位置関係もお示しているというものでございます。
0:02:34	本文のほうに文書のほうに書いております通り、各井戸に要請ぽんぽん荷台NEにおいて合計8台整形については3台、合計12台ということで配置する設計でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:48	いろいろ配置でございますけども、各エリアの片系がですね、カタギリの色が機能阻止の設計値を満足するように、この放射状の青のドレンを配置していると、そういったことでございます。
0:03:02	具体的な各設備のスペックにつきましては次の参考 3-1-1-2、上の表の 3-1-1 というところに具体的な成功記載してございます。
0:03:13	その下にポンチ絵でございますけども、多くの範囲を新設するということで中期のほうでわかりづらくなっていますが、基本的用水道並びに内容を内包する油ポンプ水系えとすべて新設ということでございます。どれにつきましてもヒューム管の一部は施設を活用いたしますが、放射状の
0:03:33	何を申請すると、そういった設計でございます。
0:03:36	次のページをお願いします。
0:03:40	参考 3-1-3 ページでございます。こちらはドレーンの配置の情報とその下の図は、系統構成図ということで各移動をそれぞれですね、異なる非常電源母線からの給電するというのをいずれ説明しているというものでございます。
0:03:58	またその次の参考 3-1-4 ページでございますが、交換ドレンの設置位置のイメージを示すために示したものでございます。健康な岩盤中に設置すると、そういった情報でございます。
0:04:12	次お願いします参考 3-1-5 ページ以降でございます。
0:04:16	こちらドレーンの配置についてでございます。
0:04:20	ここでは主にですね、放射状のドレンをどのように配置したかということについて述べてございます。
0:04:26	参考 3-1-6 ページ、上のほうにですね所ございますけども、これは各建屋エリアにどの方向から入ってくる地下水の流量が最適かということを示したものでございます。2号のリアクター医療におきましては、原子炉建屋におきましては、
0:04:44	来ため以外の三面及び底面からの利益が多いと。
0:04:50	一方で3号の熱交換器建屋について見ますと、北側から紙面右側からの寄与が大きいということもございますのでこれらを効率的に廃止するために、このような放射状の設置さとしてたということでございます。
0:05:05	次参考 3-1-7 ページをお願いします。
0:05:09	こちらは上水道と揚水ポンプでございます。色につきましては、設備と構成差といった構成で内計 4mの移動 4ヶ所設置するということで、こちらは別途あの耐震計算書で御説明したいというふうを考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	で揚水ポンプにつきましては、容量 375 立米/hとございますが、こちら側の設定根拠の欄に記載の通り、審通り解析本籍の条件で算出したはい。湧水量が 8078 という数字がございます。
0:05:43	この十分包絡するような値として、9000 立米に相当する 375 立米/hというものを設定してございます。
0:05:53	次に参考 3-1-8 ページ目でございます。こちらはポンプの個数のお話でございます。
0:05:59	こちらですねポンチ絵がまずとして、二つございますけども、設置変更許可段階でのお示した方針というのが左の絵でございます。すなわち、各井戸に一つのポンプを設置してこれが競争する場合には、
0:06:16	款ポンプで復旧をすると、そういった方針でございました。
0:06:21	工認段階での詳細設計を踏まえまして、右の絵の通りですね、競争する場合の対応として増設ポンポンポンですね、同じようなものをもう 1 台配置するというので、設計を変更したということでございます。
0:06:36	この結果大まか半々でもともと達成しようとしていた目的は、常設ポンプをふやすことで達成されるということになります。
0:06:46	この場合ですね。投函ポンプの
0:06:51	用途というかですね、機能喪失時のもともと役割対応というふうに考えていたものが保守管理上の用途、つまり水を抜くといった、そういった用途には変わるわけなんですけども、ここの実績にパターンでポンプを配備しまして、
0:07:07	取り扱いとしましては設置許可段階でお示した方針から変わらずに、運用について保安規定に定めていくと位置付けていくと、そういった方針で今回整理してございます。
0:07:20	その下の図は、行政ポンプの配置例ということで、現状この以降行った。
0:07:25	常設と可搬の開校分けてですね、相互干渉しないような配慮するというので考えてございます。
0:07:32	その他推計につきましては、こちらも設置許可段階では各 1 台と申ししておりましたが、これにつきましても、信頼性向上の観点から各井戸 3 台ということで設計を変更してございます。
0:07:48	計測範囲につきましては、軌道停止バンドを包絡するように設定しているというものでございます。
0:07:56	次以下ですね、参考 3-1-10 以降でございますけども、こちらは 8078 立米という浸透流解析上のもので、設定の過程での補足でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:10	こちらの詳細に説明割愛いたしますけども、透水係数大きめに大きめ設定するですとか、ドレンを最大限最大範囲で見るとか、本堰の条件で設定さ結果として、80708000 数字を算出でございます。
0:08:26	こちらは今日のポンプの排水実績と比べても十分大きな値ということを確認してます。またドレン自体の排水能力についてもここで整理しておりますけども、随分あると排水可能であるということで整理してございます。
0:08:43	引き続きまして、
0:08:46	設備の概要のほうの説明としまして、参考 4-1-1 というページ、
0:08:54	ご覧いただきたいと思えます。
0:09:01	こちらは参考 4-1 という資料でございます、こちらの地下水位低下設備の目的機能位置付けということでございます。こちらはの設計許可段階で説明した方針、こちらも
0:09:16	そっくり移せるようなところがございまして、一部黄色ハッチングの部分につきましては先ほどの常設ポンプを補強するという話をいたしました、想定について矢羽一つ行かせるということでございます。それ以外につきましては信頼育成構造の方針も含めまして耐震グレードも含めまして、
0:09:37	et体の設置許可段階からの変更はないということでございます。
0:09:43	はい、よろしければ次の資料でございます。
0:09:47	参考 4-2 という資料でございます。
0:09:50	こちらはですね、この設置許可段階でお示していた情報の再掲になります、設置設計上の配慮項目ということでこちらも
0:10:02	設置許可段階からも変更をはございません。
0:10:06	はい。
0:10:08	で可搬運用に関わる情報につきましては、参考の 4-3 という資料でございます。その 2 ページ後ろの資料でございますが、
0:10:17	参考資料の 3 ということで、
0:10:20	地下水位低下設備の機能喪失時の措置についてと、この資料にまとめてございます。
0:10:27	スポーツということで機能喪失時の運用管理ということで、黄色で塗った固まりがございまして、一番上の 6 行が設置許可段階で教えを示した方針ということでございます。これに対しまして先ほどの説明の通りですね、要するに常設のポンプを
0:10:47	さらにふやすという、そういった対応さということを記載してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:53	そういった状況も踏まえまして、過温ポンベについては、自主対策設備として続けるなそういう運用については、本当に定めていくと、そういったことを記載してございます。
0:11:07	次に2ポツ目でございます。具体的な水位低下措置の有効性というところでございますけれども、設置許可段階では時間余裕ポンプの起動操作との時間余裕を十分確保すると、その中で復旧作業を成立させると、そういった方針をお示ししておりました。
0:11:25	具体的な時間軸を浸透流解析で設定すると、そういった説明をしてございました。
0:11:31	それに対しまして具体的な説明ということで、2.2以降で展開してございます。
0:11:37	次の参考4-3-2ページ目をご覧ください。
0:11:43	こちらがですね主要な3建屋あのですね、時間余裕でございます。地下水位低下設備が機能性状態から1000機能装置たと、その状態がずっと継続した場合、水がどんどん除雪し上席わけなんですけれども、一番短いところで、
0:12:02	原子炉建屋、ここで26時間後にセキュアトルクを超過すると、そういった結果を得てございます。
0:12:10	ちょっとこれに基づきまして卒時間の成立性というものを2-3以下で評価してございます。
0:12:16	参考4-3-3ページのほうにタイムチャートを記載してございます。
0:12:21	こちら大きな作業時間については前回の10月12日のヒアリングから変わリませんけれども、要員参集手順時間を頭に加える形で変更してございます。要員参集時間を踏まえても、十分時間余裕中で作業が成立すると、そういった情報を示してございます。
0:12:44	これらの要員参集時間を含めて約16時間といった見積もりを記載してございます。
0:12:50	次のページをお願いします。
0:12:52	参考4-3-4でございます。こちらでございますけれども、こちらが相談設計段階で具体化ああした内容でございます。可搬ポンプのですね作業の成立性、確実性部迅速性もそういったところを
0:13:08	高めるためにカーボンにつきましては、ユニット単位で一括おるような形で考えてございます。具体的にはその作業の3-3の通りですね、車両にですね、必要な発電機、あとポンプかの
0:13:24	作業盤等すべて積載する形でまず不足ということでございます。このポンプが5というところに小容量のポンプ3台を載せて、それともおろせ行くと、そういった意味を今考えてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:39	この3台のポンプの容量につきましては、文章中の中ほどに記載してごさいますけども、1台当たり2736立米/dayということで、3台合計ですと、先ほどの設計最大の8078を上回る容量と。
0:13:54	ということで計画してごさいます。
0:13:57	この簡保ポイントにつきましては、こちらはそのヒアリングの過程ですね、良い運用ということで、もともとは車両ばこれ持ってきて、
0:14:12	プロセスな運用を考えたおったんですか。
0:14:14	官報を導入することで、これだけ設備構成が心配になるということを参考4-3-5の表の中でお示してごさいます。二期車両が具体的な削減されるということでそういったメリットがあるということに記載してごさいます。
0:14:31	次に参考4-3-6ページ目でごさいます。
0:14:35	こちらも前後比較というような形で記載してごさいますけども、いすることによって、卒時間についても短縮化カーブになったということでごさいます。
0:14:46	具体的なその資機材の上から三番目の資機材の積み込みいい家庭ですとか、時代のとこにするような家庭そういったところが、
0:14:56	D棟に準備もそうですが軒並み短縮されますので全体としては作業時間短縮に繋がると、そういうふうにごさいます。
0:15:04	また前回のヒアリングでコメントいただきましたその可搬ポンプピットの保管場所ということにつきましても、この位置に記載の通り、62円盤の高台のあの堅硬な地盤上に設置するというごさいます。
0:15:17	それでこのことが何に効くかといいますと、その下の表ですが、そっち時間の中で高台からポンプ揚水井戸の位置まで移動する時間、ここにきいてくるわけなんですけど、こちらにつきましては、下の表の4-3-3の通り、
0:15:33	保守的にということで、高台の遠いところから実際の位置まで徒歩で移動する時間、まず勘定は見積もっております。その上で、余裕時間より中におさまると、そういった見積もりをしてごさいます。
0:15:50	はい。以上ここまで側の設備構成ですとかあと運用に係る部分の説明でごさいます。ここで1回の説明を聞いたと思います。
0:16:00	よろしいですか。
0:16:02	規制庁フジワラですと設今説明できるというのはまた今後、これから何か説明をやっていただけるっていうんであればそれって何を説明をといるのか教えてもらえますか。すいません。冒頭のご指示いただいた通りで最初、
0:16:19	前半前半第一部は運用を設備改良という関わる御説明ということで、今、今ほどまで説明しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:27	前回の10月10日にいただいたコメント回答につきましては、その5第2部ということで説明するものと理解しました。
0:16:37	規制庁フジワラですね、そこにサイト今日この時間を設けさせていただいたのは、地下水位低下設備については設置許可で様々な議論をやって設置許可で形をしたものがありますので、線として工認で
0:16:53	だったら何かここはこういうふうにならざるを得ない結果こうなりましたとか、例えばここに当初ポンプを置く予定というのがポンプがちょっと別の場所になりましたとか、或いはそういった説明をちょっと欲しい例えばそうですね率といたしました参考2-5-1とかから続く
0:17:13	なんかこう、なんかこう
0:17:17	順番があるじゃないですか、フローに沿ったこの辺っていうのも聞くから変わったかと思うんですが、その辺ちゅうのは、その辺に掲げて要は既許可から施設の位置をどういうふうにしたかとか、その辺はちょっと補強説明いただけたらと思うんですけど。はい。了解いたしました。
0:17:34	それではですね、参考資料の7という一番最後の資料をご覧いただきたいと思います。
0:17:47	こちらでございますけども、参考資料7ということで、先ほど今のドイいただきます。参考2-5の
0:17:56	ドレーンの排風配置も含めまして、詳細設計の検討でどの辺りが肉付けされたかというところについて、整理した資料でございます。
0:18:09	こちらはですねえ等に7-1-2ページ目になってございますけども、大きく地下水の設定の関わる部分、あとは浸透流解析に係る部分は設備構成、信頼性向上に関わる部分ということで分類分けをした上で、
0:18:24	その退避対応する形で記載してございます。
0:18:29	頭からいきますが、地下水の設定という部分に行きますと、設置変更許可段階におきましては、ここに上げる廃棄等緊急時対策建屋、あと緊急時電気品建屋、あとAg提示
0:18:43	こちらにつきましては記載の通りですね、地下水の設定方針ということで伸びとったわけなんですけども、公認段階での詳細検討を踏まえまして、すべて地方面で設計の成立性がられそうと。
0:19:03	ということで、中央面に設計用地下水を設定して耐震評価を実施すると、そういった
0:19:10	方針に変更してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:19:14	次に浸透流解析関連でございますけども2-1-2ということで、まず機能喪失モードの設定というところでございます。設置許可段階では、その水位を浸透流解析を用いて評価するにあたり、
0:19:30	動的機能単一故障ということの静的機器の単一故障、静的機器というのは、今、具体的にはどれの閉塞ということを／分継続ということを考慮して決めますと、そういったの大きな方針を示してございました。
0:19:44	公認段階ではそれを具体化した形になりますけども、まず本当どう適用単一故障をポンプの故障を想定してますが、これを考慮しまして、一方の系統、井戸内の二つのポンプが同時に送水状態に対応しますが、
0:20:02	そういった状況を想定しても、設計はどれかに補助給水設計としてございます。
0:20:08	さらに保守的な配慮といたしまして、来このA、エリア単位での片側喪失ということが各エリアで同時に発生するということも仮定した4通りの浸透流解析を行いまして、これを包絡するような推移を隻を地下水位の設定において参照すると。
0:20:27	そういった方針といたしました。
0:20:31	また、ドレン閉塞というものにつきましては、これはEPからの方針通りでございますが、審通り解析において液体するドレンにつきまして、そういった閉塞を考慮しても有効に機能する範囲ということで設定したということでございます。
0:20:49	若干今の説明と若干重複しますが、その下の修正機能に期待するドレーンの範囲という使うところにつきましては、設置許可段階では先ほどの参考資料2-5というところでドレーンの有効範囲を設定するプロセスということで
0:21:09	一部申請する結果も含めまして、期待できるそれぞれの範囲というものを示いたしました。
0:21:15	工事計画段階、工事認可段階におきましては、
0:21:20	設置許可段階と同じような、同じ考え方で改めてですね、周辺の設備の配置ですとか、そういったことも踏まえまして、改めてドレーンの有効範囲というものを再検討したということでございます。
0:21:35	その他ポツでございますけども、地下水位低下設備の機能祖父上昇を仮定して時間余裕事務とるという観点から、Aドレンの範囲を設置許可段階では放射状温度について具体的なその広がり、規模感、そういったものは、
0:21:54	お示ししてきておりませんでした。浸透流解析を踏まえて、時間余裕を確保するためのドレン範囲というものが確定できましたのでそちらをお示ししてとるということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:07	次に右のほうに、次3項の7-2ページ目でございますけども、そういったそのドレーンの有効範囲の設計検討と再検討というところをを踏まえまして、設置変更許可段階では、
0:22:23	三つのエリア原子炉建家と排気棟エリア、3の熱交エリアにそれぞれ
0:22:29	どれを申請するといったの検討例を示してございました。
0:22:33	詳細設計段階ではそれぞれの設備の設計見直し等も踏まえまして、改めて申請作業日を設定しましたと。その結果、原子炉建屋エリアと産後熱交エリアについて新設すると、そういったの方針といたしました。
0:22:51	次に現新設トレイの班員Eでございます。
0:22:55	こちらにつきましても今ほどの説明と重複ですが、
0:23:00	いう交換の範囲を具体的に決めましたということに記載してございます。
0:23:05	またその新設するトレイにつきまして、試験施工を行いまして、実際にその施工可能であると、そういった見直しを得た上で、どの範囲を設定したというところが大きなところでございます。
0:23:17	また新設の揚水井戸の配置でございますが、また申請を確保できるように、各エリアに2ヶ所付けると。そういった方針を
0:23:27	説明してございました。これにつきまして考え方は変更ございませんが、新設移動の具体的な構造、それを踏まえたその既設の乾燥程度そういったことも踏まえて、具体的な一応定めたということでございます。大きな考え方の多重性を確保するとか、数量そういったところの変更はございません。
0:23:47	また信頼性構造というところでございますが、常設ポンプにつきましては今の御説明した通り、各色に1はいい設備としていただきます根本みたいに接するといった方針に見直したということでございます。
0:24:04	それに伴いまして、掛かんポンプの位置付けにつきましてでございますが、
0:24:12	役割用途は先ほど説明の通り変わったところあるんですが、基本的には節以降許可段階で説明して欲しいから変更はないということで、本規程には位置付けていくということで、そこは変更ございません。
0:24:27	ただ常設ポンプの信頼性向上を図るということで、それを踏まえて可搬ポンプは実績などの設備といった位置付けで取り扱うということに記載してございます。
0:24:39	また推計につきましてはこちらでも確立それから3に変更したということでございますが、こちらの大きな変更点について、抜粋して記載したものでございます。それぞれの概要につきましては、該当箇所と飛ばしてございますけども、各資料のほうにその件について
0:24:58	操作に期待するというものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:01	以上でございます。
0:25:04	規制庁フジワラですけど、文章だけだとあれなんでちょっとせめて単一故障とかの考え方し多重性ですか。これは時局が切れないと許可から今回のやつでどういうふうにされたかっていう図を用いてちょっと説明を
0:25:22	ちょっともう持てていただかないとちょっとなかなかは
0:25:26	わかりづらいな、その結果をお願いできますか。
0:25:32	はい。東北電力のダテでございます。
0:25:35	参考資料-F2-5。
0:25:41	をご覧くださいと思います。
0:25:47	参考資料 2-5-4 というページをご覧くださいと思います。
0:25:54	こちらのドレーンですね、汎用有効性雪が有効な範囲としての期待する。
0:26:02	具体的な手順を定めたフローでございまして、こちらの設置許可の方針から変更ございませんが、大きく上のスタートから始めます。耐久性耐震性保守管理という、そういったところを要件としながら、
0:26:17	その下のタブルーチンのとこにございます通りその多重性Aといったところ、こういった観点を満足する範囲を管路を巻き紫初成黄色ハッチで書いてますが管路というような認定をして取り扱おうと、そういったことが達成できるような設備構成を考えるということをいかに展開しているものでございます。
0:26:38	具体的な多重性多重性の考え方というところで申しますと、
0:26:44	参考の 2-5-8 というページそれからの参考 2-5-9 というページをご覧くださいと思います。
0:26:54	参考 2-5-8 というページは、これ紫でPと書いてあるのは、既設の揚水ポンプでございます。
0:27:00	これで日本側のあの絵を見ながら、参考 2-5-8 と 2-5-9 を見極めていただきたいんですが、現状の配置ですとトレンが閉塞した場合に、そのポンプに至る修正経路がそのままショートしてしまうと。
0:27:17	ということがございますので、
0:27:20	参考 2-5-9 の赤でPと書いてますけども、この紫のReactorグリーン囲むヒューム管の両端にポンプを設置するというので、このこの紫のトレイのどこが閉塞したとしても、いずれかのポンプに流れていくと。
0:27:39	もうそういった設計が
0:27:42	耐専の観点から有効だろうということで、このような設計としました。
0:27:48	この紫のAドレンを生かせるように、その両端に出席配席のダテポンプ揚水道営節理とそういった考え方でここは、
0:27:57	日本側整理をしたということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:01	3号でございますけども、この今の参考2-5-9のページでテストを茶色でPと3号の海水ポンプ室の脇にPと書いてますが、こちらが
0:28:11	3号の熱交換器周りの改正ポンプでございます。これですと、3号のNS建家あの周辺の茶色で記載しているドレンここが閉塞した場合に、排水機能が損なわれてしまうということがございましたので、
0:28:30	その2-5-31ページまで飛んでしまうんですが、
0:28:39	まずこの11ページ、3号の熱交換器建屋の紙面下に赤でPTというふうに記載でございます。まずこれを本舗設置し、この
0:28:52	向こう周りのどれがまでに生かすということを考えました。
0:28:55	かつ、この赤のポンプ並びにその審査の中で方策に書いているドレンこれがこれも確か聞くように、もうしあげですね、次の2-5-12ページのように、黄色のPという揚水井戸とポンプ並びにそのええ。
0:29:14	そこに修正される放射性ドレンというものを構成しました。
0:29:18	今の仕上がりとする参考2-5-12ページのようにKakehi等ルール化されたドレーンの両端に栄養水道が二つ設置されると、その中にそれぞれ赤の放射状黄色の放射状ありますけども、
0:29:35	それぞれのいずれかが機能することによって、隻要するご満足すると、そういった構成でどれのほうは考えたということでございます。
0:29:46	ポンプ等々につきましてはそれぞれ機能喪失への配慮として、色ん中でPと書いておりますが、最終検査ガイドとしては各色に併設すると、そういった考え方で信頼性を構造を図っていたということでございます。
0:30:04	最終的な今考えている平面配置は参考2-5-13というような考え方でございます。ここで書いている、そのトレイの中でも紫で読んでもはドレンは、管路としてドコモ閉塞しても、どちらから回収できるだろうということで期待するドレンでございます。
0:30:23	グレーで潰せるドレンは、これはそういった
0:30:27	閉塞した場合にはなかなか期待ができないということもございますので、そこはその透水層として今見ていると。そういった整理でございます。
0:30:38	はい。
0:30:39	そういった考え方で登用水道後トレイの範囲を設定いたしまして、これに基づいて浸透流解析を実施したということでございます。
0:30:48	この四つの移動それぞれにつきまして、昨日ソース物としてどういうことを考えたかということにつきまして、この補足の本文のほうにすいません戻りますけども、
0:30:59	26ページ目ご覧ください。測温部でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:08	こちらの測温部に 26 ページ目マトリックスの形で書いてますけども、表が三つございます。一番上が減少建屋単位エリア単位で見たもの岩目が熱交エリア単位で見たものをし操作の表がエリアごと組み合わせを仮定したものでございます。
0:31:25	エリア単独で見た場合に、
0:31:29	縦軸がそのへ事象が能動的と単一故障せて隻の単一故障をずらっと並べてますけども、2 のFO-Aからeまで、事象として考えられるとした場合に、
0:31:42	ドレンの部分的な閉塞というのがポンプの機能喪失相場の片系がごそつとソース競争することになりますので、時譲渡すると、ここで挙げてる2 の2-Bという風変えている事象でここで起こる事象は全部修正集約されるというふうに考えてございます。
0:32:01	3 号イレイワも同じで動的機器の機能総数をの想定想定の中に静的機器の対策箇所も事情としては崩落されるというふうに考えますので、それぞれにA2B3AさんBと、この四つの事象について、
0:32:18	一番その(3)の
0:32:21	表の通り、組み合わせを考えたということでございます。細いで4 通りの組み合わせが出てくるということ述べておまして、それが平面上は具体的にはどういったことをやってるかという、次のページ、27 ページ目の絵でございます。
0:32:37	ここで四つのが並んでおりますけども、こちらが日本側での
0:32:44	総数範囲の入り切りですから3 号側の入り切りこの組み合わせたIVとのケースをやって、
0:32:51	それぞれのケースでの解析水位を包絡する形で先ほど地下水を設定したと。そういったことをしてございます。
0:33:00	説明以上でございます。
0:33:05	はい。規制庁フジワラですはい、じゃあ、ちょっと今私が思いついた限りの説明はこれだけなんです、そのまま荷物も説明がちょっと求めたいものとか或いはもうコメントとかあれば、
0:33:22	規制庁成長のエサキですけども。
0:33:25	ただいまですね説明あった中で、多分許可gのもので資料として省いてるものって、もうちょっとあるのかなと思っていて例えば許可時の記憶にさかのぼると、
0:33:39	いわゆる不法使える使えないって言われてございます。
0:33:42	言葉は違う期待するしない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:45	判断基準として管理できる管理できない、まだ耐久性がないとか言ったものですね、そういう素材だとかその建設時当時の状況とかいう節があったんですけど、今回の資料っていうのは、
0:33:59	どっかで説明されてるんでしょうか。
0:34:05	はい、東北電力のダテでございます。えっとです、設置許可段階では施設の状況耐久性の具体的なエビデンスとかそういったところもお付けしております、今回の資料では参考資料の 1-1 のページで言いますと、
0:34:20	参考の 1-1-1 で始まる既設の地下水位低下設備の概要という資料でございますけども、こちらへです、前回のヒアリングからです、写真も含めまして、設備の状況、あと設計建設時の状況、この辺りがわかるように設置許可段階の情報を
0:34:40	入れ込んでございます。具体的には 1-1-23 あたりにあるような設置の写真、或いは色の内部の尤度の運転の実績、この辺りは、参考 1-1-11 項のあたりに示してございます。
0:34:57	また既設ドレンの耐久性に関わる情報といたしまして、各構成部材の耐久性を
0:35:05	参考 1-1-12 ということでお示してございます。前回ヒアリングではパネルシートという部分に耐久性のエビデンスをという話がございまして、1-1023 辺りはその辺りの情報を追加してございます。
0:35:21	あと 1 日の 15 以降に運用状況ですとか渡金に実施した目視確認結果ということで、参考 1-1-16 以降でございましてこちらへ。
0:35:32	ドレンの内部にです、人が立ち入って冊子の撮影したというものでございまして、参考 1-16 に記載してございます通り、土砂等のみならず言いな体積がなかったということが閉塞と事象もなかったということでございます。これ
0:35:48	これにつきましては事後保全としてございますので、目視確認地点で注記に書いてある通り、10 年オーダーの期間が経過するわけなんですけども、設備状態としては非常に良好な状態だったということに記載してございます。
0:36:04	以上でございます。
0:36:13	原子力規制庁の宮本です。地下水位低下設備の一番最後、今説明された内容のところ、まずちょっとね設備整理していただきたいのは、
0:36:26	許可時の本文や添付 8.6、あと添 10 で記載している内容がここの説明に全部入ってるかが、ちょっと不明かなと思っていて例えばですけど。
0:36:42	ええと可搬設備に対してなんていうのは特にそうで。
0:36:48	ちょっとですよ。
0:36:49	全体が多分その 4.1. 1 に書いてはあるんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:59	これ伝播ちい添付 8 だと
0:37:03	それぞれの地下水位低下設備の設計方針というのが 4 項目決められてると運用に関わる手順等もすべて添付 8 のほうに記載されてるはずなんですけどその部分が記載されていないっていうのと、
0:37:18	あと、添付 10 で要は復旧作業に係る事項ということでこれ 4-1-2 の一番最後の項目に一応書いてあるんですけど、そこで書いた項目が設置許可の申請書に書いた内容を
0:37:34	すべて書かれてるかっていったらそうではなくて、
0:37:37	例えば地下水位低下設備が必要な資機材としては、緩和設備予備品を正当確保するって言って予備品をちょっとどこに行ったのかっていうのがよくわからなかったり、
0:37:50	保管場所についても外部調に影響を受けない場所に保管するっていう記載があるにもかかわらず、この部分、特にその辺の
0:37:58	記載がない。
0:38:00	なので、最終的にどうゆうふうな公認でどういうふうな落とし込みを主査了としてるとかがまずわからない。
0:38:10	だから、許可整合をまず確認する意味で、今の資料だと許可整合ちょっとわからないんですよね。
0:38:18	アウトプットとで最終的なその詳細設計のところ、
0:38:22	事業者なりに事業者としてその決めたものがここで提示されてるんですけど、それが許可
0:38:29	の申請書許可の申請、我々の審査庁後許可の審査会合で説明した内容が
0:38:36	踏まえたこの現状のアウトプットになってるかっていうと、その資料のつくり込みがそこまでされてないので、今示された内容だけだと、例えばその、
0:38:48	可搬設備をオオエと自主設備しますっていうことに対しても、
0:38:53	何で可搬設備実施設備にすることが可能というか困窮による最終的に持つてく前段階で許可と整合した考え方をもってそれを自主にするのであれば、それはわかりやすい説明になるんですけどその部分の説明が
0:39:12	まずないっていうところは、
0:39:15	ここは修正していただけますかね。
0:39:19	はい、東北電力のダテでございます。
0:39:22	ご指摘の通り
0:39:24	資料の中ではある程度その設置許可での説明さ事故を前提としてその設計進捗した部分をちょっとそちらにちょっと重きを置いて作り込んでいたところも

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ございますので、その辺りその許可との整合性という部分をきっちり見せるような形でちょっと資料修正したいと思います。
0:39:45	規制庁名でその上でですけど、これ耐震性もそうですけど、アート許可では三条第2項の適合のためにも必要な設備という前提になっているんですが、
0:39:59	往々機能喪失の話が確か。
0:40:06	今回、
0:40:08	時間に16時間後4-3-1のところの説明で固化れてるのはおそらく容圧力に対する時間的裕度の話がありますんで、ここで見ると、多分機能喪失まあええと地下水位低下設備がすべて機能喪失した場合に、
0:40:28	これすべて、すべての機能の喪失ですが、2系統じゃなくて、原子炉建屋も。
0:40:35	うーん。
0:40:36	3号の要は地下水低下設備の機能を期待してない条件でこの時間を出されてるんでしょうか。おっしゃる通りです。すべて生きている状態から一切期待した状態に切り換えて、その状態が継続するというふう考えた。
0:40:53	時間でございます。であればそのよう圧力への影響が多分一番始めてるのは26時間あげ現象だと26時間後制御建屋だと96時間、
0:41:04	科医改正3号の海水根拠は67時間ということで多分書かれてるんだけど、液状化の影響おそらく30日以上あるんだと思うんですけど、液状化の影響がどれぐらいあってアクセスルートへの影響がどれぐらいあるだろうっていう、
0:41:19	アウトプットもここに書かれないとどこまでの範囲を地下水位低下設備の機能に
0:41:26	期待しなければいけないかというベースの判断の内容を必要最低限その基準適合で、
0:41:35	設置許可でやった範囲においての後と書いていただかないと。
0:41:40	わからない、今現状そこってわかってるんでしょうか。
0:41:44	はい、東北電力のデータでございます。戸籍の件、理解しました。今回時間的そのええよう圧力あたり超過のアクセスの浮き上がりといった要素に対しまして、一番時間的な離隔まああのマージンの少ない。
0:42:01	言わせるというものに着目して時間余裕を算出したというものでございます。ですので、アクセスルートですとかの技術評価につきましてはもう少し時間的な余裕というのはございますので、その辺りがわかるような形で、だから栄養圧力に着目して時間余裕評価したということがわかるような形で資料のほうを記載充実したいと思います。
0:42:23	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:42:25	規制庁目指すお願いします後 4-3-4 ページのところの可搬ポンプユニットのところの確認なんですけど。
0:42:33	これ 3 台の可搬ポンプを一つの車体の上に載せるということで、これ 1 台当たりが 100、
0:42:43	期待される 100%と考えていいんでしょうか。
0:42:48	はい、東北電力のダテでございます。
0:42:52	えっとですね、3 台ぽんぽ同時に進んだポンプかもこれを下ろしますで最大 3 台まで同時起動できるというような形にしますので、そうしますと、1 台当たり、27366 立米／出のものが 3 台で 8200、これが、
0:43:09	款の排水能力ということになります。
0:43:15	規制庁 4 ですけど排水能力は理解してるんですけど
0:43:19	例えばですけど、原子炉建屋周りの
0:43:23	原子炉建屋周りの地下水低下設備と制御建屋の地下水位低下設備を同時にこれは数機能が代行できるんですかっていうことだ。
0:43:39	はい。東北電力のダテでございます。この今の能力につきましては、日本エリアに集まってくる、或いは 3 号炉集まってくる最大の有推量をに対しての余裕を持って設計しておりますので、多分 2 号エリアであれば、
0:43:55	この間を下ろすことで、制御建屋制御建屋、原子炉建屋、いずれも設計値が補助へ保持できるという考え方でございます。
0:44:09	規制庁妙ですということはあれですかねこれ
0:44:12	単純に、
0:44:15	必要なのが今 3 系統あるんですけど。
0:44:19	8 月アンケートに系とか、
0:44:23	原子炉建屋の離島揚水どういうせ 3 号機の海水ポンプエリアっていうのが多分 2 系統、
0:44:32	ありますよね。今の 3 台っていうのは、
0:44:37	どう振り分ける計算で 3 台になっております。
0:44:42	はい、東北電力のダテでございます。3 台と申しますのはその 3 台を分割して運用するようなことは考えてございませんで、やっぱり 3 台単位で対応するということを考えてございます。
0:44:57	ですので委員とするとすると、
0:45:00	はい。三つセットでの対応ということで記載してございます。
0:45:06	原子力規制庁による内容わかりました。その部分で設置許可での話で可搬型と応答の予備に合わせた台数の考え方って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:24	許可で審査会合で説明されてたと思うんで、その説明されてた内容と照らし合わせて整合がとれているかという説明を入れてください。あのときは、
0:45:36	予備品 2 台を確保するか、いや、トータルで予備品とを予備品と可搬で合わせて 2 台だったか忘れたんですけど。
0:45:47	要は二つ用意するっていう話だったはずなので今の考え方だと三つでセットであれば、
0:45:58	その時等ちょっと話が違うので、
0:46:01	その部分が整合とれているかを確認してください。
0:46:07	はい。とく電力のダテでございます。先ほどのコメントとも関連するところだと思いますので、許可時の説明からの
0:46:15	ただ整合性繋がり、そういったところをちょっと整理をして説明されると思います。
0:46:23	以上です。
0:46:26	とりあえず私は以上です。
0:46:42	規制庁妙ですすいません追加で最終的に LCO をどういうふうにするかっていうのは、当然保安規定の審査ではやるんですけども、
0:46:52	台数なり何なりの考え方の一発決めて今、工認で決めようとしてる段階で、
0:46:59	可搬も含めた、その部分の整理っていうのを一度ここでつけといていただかないと、その位置付けをどうするかっていうのを多分判断できないと思うので、設置許可の議論で LCO で
0:47:15	LCO とか LCO を含めた運用の考え方っていうのは確かに一度整理しているので、それと今回の詳細スペックのところと照らし合わせた場合に、どの程度のしっかり整合とれたものになってるかっていうのを説明。
0:47:30	できるようにしていただければと思います。
0:47:33	以上です。
0:47:35	はい、東北電力のダテです承知いたしました。
0:47:44	スタッフと規制庁浮上ですと私のほうからちょっと 2 点だけ、ちょっと今回本件に関して参考 4-2-1 をちょっとお開きください。
0:47:56	参考 4-2-1 で当施設の配置が接続盤とか電源盤だとか、
0:48:04	いうのが入っております、
0:48:07	ちょっと確認なんですけども、2 号のほうの制御盤電源盤ちゅうのが、原子炉建屋でありますと、或いはコントロール建屋ですか。これこれは用水路等、まだ課題が離れた場所にあつて、これってをどうやって何か

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:24	いろいろな家電センテンスか電路っていうのはイトウ設計がなされるのかよう地上Howのかそれとも地下を張るのかとかその辺ちょっとご説明いただけますか。
0:48:38	はい。
0:48:40	はい、拠点の本店のほうで回答オオエでできますでしょうか。
0:48:50	はい、東北電力のミヤハラです。通せご質問のあった制御盤とのですね。
0:48:57	電路につきましては建てる建物の中でですね、電力使います経営しまして、現場のほうの絵と色のほうの
0:49:09	ポンプ譴責投入電源のほうをあわせて合わせるようなそういった、
0:49:17	誤開等ご質問の趣旨に合っておりますでしょうか。
0:49:22	規制庁フジワラですともっと具体的に言いますと、この用水路っていうのは、建屋の外にあって要は日旧表土とかもちょっとところの脇にあるんですね、その用水道から電炉がもし制御建屋の方、或いは原子炉建屋のほうに行くとなると。
0:49:41	それは何か旧表土とか森の上How形になろうかとその時にその張ってるやつって、耐震性どうなんですか。竜巻とか火山とか、どうなんですかって言うのがちょっとよくわかったんでちょっとお聞きした例えば、
0:49:56	がん研が何か物中に収納しますとかいうのがちょっとよくわかんなかったんでそんなことでちょっと御説明いただけますか。
0:50:06	はい。東北電力の宮です。そういった外に出るようなルートについてはですね露出漏出した形ではうようなことはしませんでして、
0:50:22	連動の中にですね、keV等へ収納した形では、
0:50:28	設置することにしてください。
0:50:31	それ耐震につきましてですね、一応
0:50:35	シノ
0:50:37	耐震機能維持ということでの設計
0:50:43	ただそれちょっと声が聞き取りにくいのもう一度ちょっとお願いできますかさせ
0:50:49	ちょっと2a出てくる電路につきましてはですね、ルーツで這わすようなことはいたしません。ケーブル僕、
0:51:00	頭に入れた形ですね、当ケーブルをはわせるような形にいたします。
0:51:06	電炉耐震ですねまあそういった設計の中でですね、考えた上で確保するというような形で考えてございます。よろしいでしょうか。
0:51:25	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:30	創設質問があまり通じなくて申し訳ないと要は間接支持構造物はないんですかというのは、ダイレクトだ質問なんですけど、いかがでしょうか。
0:51:48	間接支持構造物っていうのはですねえと、御質問の趣旨は、
0:51:54	定刻と出席率はフジワラです。
0:51:59	はい。
0:52:03	規制庁フジワラですけど、竜巻とこれは地下水位低下設備はCクラスであってはSsの機能保持っていう、そういったほぼSクラスに近いような施設ですので、
0:52:15	そういったSではないけど、Ss機能保持っていうからには、やっぱり電線管っていうのもやっぱりそれなりのSsに対するんですか対機能保持というのが何か入野か要らないのかっていうのがちょっと
0:52:31	よくわからなかったのでお聞きしたんですけども、何となく要りそうな気がするんですが、
0:52:35	メイト例えばですね当然露出しないのであれば、取れああとトレンチとかで、その電線管を収納した上で、すぐ伝送収納しているトレンチがSs機能保持するから、
0:52:51	電線管は健全ですか、そういったふうな御説明があるのかと思ったんでちょっとお聞きした次第なんです。すいません制定させ、そういう意味でとご質問エアとおっしゃったイメージと一緒にございます。
0:53:07	基本的にはですね、C各Ssの機能維持になりますので、サポート等とった形でですね耐専せ持たせるような形。
0:53:18	あとケーブルそのものについても例えばケーブルの裕度を持たせることで、
0:53:27	べしに対してですね、keVが切れないようなそういった配慮するようなことを考えて、
0:53:32	あと使う付け加えて申しますと、竜巻等とそういったところに対してはですね、ケーブルそれぞれ別ルートを外すことでと同時に機能喪失しないと、そういったところも考えた設計とそういうことで考えてございます。以上です。
0:53:51	規制庁フジワラです。連成については多重性みたいな感じでそういった防護をすとかというのは今資料を出し見えなかったんでその辺はちょっときちっと書いていただきたいのと、
0:54:05	当位置付けですねそういうとか要は収納するトレンチって、経産省とかは多分なんか今私知ってる限りだと見たことなく、それって、経産省出す必要があるのかなのかとかいう、
0:54:22	出さないとはどういう整理データさんの方とか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:25	補足レベルなのか添付レベルなのかですね、そういったのがちょっとよくわかんなかったです辺今後ちょっと整理いただけますか、要はどこに配置してどんな形状で設置して岩盤支持なのかそれとも地盤改良の上に乗っているのかとか、何をどこまでできるのか、今、
0:54:42	よく見えないのでまだちょっと現在の配置計画をちょっとお示しくださいで別の位置付けを説明ください。あと今後、詳細ちょっと確認させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
0:54:57	はい、東北電力のミヤハラですね等ない用語コメントの通知了解いたしましたので、資料のほうに反映した形で御説明したいと思います。以上です。
0:55:09	あと、ちょっともう1点なんですけどこの今の私2号のほうの揚水ドイはナンバーワン揚水井戸とナンバーツー揚水量については電源盤制御もあるのは見たんですけど、このNo.3とNo.4の用水路の電源盤と制御盤ってこれ何か今どこにあるんだろうかって見つつ、
0:55:27	もしかしてこれ2号のほうに口銭を引っ張るとそういう計画で考えられているのかをちょっと教えていただけますか。
0:55:39	はい、東北電力のミヤハラです。3号側のほうですね今図示されております2号側のほうに持っていくような形で考えてございます。以上です。
0:55:53	はい規制庁フジワラですイトウん中耐震がどうとかも言う事はできそうな気がするんでその辺ちょっと今後説明のほうは、
0:56:04	お願いしたいと思います。私のほか、もう1点。
0:56:08	あとちょっと揚水さつき4-2-2で揚水ポンプ、
0:56:14	のところはこの表、ごめんなさい、ちょっと説明が不適格でしたら、参考4-2-2に機能喪失要因とそれ配慮項目という表がありまして、その中で、ちょっと揚水ポンプのところなんですけども。
0:56:30	この揚水ポンプについて竜巻とか火山に対しては、蓋を設置しますとかいうふうに書かれてまして、二つ設置してそういった防護設備はそれはいいことだと思うんですけど、私が貯金してるのは公認上の位置付けでこういった二つあって、
0:56:46	計算書が出てくるのか要は添付計算すれ耐震性とか見ないといけないのかちょっとよくわかんなかったんですけど変てどのように今考えられてるか教えていただけますか。
0:57:02	はい。東京電力のダテでございますが、現状ですね負担につきましては、
0:57:10	耐震計算する上でですね用水等の機能地下水の集配シノ機能に直接加担しないメンバーであるということで、耐震計算書はあの絵を出す予定はございませんでしたあくまでその運用上その井戸の位置がちょうどアクセスすると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:28	に相当するところがございますので、そういった意味で運用とですね、下手に仕上げるというのがあるということで活動の外部ハザードへの対応としてそういった体制を持たせた節理という方針でございますけども、あと現状そのような整理でございます。以上です。
0:57:47	規制庁フジワラです。これは仮にSsで、
0:57:52	来壊れることというないかもしんですけども、仮に壊れたという計算手法示さなかったら当然私たちはそれ確認しないんで、壊れてないものとしては見ることなんですけども、別にそれを例えば壊れても何かすぐ
0:58:07	竜巻が来る前にふたを設け設置すればいいよとかそういうふうな整理であるという理解してよろしいですか。
0:58:27	東北電力のダテでございます。今おっしゃったところも含めてちょっと先ほど連動も含めてですねちょっと上乘せ扱いについての整理をしてご回答したいと思います。
0:58:38	以上です。
0:58:41	規制庁扶助育ちの方からは以上です。
0:58:51	すみません、原子力規制庁の止野です。ちょっと今更キック話になってしまうんですけど、今回の地下水位低下設備というのは、別表に基づく要目表登録設備に該当するのでしょうか。
0:59:07	特例ワタナベです地下水位低下設備は要目表の要求には該当しませんので要目表の対象にはなりません。以上です。
0:59:17	はい、わかりましたんではですね多分COCOということであれば、基本設計方針にきちんと書き込む必要があると思っているんですけども、この近づい低下設備についての基本設計方針というのは、現状今どういう状態になってるのでしょうか。
0:59:47	東京電力の尾崎でございます。まずこちらから整理してお答えします。少々お持ちください。ここを
1:00:11	東北電力のダテでございますけども、基本方針のほうにはポンプ当社のみ必要な
1:00:21	構成する部位のスペックは手数料について記載してございます。あと設定根拠書についてもお出ししているという状況でございます。
1:00:30	以上です。
1:00:32	原子力規制庁の止野です。ちょっと本日の議論を踏まえてその基本設計方針にどこまで書くのかって言うのは別途議論が必要かなと思ってまして、指摘のようにそのポンプの容量は必須ですし、あとそれが喪失した場合の運用保安規定に書くというところまで書くのかとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:50	一度ちょっと基本設計方針、今回の議論を踏まえて、女川としてこの地下水位低下設備に対してどこまで各書く必要があるのかっていうのは改めて別途議論させていただきたいと思いますが、いかがですか。
1:01:07	はい特にこのダテですね承知いたしました。
1:01:30	規制庁見事ですけども、ちょっと先ほども許可での議論のところをしっかりと確認してくださいっていうのもあったと思うんですけど、許可のまとめ資料で店舗の別紙の 18 四条―別紙の 18 っていうのは多分、
1:01:46	地下水位低下設備に関わる部分だと思います。それで、別紙 18 の添付 3―11 表というのがあると思うんですけど。
1:01:56	各審査段階における提示内容ということで、
1:02:00	女川としての設置許可段階での生成示したものと工事計画以降で示すもの。
1:02:08	これ設置許可の段階で方針が示されてますので、そのものがすべて今回の購入の中に入ってるか入ってないかっていうのはよく確認してください。漏れがあると困りますので、
1:02:23	その部分はしっかりと確認していただければなと思いますのでよろしくお願ひします。
1:02:30	特にこのダテですね、了解いたしました。
1:02:44	規制庁の天野です。
1:02:49	参考なのを 1 ページ、参考資料 7 の
1:02:55	ページで言うと 7―1 と 7―2 なんですけども、
1:02:58	先ほどの宮本のコメントに随分重なるんですけども、
1:03:04	まず 4―2 のですね。
1:03:08	項目 4―2 の
1:03:11	ええ、可搬型設備の扱いなんですけども、
1:03:16	よくよく許可からの変更点については別途設置許可時のまとめ資料をベースとしての考え方は整理されているので、許可のまとめ資料ベースでどこが変わったのかと。
1:03:33	その変えた考え方は何ですかと。
1:03:36	いうことをよく整理して改めて説明をお願いします。で、その上でですけども、
1:03:43	ちょっと今日の説明聞いてると。その当時の考え方が大分変わっているように思います。
1:03:52	ここで考えたポンプは電力自主設備としては使う取り扱いと書いてあるんですけども、これの意味するところがちょっとよくわからなくてですね。
1:04:04	今日の説明でもポンプは電力自主設備と言いつつ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:10	機能喪失時の対応の
1:04:13	そっち時間とかですね、
1:04:17	そういうことがちょっといろいろ説明されたので、
1:04:21	一体を自主と扱うことが規制との関係において、
1:04:26	どういう整理なのかということはもちろん整理して説明をしていただきたいと 思います。
1:04:35	ここにも
1:04:37	4-2 の上のほうですね。
1:04:43	運転管理上の方針として保安規定に定めて管理していくという
1:04:48	ことをやめるのかどうか、その本文のほうにはここがそうは言っても残しますと いうような記載もあったかと思えますのでちょっとその辺の整理をちゃんとして いただければと思います。
1:05:01	それと、
1:05:03	関連して、LCOの考え方も、この段階でちゃんと
1:05:10	確認する必要があるという宮本のコメントありましたので、
1:05:15	その機能喪失時の対応として、
1:05:18	LCOのところが変わるのかわからないのか、そこもきちんと示していただき たいと思います。
1:05:27	今可搬型常設可搬、それぞれそれでも水位が維持できない場合にプラント停 止とか、そういった話もあったと思えますけれども、そういうところがどうなるの かっていうの整理して示していただきたいと。
1:05:43	それから
1:05:48	これは、
1:05:50	その考え方のところですね。
1:05:55	参考の 1-4-1-1 ですね。
1:06:08	。
1:06:09	ここで地下水位低下設備の
1:06:12	目的とか位置付けが書いてあって、許可時のまとめ資料のところを引用しつ つ、
1:06:20	一部変えられてるようなんですけれども、
1:06:23	さっき用途が変わりますという説明でしたけれども、すなわち常設のポンプをよ り多く用意したので、
1:06:37	あの可搬型設備の
1:06:41	なんて言うんですか。用途は不要になったと。従って欲しいように変えますと か、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:06:47	排水としての設備にしますといったような、ちょっと口頭での補足説明だったと思うんですけども、そのあたりを明確にちょっとしていただきたいと。
1:06:59	ここで
1:07:01	と機能喪失しない設計とすると。
1:07:04	4-1-2 ページの黄色のところを書いてありますけれども、
1:07:09	ただしその人のところで復旧のため、可搬型設備を配備すると書いてあったりですね。
1:07:16	それのでちょっと
1:07:19	位置付けがちょっとあまり整理されてないように、
1:07:23	聞こえるのでそこは、
1:07:25	整理をしていただければと思います。
1:07:28	要は機能喪失時の対応のものから、
1:07:31	保守用とか、復旧用とか、ちょっと説明がぶれているように思いますので、
1:07:37	そこは明確にさせていただければと思います。
1:07:42	ちなみに許可時は、
1:07:44	それと常設で高い信頼性を確保する設計とするものの、
1:07:49	それでもなお、
1:07:51	動作不能が発生した場合を想定して、可搬型設備を予備品を
1:07:56	配備すると。
1:07:57	このところでは説明されたので、それが変わるのかどうかということです。
1:08:08	全うする。
1:08:10	鉄塔参考 7-1 に戻って、
1:08:16	項目 2-1 のところなんですけれども、
1:08:23	ここで動的の単一故障、
1:08:26	のところの扱いがちょっと変わるのかどうかというのがはっきりちょっとわからなかったの
1:08:32	許可からの変更点の
1:08:35	ときに合わせてですね。
1:08:37	ここが管理のかからないのかというのをちょっとお示しいただきたいと思いま
1:08:43	す。
1:08:43	特に各エリアで 4 通りのっていう、ありますけれども、
1:08:47	あと 26 ページですかね。
1:09:02	ここの組み合わせが
1:09:04	ナンバーワンとNo.3 の組み合わせとかあるんですけども、
1:09:09	No.1 とナンバー2 の組み合わせとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:12	No.3とNo.4の組み合わせとかなぜ、なぜないのかというあたりも含めて説明いただければと思います。
1:09:19	ちょっと何か追加で回答できるのであればお願いします。
1:09:25	はい、東北電力ワタナベでございます。今かなりのご意見ご指摘コメントいただきました。
1:09:35	回答できる範囲で今、回答はしますけども、あと別途整理して、再度回答は差し上げます。まず電力自主設備という扱いでございますけども、
1:09:47	こちら、許可段階では過般型ポンプの位置付けは特に明確には示していなかったかと思えます。設備としてどういう位置付けにするかという考え方の説明まではしていなかったと。
1:10:00	考えてございます。
1:10:02	今回、
1:10:05	その許可段階での対応よりも、詳細設計段階になって、設備対応で充実したということ踏まえて、
1:10:14	明確に可搬型設備は自主設備として扱う旨を宣言したというのがこの内容ですこれは別途整理して御説明いたします。
1:10:24	あと先ほどアマノさんからご指摘あった参考4-1-2ページで説明と記載がぶれているという。
1:10:33	御指摘ありましたが、ちょっと説明不足の点がありましたので、
1:10:37	若干補足しますけども、
1:10:39	今回の繰り返しになりますけども、常設のポンプを多重化それぞれ移動、移動毎に多重化をして、
1:10:48	Pのときは2台としてたものを4台に降らしたと。
1:10:53	ということですので、
1:10:55	片系の移動が2台総数に加えてもう片系の井戸で1台、合計3台のポンプが喪失しないと、可搬の登場ができなくなるという状況になりました。
1:11:08	そういうことを踏まえて、可搬の主な用途としては機能喪失時の対応にも使うんですけども、主な用途としては典型時の排水であったり、そういうところが主な用途として、
1:11:23	なっちゃいますということで
1:11:25	主な用途として変わるという説明をただけであの可搬に
1:11:30	その起動性を持って、
1:11:33	機能喪失時の対応を期待しているという考え方は変わりはありません。
1:11:39	その辺もちょっと説明と記載がぶれてますので、いま一度整理をして、
1:11:45	別途、許可と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:48	認可段階での
1:11:51	考え方の
1:11:53	層位というかそれを大方針には変更はないんですけども、詳細にな部分でちょっと考え方。
1:12:01	より充実してる部分もございますので、その辺もう少し丁寧にわかりやすい説明をさせていただきたいと思います。
1:12:11	はい。以上です。
1:12:27	はい。規制庁浮上ですねと規制庁側から前半に関しての声と、
1:12:31	気づく。
1:12:32	調理して当東北電力さんの方から何かございますでしょうか。
1:12:42	特にこのダテさんのとこにございますいただいたコメント踏まえまして、資料のほうの再検討して参ります。
1:12:49	以上です。
1:12:54	はい。規制庁浮上ですと、前半はちょっと一旦ここで等を
1:12:58	終わりましたして 10 分間の休憩等 55 分再開でいきたいと思います。はい。
1:13:08	規制庁フジワラです。ヒアリングのほう再開したいと思います。後半のほうに伝えと地下水関係に関するコメント回答ということなんですが、ちょっと進め方についてちょっと一言だけそういう言います。
1:13:23	今日多分まだ見通せ表の中の回答をまず最初にしてですなどちょっとこれちょっとお願いなんですけども、説明がちょっと一つやっていただきたいのがありますので、それはですね今事前提出いただいた。
1:13:39	この資料、いろいろ見てますが、基本、他補足丸 2 の補足
1:13:47	ですかね。メインであって、
1:13:51	あまり参加ごめんなさい、③の資料ですね、補足の目次を見たときにですね、今、もう補足の動ける本部ですかと、あと参考資料
1:14:05	この関係がなかなかちょっとわかりづらいので、今回ちょっとまず回答整理票の回答統合後にまず本文と参考資料がどうという形で関係してるのかっていうのはちょっと
1:14:21	簡単に説明をいただければと思います。はい。
1:14:26	JASMINEからそれでやってそのあと質疑応答のほうに入りたいと思います。以上です。説明をお願いします。
1:14:33	はい、東北電力のダテでございます。それでは今ほどのお話を当リエスネットをまずコメントリストベースでえと回答内容欠けているようなことをさせていただいて、そのあと参考資料との関係については報告すると。
1:14:51	いう形で御説明したいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:53	それでは資料①番のコメントリストをご覧ください。
1:14:58	コメントリストでございます。ナンバー1 から 4 番、1 ページ目ですけれども、こちらの前回のヒアリングでの回答者内容ということで一応発議でつぶさせていたいただいております。
1:15:10	その 5 番以降のコメントをに対しての今回回答準備してございますけれども、この中で、今回の地下水関係の 5 コメント回答ということで潰せる部につきましては、次回以降回答ということで整理してございます。
1:15:29	また計算書の中で説明するものにつきましてもその旨記載しているということでございます。
1:15:36	まずコメントの 7 番でございます。
1:15:39	地下水を高く設定することが保守的ならないでしょについて考え方についてということでございます。6 ページ目をご覧ください。
1:15:50	資料③番、基本的にはすべての見ろ資料③番のほうで御説明いたします。
1:15:57	6 ページ目でございます。こちらの
1:16:00	こちらの水位の設定設計用地下水の設定方針という大きな総ダテの中に黄色で何ヶ所かハッチングがございますけれども、なお書き下のほうのなお書きでございます。なおということで地下水を高く設定することが保守的とならない可能性がある場合、
1:16:17	具体的にはということで、こちらの防潮でのケースを想定して書いて書いてございますけれども、構造物を含むのか適正さが大きい場合など、当座のコメントいただいている基礎盤の影響評価というものを全く違う事象ではございますが、
1:16:34	いずれ本籍とならない可能性がある場合と、そういうものも含めましてそのについては必要に応じて評価を私安全性への影響を確認すると、そういった大報酬ここにうたってるということでございます。
1:16:50	次に、コメントリスト戻っていただきまして、コメントの 11 番でございます。
1:16:56	こちらですね内容につきましては大きく 2 点ございましてあのプロセスをまず詳しく書くということ、あとはテンプとの切り分け経営について整理せよという数字でございました。
1:17:14	回答のほうに①②と書いてますが今回の補足のほうで大きな流れを記載しますもので、①について今回は対応してきたということでございます。ここもその全体の火災公正さという意味で、広く。
1:17:31	6 ページ目から 6 図 9 ページ目は、と謳ってますが、このコメントいただける形であの全体構成を見直しましたということでございます。
1:17:39	要するにコメント 12 番でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:43	端側せよ一覧表について、その次期基幹整理しゃべって目的等が明確に整理するというコメントでございましたが、こちらにつきましてはまず 3 ページ目、補足の 3 ページ目をご覧ください。
1:17:59	3 ページ目でございます。
1:18:01	3 ページ目、こちらの各観測記録の人使い方について述べている部分でございます。それから 3 行目のところ黄色ハッチングでございますけども、こういう記録と合わせて信託解析モデルの検証に活用すると、そういった目的を記載してございます。
1:18:18	また 15 ページ目ご覧ください。
1:18:24	5015 から 16 に跨る部分ですけども、各観測性について、もともと図の 3-3-11 というような平面図での情報を記載してございますけども、今回の表の 3-3-4 ということで、それぞれの観測孔の
1:18:39	データの取得時期、あと今後の観測の見通してまた主なイベントとしてその敷地の改編との関係、この辺りを整理した上で検証に用いた改正観測期間機関期間にこの青でハッチングをかけてるんですが、こちらを選定していると。
1:18:58	いうことを述べてございます。
1:19:01	次また以上のコメント 12 番でございますコメント 13 番でございます。地下水位低下設備の要するに床に期待することを記載せよというコメントでございます。こちらにつきましては補足の 6A6 ページ目ご覧ください。
1:19:23	3.3. 2 の(1)というところの上のほうのハッチングのほうに目的を記載さということでございます。
1:19:35	別にコメントリスト 14 番飛ばしまして 15 番でございます。
1:19:40	冒頭での影響範囲という、追加対策の影響範囲ということで解析結果のみを示しておいたものにつきまして、解析状況を示すことというコメントでございますが、こちらにつきましては補足説明資料の 5-2 という資料を今回の
1:19:58	このEPの再掲になりますが、条件を含めて、なプロセスがわかるような形で新たに資料としておつけしたというものでございます。湿布資料 5 の説明は割愛したいと思います。
1:20:13	次、戻りましてコメント 16 番でございます。地下水位低下設備の効果が及ぶ範囲、ドレーンの有効範囲の定義を説明するというものでございます。
1:20:23	こちらの二つのコメントが入ってございますが、一つ目のその効果が及ぶ範囲につきましては 6 ページ目をご覧ください。
1:20:33	6 ページ目でございます。6 ページの中ほどの黄色ハッチングでございます。今機能地下水位低下設備の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:41	昨日前提とした協会を与える新取りかえの読ま上程初め行ってるということで、そこは効果が及ぶ範囲として扱うと復水メンバーは、そう昨日及ばないため、そこに含まれないと、そういった定義を記載してございます。
1:20:58	次にドレーンの有効範囲につきましてはその後ろの 8 ページ目ご覧ください。
1:21:03	8 ページ目のですね、一番STAR-キロ発言でございます。これの有効範囲というところに浸透流解析上、出席に供するトレイの範囲ということで簡単に記載してございますけども、
1:21:17	そうですね、23 ページ目、24 ページをご覧ください。
1:21:26	ここにですね、プロセスを詳述するという中でかっこいいとしてドレーンの有効範囲の設定というような項目立てをしております。その中でドレーンの有効範囲について詳細はですね、乾固Eぽつの
1:21:42	23 から 24 に跨る部分について記載するというところでございます。
1:21:50	以上がコメント 16 番でございますコメント 17 番でございますけども、参照した撮影基準文献等を説明せよというものでございます。
1:22:01	これにつきましては、まず
1:22:04	参考資料 2-1 ということで、
1:22:08	一抹の操作のページ番号が抜けていて申しわけございません。ございません。
1:22:13	参考するにうちが今回の税と浸透流解析によりそのへの水制定ということを考える上で、参考とした文献類ということでございます。その中でまずどういったそのフロー、
1:22:29	前な流れで評価を進めるべきかという観点で、
1:22:34	参照したものを日或いはその我々もたてつけとフロー図というプログラムを使った適用例というものを何件かございますのでそちらについて、
1:22:48	Cからあとは地表面でのその浸透郵送取り扱いについて(エ)不動産公社ということで記載してございます。
1:22:57	また、このような整理を踏まえて、
1:23:02	解析フローのほうですね。また詳細に作り直す外ということでございます 7 ページ目。
1:23:11	の方に積極化すいませんでフローと、
1:23:15	いうことで述べてございますけども、まず方針を定めて妥当性を確認すると、その上で、予測解析を行うと、その中で、圧力地下水、
1:23:25	あとは有推量という評価を行ってさっき率を設定するというような流れ、その中でプロセスについてフローの中で記載するような形で整理をしました。
1:23:38	以上がコメント 17 番でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:42	次にコメント十八番でございますけども、部分閉塞の可能性、これについて、この極めて小さいというような考察をしてございます。この根拠として、先ほどの前半戦でご紹介しましたが、参考資料 1-1 という中にドレーンの中のカメラ調査の結果、
1:24:00	記載してございます。
1:24:02	こういったことも踏まえて増えることの線が小さいというふうな結論してるということでございます。
1:24:11	次、突っ込めと 19 番でございます。
1:24:14	こちらブレーン有効交換の配置状況を麻酔の地盤の状況がわかるように、10 断面図等を用いてというものでございます。こちら前半戦の参考資料 3-1 というところで御説明したのですが、
1:24:30	今の断面図に今防潮等も入ってますが、トレンAとの位置関係がわかるような形で書いてると思うんですM9 番地を抜けるような形でまとめがされていることで、健康な地盤上に設置されていると。
1:24:43	地盤に設置されているというような情報を追記してございます。
1:24:48	次にコメント 20 番でございますが、こちらの機能喪失ケースの取り扱いについて、これわかりにくいとかですね。なかなかちょっと表現悪いところもございましたので、先ほど前半戦でご説明をした 24 ページ目以降の部分。
1:25:08	でございますけども、26 ページ目の表、こちらについては前回のヒアリングから所修正をかけておりますので、趣旨が所作さわるような形で修正をかけたというのがコメントの対応でございます。
1:25:27	はい。戻りまして、
1:25:31	次にコメント 21 番でございます。地下水の断面図につきましては、建物構築物について、表のみで、それが無いといけな御指摘がございました。
1:25:43	またなどでの追加せよというようなコメントでございます。
1:25:49	そうですね。はい、それにつきましては、33 ページ目以降を、
1:25:54	ご覧いただければと思いますが、前等々掲載しておりました 33 ページ目の表の後ろに 34 ページ目からですね、36 ページ目まで。
1:26:06	地下水分布を追加してございます。
1:26:12	次にコメント 22 番でございます。
1:26:16	構造物ごとにそのA断面図の記載パターンがちょっと整合しないと。
1:26:23	というようなご指摘がございました。
1:26:29	これに対しまして、
1:26:32	具体的に絵として変わったのが 51 ページ目でございますが、50 ページ目の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:37	A系タンク室、教育タンク水で1同席を使って下のほうでございますけども、こちらの傍聴席の断面図を記載してございます。
1:26:48	こちらの記載の趣旨としては、まずは耐震評価上のその解析断面と一致させるといったような観点ではなくて、あくまでその地下水の分包見るものでございますので、地下水の真ん中に影響を与え得るような断面図に出てくる構造物については協議記載すると。
1:27:06	という方針でマツキヨさというものでございます。
1:27:09	一部ちょっと建家が波線が戸惑ったりとかですわねちょっと一部まだ売り切っていないところなんですが、基本的にはそのような方針での方はへの修正かけているというものでございます。
1:27:23	あと、次のコメント 23 万 24 番は傍聴席の
1:27:28	次の補正の考え方を説明せよというもので 24 番は傍聴席の
1:27:35	加圧器駄目の地下水の設定についてまたと説明することということでございまして、この二つのコメントについては今の
1:27:44	50 ページ周辺、周辺というか、
1:27:48	そうですね。
1:27:51	防潮点につきましては、53 ページ目以降になりますが、黄色ハッチングがかかっている図面でございます。この防潮点のにつきましては、
1:28:03	57 ページ目まで続きますが、としてはなかなか並び名所得修正せませんが、時への情報量としては変わってございません。ただ、絵の下に括弧をつけてまして、大手における地下水位は、EP段階での検討を踏まえて本籍が残るような設定としていると。
1:28:23	そういった情報を膨張点については注記を加えていますのでここでちょっと補正についてうたっているということでございます。
1:28:31	また、それに続いて傍聴席についても、57 ページ目以降ですわね、黄色ハッチがかかっている図面、これが、
1:28:41	62 ページ目まで続きますが、こちらの図面について追求するというものでございます。
1:28:48	こちらが 2 個目と 2324 の対応ということでございます。
1:28:53	次にコメント戻りまして 28 番でございます。
1:28:58	こちらについては、
1:29:01	解析の差異というものに対して、妥当性と補正の観点から解析の主要な項目別に講座等を追加することということでございました。まことに接種は訪ね最終的な結果だけを比較して保守的であるというようなまとめをしていたものに対して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:29:17	各プロセスで評価すべきことがあるだろうと、そういった観点だったかと思いません。
1:29:23	こちらについては、まず 69 ページ目をご覧ください。
1:29:33	69 ページ目いいですね、
1:29:38	予測解析を踏まえて設定した設計用地下水、これについてはプロセスと、プロセスの検証と設計用に係る考察、そういったものをこの小ダテの中で、
1:29:49	整理しているものでございます。
1:29:54	一方で参考資料 6-16-2 ということで飛ばしますけども、参考資料 6-1 というのは、そのプロセスプロセスでこういった確認をしてきたかということで、あとそこにこういった設計も含まれるのかということを整理した資料でございます。
1:30:10	参考資料 6-2 というのがこれに関連して降雨というの
1:30:16	先ほど地下水を程度解析で決めておりますので、臭素保守的な条件でやっておるんですが、その降雨というそのP定常的な事象に対してどのような
1:30:26	余裕を有しているのかということを整理したのが参考資料 6-2 の資料でございます。
1:30:34	はい、参考資料のほうは
1:30:37	ほかの方々からの補足のほうで御説明したいと思います。
1:30:44	引き続きまして、
1:30:48	29 コメント 29 番でございます。29 番。
1:30:53	二十二、三十番、いずれもこれらの統制係数設定の
1:30:58	そうございまして、29 番は、
1:31:02	戻って来歩道について取り扱いの考え方を整理し説明することというものでございました。ここはちょっと今回参考資料 2-4 というところで透水係数設定の資料を今回の内容を充実させておりますので、その一連の
1:31:16	取り組みの中で、前回の資料設定値だけを表でまとめていたものをそれぞれの根拠を含めて、広く補足しておりますので、それをもって対応さと、そういった取り扱いミスがございます。
1:31:31	コメント 30 番ですけども、こちらは岩盤位置岩盤にと 2 号側と 3 号側でその気づきせいただきま機能ということで武装ごとに分けておりますが、その中でも、振動方向に頑張るって岩盤にというふうに系統構成ケース分けて設定していると。
1:31:47	この考え方につきまして、参考資料の乳酸でも触れてますが 2-4 のほうに
1:31:55	そうだと入れて説明を追加したということでございます。
1:32:00	次に 311 番目でございます。こちらですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:07	地下水位をシンプル解析で設定してしまいますので、それをえよ圧力低減対象以外のものに適用する考え方、あとはその耐震計算書が店耐震評価が展開するという点について、
1:32:23	層理考え方を整理して説明するというものでございました。
1:32:28	この対応といたしましては、まず①と書いております通り、まず要する区着目と言いながら、
1:32:37	液状化という観点も含めて地下水位低下設備の設定の目的であるという大方針を頭に至ったと。6 ページ目、先ほどのところでございますが、言ったというのが①の記載でございます。
1:32:50	また②ということで、
1:32:53	水位評価が非常にその粗いということは、それはそれで問題ですので、耐震評価の設計条件をする上でモデル化において考慮すべき事項、更新統ですとか、その補正の確保ですとか、そういったところ、項目立てをして資料化させると。
1:33:11	理想理想像 11 ページ 2 ページですとか、2930 と書いてますけども、補足の 11 ページ 2 ページにつきましては、
1:33:24	ここのですね、例えば地盤交通のモデル化の方針ですとか、12 ページであれば改造という項目だとしますのは十分な公式間隔解像度を確保するですとか、
1:33:39	あと再現性があるモデルを使ってちゃんと補正を確保すると、そういったの方針、対応して、ここで謳っているということでございます。
1:33:48	29、30 分のところでございますけども、ここは細節の今まで本文承知の上で評価とまとめとして、30 ページのほうに整理したというものでございます。
1:34:03	こちらを持って先ほどそのコメント 3 地盤対応というふうにいたしました。
1:34:09	32、この 32 番でございます。
1:34:12	こちらはもう一度代理脅威関与することについても踏まえて、
1:34:19	試験の内容整理せよということだと統制試験やってるのであれば透水試験結果との対応を示すことということでございます。はい。こちらの特にここなんですけど、コメントリストの書き方ですね、もう少し具体がわかるような形でちょっと次回以降、
1:34:36	修正されたと思いますが、づらい類型を有していることについての影響考察並びに透水試験結果を踏まえてもその今の設計設定がおかしくない、妥当であるとかそういったデータの提示の考察を追記。
1:34:53	こちらを行っておりますことで参考資料 2-4 での対応というふうに記載してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:00	次 33 名※33 番でございますが、コンクリート構造物の浸透流解析上の取り扱いということでございます。
1:35:08	この回答内容上、不透水層ですというふうに述べてますが、参考資料 2-4 のほうには、
1:35:15	そこの透水係数を与えたとしても、実際に影響がない感度が小さいということも踏まえて沸騰水消防車という考え方を含めて記載してございます。
1:35:29	次に、コメントの 34 番でございます。
1:35:33	こちらは工房与える山陰解析と近い改善後の予測解析に対する検証の考え方を整理し説明すると。
1:35:40	ということで、また傍聴で周辺の地下水観測データの研修の活用について検討することと、
1:35:47	ということでございます。
1:35:49	この①につきましては、
1:35:52	16、16 ページ目。
1:35:59	でございます。16 ページについては
1:36:02	観測水位との比較による検証と有償データ
1:36:07	でございます、
1:36:09	米国発の再現解析の中での方針ということでございます。
1:36:15	平均水位最大水位
1:36:17	これに対して各観測データを概ね再現できているということと、あとは走向に対する観測井の脅威に注意していると感度があるということでもって妥当性を確認するという方向性を記載してございます。
1:36:39	そうですね。またですね、予測解析については先ほどの 69 ページ並びにその参考資料 6-16-2 というところでモデル化の各プロセスの検証を整理した章立て、
1:36:55	こちらで受ける形にしてございます。
1:36:58	また最後の防潮低の周辺における地下水観測データというものにつきましては、3 ページになりますが、
1:37:08	3 ページでございます。3 ページG、
1:37:11	構台の観測記録として、
1:37:14	観測孔の位置から 10 までのデータを挙げてございますけども、そこをちょっと周りの周辺のデータについても、将来の確認をいたしました。
1:37:24	いいですのでデータの活用の仕方について、その検討して参ったわけなんですけども、なかなかまず、まずその連続観測データでまず内なかったということと、またその工事中の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:39	影響がですね指定できるできないと。
1:37:42	いうところがございますので、なかなかちょっとここの検証に耐える強度なかなか使い、
1:37:49	にくいなというところございましたので、
1:37:52	一応その旨を記載した上で連続データ、
1:37:56	いわゆる相関属性を
1:37:59	検証対象というふうに扱ったということを記載してございます。
1:38:07	次、コメント 35 番でございます。この参考資料 2-4 透水係数の話ですが、森本旧表土と同じE-と。
1:38:16	ということで、あとは臨時の算出過程ですとかその情報を水性というコメントでございましたが、こちらについてはこのように対応する情報を今回追加しているということでございます。
1:38:32	36 番も同様でして、同じく参考資料 2-4 でございますけども、平面的な分布深度方向の分布ソフト踏まえても、代表性があるんだということを示すようにということで、これに対する説明を追加してございます。
1:38:50	次コメント 37 番でございます。
1:38:53	トレンの耐震ここもコメントが 3. 配当の形になってますが、一つは、耐震性における砕石さの扱いということと、あと目視カメラ等での保守管理の方法クリア影響に起因する、トレン機器の総数の可能性と、この 3 点でございます。
1:39:10	①番ですけれども、こちらの耐震性のその説明の中で別途御説明されたと思いますが、この砕石層については穂つき森尾として扱うというようなことで、耐震計算ず所長は、評価をとりあえず取り扱ってるということでございます。こちらの計算書の説明に
1:39:29	説明したいというふうに考えてございます。
1:39:32	また目視カメラにつきまして、この保守管理というくくりで参考資料 3-3 というパッケージを今回新たに作って参りましたので、その中で、交換であればカメラでの連続性を確認すると。
1:39:49	周部間であれば人が入るものが入るんですが、入れないφ500 のものは取れた知見で当経路ですつと確認すると、そういったことがございますので、この辺りを実際にその確認をしたという結果も含めて、
1:40:05	保守管理方法として参考資料 3-3 に整理をしたということでございます。
1:40:10	まず 3-6.09 につきましても同じく参考資料 3-3 のほうに記載してございますので、これは後程紹介されたと思います。
1:40:18	次、コメント 38 番でございます。2 号機の海水ポンプ室側のドレンの排水経路についてということでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:27	こちらです、詳細検討を踏まえまして、具体化した部分がございますので、こちらについては一参考 3-2 ということでこちらの施行に関わる部分、試験施工も含めてですね、施工に関わる部分をパッケージとして、今回新たにおつけしておりますので、
1:40:43	そちらで別途説明したいと思います。
1:40:46	39 番のコメントでございますけども、湧水量を浸透流解析で評価すると、この 1 号側と 3 号が 0 で設計するの傾向が異なると。
1:40:57	具体的には 1 号についての方はヒューム管からの流入が卓越するものに対して、3 号側、それ深部の交換からの輸入が卓越しているということでございますが、考察について参考資料 3-1 のほうに加えてございます。
1:41:15	流れ
1:41:18	香南流れ方向に対して上流側に交換が入ってる。
1:41:23	ので 3 号側ですね。ですので 3 号側でどうしても公開の多く拾ってしまうというその設備の位置関係周部間のトレンもとえいと鋼管のドレーン網の位置関係、
1:41:35	ですね、流れ方向と位置関係によって、どうしても日本側では瞬間が先に拾ってしまうと、3 号まで効果が先に拾ってしまうという状況がございますので、そこを聞き、記載を追加してございます。
1:41:49	次に 4 番目でございますが、ドレンの連続挑戦不織布貯めるシートという部材がまとめを構成する部材の中でございます。こちらの耐久性についての情報ということで、こちらは参考資料 1-1 のほうにですね先ほどの前半でもちょっと触れましたが、
1:42:06	沢山かかる試験結果等をお付けしているというところでございます。
1:42:13	一応コメントとしては今回以上でございまして、こちらを反映した形で資料を再構成したということでございます。
1:42:23	参考資料の説明を引き続き入りますけども、参考資料のまず
1:42:29	ちょっと目次ベースも含めてですね、見ていただいたときに、
1:42:34	参考資料 1-1 というの
1:42:38	おっきなですね敷地の流れを一番最初の指揮所水文環境というものを
1:42:44	抄ダテの中で説明してます。その中で、そのはい全体の排水系をAに影響する大きな要因として、地下水位低下設備がございますので、その概要という意味合いでつけてございます。
1:42:59	同じくそのA敷地の全体の排水系という中で構内排水量というものについても、これもEP段階で述べていた内容でございますので、そちらについての再掲をしておりますが、合わせて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:15	ヒアリングですね、この排水量がだめになった場合にどうするのかとかそういったコメントもございますので、その対象について、追求をしていると具体的なそのA配管の東部に分岐管を持って分岐構造。
1:43:32	文教取れるような構造を設けて、この排水が流れの長さの場合は仮設ホースを接続すると、その上で学ばせるところに流していくと、そういった対応を先ほど考慮すると、そういった方針を参考する値の中で具体つつ、
1:43:49	現状の行内するの構造はほぼ全線岩着せますが、そういった構造を述べているというものでございます。
1:43:59	参考資料の1-3は検証に活用したデータをデータとして述べているというものでございます。
1:44:07	はい。
1:44:09	規制庁フジワラです。ちょっと参考資料の説明とその発想、この補足の本文との関連につきましては、今なんかの説明が参考資料、それぞれの説明の一定付議されてるのはわかるんですけども。
1:44:26	私が求めているのは全体の地下水位の設定に関してこちらの参考資料がどうリンクしているのかっていうのはちょっと別途説明いただきたいので、具体的に言うと7ページとかではあのフローとかで設定方法書いてるじゃないかで、ここの中に参考資料がどういうふうな位置付けになってるのかっていうのをちょっと
1:44:45	ちょっとそこへと一番多分
1:44:49	cたところですね、ちょっと寸前にちょっと説明いただけますか。
1:44:58	規制庁の江崎ですけども、今のフジワラのコメントに対して補足させていただくと、いわゆる
1:45:08	前提条件になってくフローの中でですね、こう中に入ってくる前提条件になっているもの、またはその判断基準になってるいわゆる意思決定プロセス。
1:45:21	ていうものが、
1:45:22	基本的にその
1:45:24	多分、
1:45:25	参考資料の中から決まっているものってあるんだと思うんですね、それがどこの位置で、それが入ってくるのかが見え見えない。
1:45:38	または見えにくいっていう部分があるのと、
1:45:42	十分に上はわかってくる部分を幾つかはあるんですが、いわゆるわかりにくい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:49	何度も呼ばないと、もうどこが繋がっていくのかと思うんでここう判断に至ったのかがわかりにくいっていうのがあるんですね。それをすっとわかりやすくするために、一つの
1:46:02	ふうんチャートいわゆる不意思決定。
1:46:06	係わるですね。そうチャート要は地図ですね。というイメージで作っていただきたい。
1:46:13	その一つの1例としては広谷さん。
1:46:17	村尾岡田さんたちが建家ですね。そう書またはそのひび割れによる剛性低下のときにいろいろかなりですね力かけて実験とかいろんな検討とかしているんですが、余りにも多く、
1:46:34	検討されていて、どういう関連性があるのか見えてこないっていうことが許可の中で、かなりですね議論されて、伊勢整備を整理をですね、かなり素求めていく中で時間かけてその整理を図ったっていう経緯があるんですか。
1:46:50	これに関してもですね。
1:46:52	統合電力としてはかなり
1:46:55	はじめにですねいろんな検討されているんですけども、そこが我々として読んでいてわかりにくいのは、
1:47:04	これらの資料がどこにひもづいていて、同様な決定事項になっていくのかっていうのはですね、なかなかわかりにくいんで。
1:47:11	端的に言うと、審査官でそのような観測所管が違ってくるんで話がかみ合わないっていうのは結構あるんですが、コメント出すのにそういうこともあってですねここはちょっと整理していただかないと
1:47:26	我々としてもですね想定剛性の判断がちょっと格子かねるという部分がありますので、これはちょっと協力いただいて、していただきたいと生協はですねその部分に関して言うとですね、端的に言うんですけど、特にわかりにくいなんていうところは、
1:47:43	資料を参考資料6-2の降雨に
1:47:46	やっぱりする設計用地下水の余裕についてっていうのは、
1:47:51	ここはどこに結びついてというような結論に至ってるかっていうのをちょっと僕なんかあったら僕なんかでもわかりにくかったんで、それ以外のところは多分ですねこの許可、
1:48:02	の段階ではなくて工認から入っている審査会にとっては筒状に
1:48:07	わかりにくい状態になってるかなと思うんですね、書き方がわかりにくいというよりはたくさんいろんなこのされているので、広谷さんの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:15	いうので、それがどういうふうな意思決定プロセスに繋がっていったのかでそれが全体にどのような流れになっているところがストリームがよくわかりにくい。
1:48:26	ということで今フジワラのほうでフローチャートにそういった、
1:48:31	部分がどこにかみ合ってくるのかというのが一つの地図ですよね。そういうのはわかるように、資料を作っていただきたいなと今日はちょっとですね、そうは言っても、次回までに
1:48:44	いいし、それを訂正する場合に、
1:48:47	これ方どんな感じなのかっていうのは我々としても聞いておかないと、やっぱり審査の効率落ちちゃうので、そこは要約してでも結構なんですけど、ちょっと説明いただければと思うんですね。
1:49:06	はい。特にこのダテですコメントの趣旨理解しました。
1:49:11	7 ページ目のフローの中、
1:49:16	フローの中で各参考資料がどういった位置付けを持ってくる意味を持てるのかと、そういった観点でちょっと御説明しようと思えますけども、よろしいですか。
1:49:31	それではまずフローの
1:49:35	まずその設計を使う水のそのフローと全く別にその尋ね情報として、今記載する参考資料についてはその 1-1-2 の既設の地下水位低下設備の概要ですとか、
1:49:49	この排水量については、これ
1:49:54	その前提全停とかですね、前提となるその情報として、記載をしてるということでございます。
1:50:11	このフローをまず風呂の外というかですね、外からこのフローを作るにあたって、営推参考としたものとして参考資料 2-1 というものを参考文献等というのがございます。ございますけども、
1:50:24	このフローの中に直接出てくるものではないですが、そういったその文献等も見ながら、こういったフローが標準的なのではないかとということで考えたというようなものでございます。
1:51:18	参考としてるところの一つ。
1:51:23	話して入ってないとひもづくから
1:51:27	はい。
1:51:28	だから、
1:51:29	そういう状況に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:51:32	何かガイドが上がればかなり文献に基づいてたっているのをフローとして、その上で、それが参考 1 回線化或いはそれをそういうことを今後できて、
1:51:43	括弧という整理が必要だっている
1:51:54	了解いたしました。はい。
1:52:00	はい、そうだなそうですね訂正をしますが、やっぱりモデル化方針の設定というような枠の中に今ほどお話したその前提となる情報の 1-1、1-2 ですか、そういった既設の設備の情報も入りますし、
1:52:15	参考資料 2-1 のような参照した文献等もこういったものも入ってモデル化方針というものが設定されるということで、一番上のモデル化方針の中には、1-1、1-22-1。
1:52:31	あとはその対象施設の抽出というところで、どういった節に着目してトレン設計するかということがございますので、そういう意味で参考資料の 2-2 というものもモデル化方針の設定の中で予備困ると。
1:52:45	いう整理かと思えます。
1:52:53	次に、そういった全停とのその大きな考え方条件、そういったものを整理した上で、次の再解析によるモデルの妥当性の確認というようなとに進むんですけども、ここでは
1:53:09	再現解析において酸素するデータということで、参考資料の 1-3。
1:53:15	地下水の観測データというものがここで予備困ると。
1:53:19	ということかと思えます。
1:53:29	あとすいません、もう戻りますがモデル化方針の設定にあたっては建設時工認の段階で実施した新取り解析そういったものを手法ですとかそのクライテリアの設定において、或いはパラメーターの説明で参照しますので、参考資料 2-3 と。
1:53:47	いうものもモデル化方針のところで読み込まれるというふうに考えます。
1:53:58	2-4 のその透水係数の設定も同じでインプット情報としてはその透水係数オオエここで設定するということになります。
1:54:11	2-4 号、
1:54:13	はい、海であります。ここに同様の中で再現解析に用いる透水係数、あと予測解析 1 予測解析に用いる統制ケースをそれぞれ設定すると。
1:54:24	いうことになりますので 2 の要はモデル化方針のほうに入るかなと思えます。
1:54:42	はい。
1:54:44	次襲っ解析よそから詐欺解析で再現性が確認されたという前提で、予測解析に飛ぶというようなフローにしてございます。予測解析は 2 種類置いてまして、岩手奥地下水位設定絡みを左側のパスと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:03	あとそのポンプの能力を決めるための有推量産する二つのパスがございます。
1:55:09	ここでドレーンの有効範囲という、参考資料 2-5 という資料、その有効範囲決めてる資料ございますけども、こちらが予測解析 1Aドレンのモデル化有効範囲の設定というところで、読み込まれます。
1:55:27	あくまでその水位評価上はトレンを絞って保守的に麻酔を出すというような観点で絞りますので、2号はここで読み込まれるということになります。
1:55:42	あと、2-5の整理をする上で、
1:55:49	3、
1:55:51	設備概要のシリーズの 3-13233 というのは設備の情報は整理したような施工試験の情報整理性をとってございまして、
1:56:04	これはなかなかちょっと、どこに
1:56:08	というのは入れづらいんですが、
1:56:11	そうですね、今の有効範囲を検討する上で等もあわせて整理できていく情報だと思つと、予測解析のほうに 3 シリーズが入るかなというふうに考えます。
1:56:26	どれのモデル化のところですね。はい。
1:56:34	参考の 4 シリーズですけども、こちらは設備概要を決定設定する前提となる情報ですので、同じレベルを立てると思つます。そのモデル化の有効範囲とか機能喪失モードを考える上で、
1:56:51	信頼性というものともセットですので、4 のシリーズもここに入ると。
1:56:56	いうふうに考えます。
1:57:09	で、この位置も、ここに
1:57:12	入ります。
1:57:14	こういう範囲設定をしてちゃんと流れ、それがちゃんと
1:57:19	想定する水をちゃんと直せますというような確認を参考資料 5-1 で行っておりますので、そういう意味ではどれのモデル化という中に参考資料 5-1 も入ると。
1:57:29	いうことでございます。
1:57:41	次参考する 5-2 でございますけども、これは法定の取得を閉じたことによるその影響を予測しているものでございまして、これはどこに聞いているかという、
1:57:54	最終的なですね観測計画のところではサガエ引用してございまして、このフローでいきます一番下の予測解析の検証過去今後というところ。
1:58:05	その検証を行う上でその地下水位の観測孔を決めるわけなんですけども、その観測を決めるにあたって、もうちょっとが閉じた後の水位の変化をちゃんとキャッ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ちできる一応この解析をもって設定しているということで合意が一番さに来ると。
1:58:22	ということでございます。
1:58:28	参考する5-3につきましては、右側、左側の予測解析位置から来る水位を決めるというパスの中でパスの一番下、設計用地下水水位の設定というところで、これ土木構造物の
1:58:44	地下水の設定方法を積極化させて崩壊してますので、この一番際の設計用地下水水位の設定という枠の中にゴムさんが入ると。
1:58:52	ということでございます。
1:58:58	5-4はその次のステップではございますけども、いずれ送水経営水位を使ってその液状化検討対象施設を抽出するというプロセスですので、孫さんと同じような位置に入ってくるというふうに考えます。
1:59:17	6-16-2でございますけども、これは予測解析将来的な地形構造物に対しての水位評価結果ですので、それを何とセンター等と言うかと。
1:59:32	いうところの説明に使っておりますので、このフローで言いますと、設計用地下水水位の設定という枠の中の一番その補正の確認と、観測水位の比較行為に対する影響などを書いてますけども、こういったことをもって、予測解析結果は、
1:59:48	妥当だと補正があるというようなことを項立てておりますのでこの中に入ってくると。
1:59:55	いうふうに考えます。
1:59:58	あと、参考資料7をこのフロー外になりますけども、全体として今回検討したもののついて差分を説明したものでございますので枠外ということになります。
2:00:11	町のフロー上、整理すると、今のよう形になるかなと思っておりますところのフローのほうも関連性見える形で修正しようと思っておりますけども、ちょっと今の
2:00:26	東北電力の辨野でございます。少し補足をさせていただきます。ちょっとすみませんあのフローに反映できてないところがあるのでちょっと申し訳ございません。まずですね最初のスタートのところから入っているので、まず一番最初に出てくるのが実は節項にごめんなさい、既設の工認でどのように扱われているかということが一番最初に聞きます。
2:00:45	ここの考え方として我々としては既設工認でこういう考え方に基づいて要は圧力とか決めていたので、まずこれが一番最初に行きまして、これの妥当性を確認するという面でモデルの妥当性というところに検証が入ります。ちょっとその辺が抜けていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:03	ダメも説明をさせていただく際に参考の 2-3 の辺りがちょっとうまく説明できてるんだと思うんですけども、まずそれが頭にきます。その上でここに決まっている透水係数の妥当性とかは、改めて今回のオオエCPでモデル化購入の段階で、
2:01:20	妥当性について検証をする必要があるということで、今回ですね粒径の大きさも含めて、この透水係数とか、或いは岩盤の位置の考え方についていろいろ設定根拠をつけさせていただいたのが 2-4 シリーズという形になります。
2:01:37	その再現解析をするときにはそれらの条件でよろしいんですけども次の予測解析に入ったときにはどういうどれが生きていてどういうどれが死ぬかというような、いわゆるこれ設備的な判断、そういうものが入ってきますので先ほどの設備の構成で言うところの参考資料 2-5 にあるような
2:01:55	ドレーンの有効範囲というのはこれは横側に出ていて、モデル化として反映すべきものは何なのかっていうところは別のフローとして、この中に入ってきて、結果的にそれを使った場合にはどういう推移になるのかっていうのが最後の水のほうに流れていきます。で、その水の位置付けがどれぐらい余裕を持てるのかというについては参考資料の
2:02:16	6 シリーズで書いてあるような降水量と合っていると、6-2 と比べて十分な保守性があるのかどうかっていうところの検証に流れていくと、一方で設備構成のフォローに関してはさっき申し上げたどの部分が妥当なのかということ 4 シリーズでそのあとような形で、先ほど第 1 部で、
2:02:34	御説明させていただいたような可搬の位置付けも含めて、その設備構成が妥当であるということの裏付けとしての保守的な考え方とかを構成していくと、それが全体マップになっておりますので大きくそういった二つの流れの中で、縦軸としては、横、
2:02:51	解析に関して最後の水位に行くフロー一方でもう一方の軸として、設備構成をどう考えるかというフローがあって、そこが交わって最終的に二つの結論が満たされているというような構成になってございます。次回までにその辺はマップという形でフローも修正も含めて、お示ししたいと思います。以上でございます。
2:03:11	既設のエサキですけども、多分今までですね、御説明されたことも豊富フローチャートを拡張して資料番号を入れるだけではちょっとわかりにくくて、今説明されたことがあると、文章として、
2:03:27	例えばこのフローチャートよう説明するイメージで、
2:03:32	よくあるのは、一番最初でどういう手順でやるかっていうことで、大方の概要の流れを

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:39	説明して府とともに説明するっていうやり方があるじゃないですか。それって、今おっしゃられたような話ですよ。
2:03:47	急場
2:03:49	設計用の地下水の設定ということで、一つ例を挙げるならば、設計用地下水の補正の確認ということで、まあ観測水道比較なんところは御だけで、
2:04:03	イメージはわくんですが、
2:04:05	麓の降雨に対する影響っていうのは何でやってんのかっていうことがわからないので詳しくは要らないんですけど、
2:04:14	ここでやらなきゃいけないことはこういうことなので、こういった検討しますよとしていますよというような
2:04:21	フローの中の説明を入れていただくと、全体の流れがわかるかとフローチャートで次本当本来であれば、意思決定プロセスがわかるような
2:04:32	うん。
2:04:34	がいいんですけど、そうすると逆に複雑になっちゃうかもしれませんから、今ような説明をされるとわかるんですけど、それが最初にあると、最初そう
2:04:46	図書読む紐解いていくのの一つの地図になると思うんでわかりますが務めますんでその辺はちょっと方法を検討いただきたいと思います。
2:04:58	当コメント内容を理解しましたし、修正をかけてもっともっと聞きたいと思います。以上です。
2:05:20	すみませんあと、先ほどエサキさんのほうからですね、ご指摘がいただいた当社建築がですね、いろいろそういったの剛性低下非常に多くの実験とかシミュレーションやってる例も、このこのパターンとよく似てるっていう御指摘ありましたので、それらも踏まえて、マップと説明を構成するように考えたいと思います。
2:05:48	規制庁フジワラです。回答整理表ちょっと入る前にちょっと私の方からひとつ今後ちょっとお願い、前回ちょっと
2:06:02	前回というか、
2:06:04	今の回答整理表についてちょっとコメント内容と回答内容がちゃんと資料だけでちゃんとクローズするような記載をちょっと、こうやっていただけると、それらのお願い時ぜひお願いしたいと思ってまして、そういう本当はこの地盤の支持の
2:06:20	この内容が非常にちょっと見づらかったちょっとは発端ですねですからこれは重点的にやっていただきたいんですね、例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:28	この①の資料の3ページ目の23番だとか、防滴コメント内容がですね、防潮について、こういった構造形式ごとに地下水の保守性の考え方を説明すること。
2:06:45	これコメント内容なんですね。
2:06:47	本当にこの回答は、回答内容で帰ってきてるかって言われると、ここで行くと何か説明追加しましたって書いてあるだけなんですね、あと資料に飛んでいると。これちょっとわかりにくいので、
2:06:59	基本的にこのコメントに書いてある考え方をちゃんと説明する。
2:07:04	考え方をちゃんとこの回答内容書いて欲しい。しかも構造形式ごとに、その保守性の考え方。
2:07:11	これらの私のお願い事項で具体的にともっとこの本当にコメント内容が反映できるかっていうのを実際資料見ても何かよくわからないところもあるので、えいやそういうところもきちっとこここちゃんとブラッシュアップすればできると思うんで、追加、これは見直しいただきたいのが一つで、
2:07:29	もう1件がですね4ページ。
2:07:32	ちょっとコメントが売った分がこちらから出してる気づき事項が大分多いことがあって何か説明を大分中鏑して、しかも回答内容まさにしている雰囲気があるんですけど、ちょっとそれは気持ちはわかります。基本コメント一軒一軒ずつ丁寧にご回答いただきたい。例えば35番とかでも、
2:07:54	この35のコメント内容って何々すること、何々すること、何をすることと三つの項目があって、それぞれの項目についてちゃんと回答内容は①、これについてはこう考えているのでこうしました。
2:08:09	というのはちゃんと記載してください。要は何を禁止するかっていうと、コメント内容で書いてる内容がすべてこの参考資料に反映されてないように私は感じております。このため、これについてはきちっと
2:08:23	コメント内容、内容をちゃんと踏んで回答分をずっとしてください。この内容についてできないんだと尊重できない理由をきちっと書いた上で、これ回答不要だとかですね、そういったのをちょっときちっと書いていただけたらと思うんですが、これちょっと気になってますけどそれよろしいでしょうか。
2:08:41	はい。とく電力のダテです。コメント趣旨了解いたしましたの回答につきましてはやっぱりこれだけで考え方がわかるような形で記載すると、あと参考資料のほうも、それぞれボリュームがあるものもありますので、どこに反映したのかということも併せてちょっとわかるような形でちょっと
2:08:59	次回以降ですね修正してもらいたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:05	規制庁のはそれだけですけども、今の話ですね、多分これってどのサイトでも求めている、
2:09:12	でないですね、最後全部刈り取ったとかっていうのですね投入のときもやってますしそれもやってるんですけど、あまりここをですね。
2:09:20	それを初期の段階から上ぐらいにしていると、全部置き換えな刈り取りできるかどうかと言うのですね、70 かもかけてですね。
2:09:29	等にも下手すればいい。
2:09:31	2 週間前止水ヶ月近くしっかり取り組んでいると時間とったんですけど、そういうことになってしまうので、最初からこれちょっとこまめにやっていたほうが後々お互いにな
2:09:41	もう更新作業分を完結するに至ってですね、楽なと思いますんで効率的だと思いますんで、それはちょっとご協力いただければと思います。
2:09:51	了解。了解いたしましてこの全体ちゃんと回答が閉じているかということを確認する意味でも来たのをちょっと丁寧にしたいと思います。よろしくお願いします。
2:10:02	既設のオザキですけども、時間がなくなったりですねあるだとあればちょっと厳しいかもしれないんですが、できればですね、確認。
2:10:12	としてですね相似比のヒアリングの中で、総がかり取れてるかどうかは、ある程度お互いに意思決定していかないと、もうすでに
2:10:22	毛布 2 回にわたってこう 55 に至るですね、ヒアリング出ちゃってますか今日合わせてまた増えちゃうと思うんですよ。ですからどこまでが刈り取っているのか、それがまだ十分じゃないんであったらと出てきて、コメントでいって、
2:10:38	どこのコメントに繋がっているとかかですねそれはちょっとですねある程度時間のある方いて結構なんですけど、その辺をですねしっかりとですね、整理していかないと後々大変になると思いますんで。
2:10:50	規制庁パートを事業者の方も含めてですねその辺はちょっと配慮していただければと思います。
2:11:00	こっちいたしました。
2:11:06	そしたらどう規制庁側のほうから質疑応答に入りたいと思います。
2:11:21	規制庁ウエキです。
2:11:23	ちょっと一部の質疑応答のところでは抜けていたのでちょっと表として出てる話かもしれないんですけどちょっと確認させてください。
2:11:34	資料 3 の 23 ページ。
2:11:40	のところですね、ちょっと確認したいのはちょっと既設の地下水位低下設備の扱いがちょっとわからないところがありまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:51	このカッコいいのドレーン有効範囲の設定というか、
2:11:56	ところでその有効範囲について新設及び既設範囲の
2:12:01	うち信頼性が確認された範囲に限定することで保守性を確保するというふうに書いてあるんですけども、
2:12:11	既設の地下水性の低下設備について、
2:12:17	Ssに対する機能維持を期待して耐震計算書を提示する範囲っていうのはあるのかどうかと具体的には例えば揚水ポンプとか配管とか水系とか制御盤とかもあると思うんですけど。
2:12:34	それらについては扱いはどうするのかっていうのを教えてください。
2:12:44	はい東北電力のダテです。その近づいてきた設備を構成する部位の中で、ここではどれの話を記載してございますけども、どれについてはまず耐震検査としてまずあのお出しすると、ここでその小さく四角で書いてある接続マツについても含めて、この個別の計算書ですけども。
2:13:03	それぞれ耐震計算書をお出しする予定です。どれにつきましてはこの
2:13:09	24 ページ目の
2:13:12	紫で書いてある範囲、こちらをこの管路と見直すわけなんですけども、あくまでもその既設のドレーン全体の中で、例えば一番荷重条件厳しい胴下部が厳しい断面というのは選び方をしていますので、
2:13:28	基本的にはこの色がついてるところ以外も含めて耐震性としては確保されると思っています。ただその上で、多重性、
2:13:40	なぜ安全性としてはそのまま要求に対する多重性が確保できないような船型AAのトレイについては、これ黒く塗り潰してその透水層として見るような配慮してございます。
2:13:56	今ドレンの例を述べませんけども、水道後揚水井戸内に内包されるこういうポンプ配管推計についてもそれぞれの耐震計算書をお出しする予定です。
2:14:11	季節、
2:14:16	失礼いたしますが適切につきましてはあくまで今回新たにづらくなる自分の3-3-17、24 ページ目の中で、共通ウェイ活用するのがドレンと接続ます。
2:14:33	の一部でございますので、そちらについては、耐震計算書としてお出しするということで考えてございますが、既設のですね、児童話その揚水ポンプ配管水系につきましては、こちらについては今後期待しないということで耐震計算書はそうですねということで考えてます。
2:14:55	規制庁ウエキです。わかりました。この解析の条件等の整合させた上でどの範囲を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:15:06	どの範囲の耐震計算書のどの範囲について出すかというのをちょっと明確に していただければと思います。
2:15:15	期待していないので耐震計算書は出さないということとかですね。
2:15:21	ということです。
2:15:25	特にこのダテでございます。ここの渡せる警察の中では範囲として述べておる んですが、全体像としてわかるような形でというコメントかと思imasので、そ ちらについてはちょっと情報のほうをちょっと追加したいと思imas。以上で す。
2:15:42	規制庁いけそうお願いします。
2:15:45	鉄塔等ですね、
2:15:49	参考資料 3-1。
2:15:54	なんですけど。
2:16:03	この参考資料 3-1 以降に書いてある地下水低下設備というのは、新設する ものについて、と書いてあると思imasですけども、用語としてですね。
2:16:19	今回その近づい低下設備。
2:16:24	と呼ぶものは新設のものに
2:16:27	限るということでいいんです逆の言い方をすると、既設の
2:16:34	先ほど伺ったポンプとか、そういうものはもうないものとか、それはもう地下水 低下設備ではないと呼び方としてですね、そういうことになるのかどうかちょっ と、当然、この資料として見た時に地下水位低下設備っていうのが 2 種類出て きて、
2:16:53	既設と新設ちょっと区別がつきにくいので、
2:16:58	その辺をちょっと明確にできないかなということなんですけど。
2:17:04	はい東北電力のダテでございます。それと、ちょっとわかりにくいところがござ います。既設の範囲のうち、津浪性が確認されている一部のドレンについて は、新設合わせてき体制くる今後期待するという方向でございますので、
2:17:22	そこがわかるように表示法工夫されたと思imas。それと装置については既設 の一部を今後も活用するという方針でございます。
2:17:32	規制庁ウエキです。記載のほうをよろしくお願imas。ちなみにですね既設 のポンプとか配管っていうのは作って、
2:17:43	運用上損つけたままにするのか或いは撤去してしまうのか、その辺はどうなん でしょうか。
2:17:52	それでこちら本店側回答お願imasできますでしょうか。
2:17:59	東北電力の尾崎でございます。既設のポンプについては撤去一定する予定 でございます。新しいポンプによって排水する予定でございます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:14	規制庁ウエキです。わかりました。
2:18:18	それから出損同じ参考 3-1-1 ページの上の図なんですけど。
2:18:27	ちょっと凡例が少しわかりづらいところがあって、
2:18:33	青色の太いやつがドレンの括弧ヒューム管で細い赤線がドレンの括弧交換っていうふうになっていて、その実際書いてあるものというのは太さとかいろいろちょっとよくわからなくてですね。
2:18:53	いる赤色学校間なんで青色がヒューム管なのか、あと、例えば赤い太線をどうなのかとか、その辺は東北電力のダテでございますこちらについては、投票G ずつですね、
2:19:13	操船適切に適正化させていただきますけども、申し訳ございません太さでもってですね。ヒューム管の交換というふうに区別いただければと思います。今太いほうほう載せ側の周部間の建家の基礎レベルに入っているヒューム管、
2:19:30	でございます、この色分けをドレンの径がですね、場所をシノて来異なりますので、あそこちょっとレイワ表示するんですがちょっと凡例が打つ落ちてないというものでここはちょっと適正化いたします。そういうオノ細い線で書いてあるものが、
2:19:46	ドレン交換と呼んでるものでございましてこちらが隣の参考 3-1-2 のポンチ絵とあわせて見ていただきますと、もう少し深いレベルに入っているものでございます。以上です。
2:20:01	規制庁ウエキです。わかりました。Wetわかるように修正をお願いします。あとあの最後なんですけども事実でばっか青い四角で電源盤というのがテーマ原子炉建屋の
2:20:16	左側のほうに記載されてるんですけども、
2:20:21	これは
2:20:23	電源盤を表してるのか或いは
2:20:27	非常用DGのことを言ってるのか、それは、
2:20:33	説明をお願いします。
2:20:37	本店側で回答をお願いしますか。東北電力の尾崎でございます。それでもそれが該当いたします。もちろんさ。
2:20:50	例えば回答いたします。
2:21:14	お待たせいたしました。東北電力のオオエです。こちら塗り潰しておりますのは、
2:21:21	地下水低下設備の電源盤お勧めしたものとなっております提示トピックスとなっております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:31	規制庁いけそうわかりました、えっとですねちょっと資料の場所忘れたんですけど、どこから電源電源盤ということで、言い方ではなくて電源として括弧非常DGとか書いてある。
2:21:46	ところもちょっとあったりするので前年版だけ電源盤ということを明確に
2:21:56	ほかの
2:21:58	ところでですね、記載を統一、
2:22:01	していただくようお願いします。
2:22:04	私からは以上です。
2:22:09	はい方向に公益了解いたしました。
2:22:12	資料の内容を確認します的に修正させていただきます。
2:22:17	課長規制庁エサキですけども、今交通を東京の方ではちょっとお話ししたんですけど許可のことを振り返って、
2:22:25	例えば、電源盤はなぜ離れていることっていうのは、既往ぶさ配置っていうことで、そもそも屋内に入れたのは、この竜巻の影響が受ける受けないっていうことを多分許可で議論したと思うんですけど、なぜこういうところに配置してるっていうこともちょっと
2:22:39	書いたほうがいいんじゃないですかね許可でいいって話も、
2:22:42	ね。
2:22:46	はい。特に狂ったてでございます。参考資料 3-2 のほうでこういった配慮するというのも書いておりますので、そこも、
2:22:53	すべて読めるように、盤の配置上も配慮することということがわかるようにちょっとここで表現を追加されたと思います。以上です。
2:23:10	規制庁のです。ちょっとそもその話でちょっとわからなくて教えていただきたいんですけども、このポンプで 2 で今入ってると思うんですけども、これ常時稼働してないである一定の水位になったら 2 台とも同時に動き始めて水位を低下させるんですか。
2:23:30	ポンプ稼働条件とかって何かあるんですけど、それはしかもに第 1 週 7 日 1 一大目の一つ目と二つ目でこう違ったりとかするんでしょうか。
2:23:49	東北電力大井でございます。今の御質問に関してですけども、当揚水ポンプについては、1 台ずつですね交互運転することで設計を進めております。
2:24:03	はい、以上でございます。
2:24:35	トーク電力オオエです。
2:24:38	先ほど御回答差し上げたんですけども、聞こえていますと、そうか、すべてダメです。佐野今の聞こえておまして、あとそこでのほうでちょっと議補足をしておりました。はい、ありがとうございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:51	規制庁のです。ちょっと今の情景をどこかに記載していただくと助かりますんでちょっと続いての質問なんですけれども、参考 4-3-1 で、
2:25:03	2 ポツの運用のところのアスタリスク 2 番で、故障発生時点で検知が可能って書いてあるんですけれども、それはこの故障発生時点で検知が可能っていう
2:25:16	ワードは二体目、もうだめになった。
2:25:21	たときに初めてわかるので、故障が発生した時点じゃなくて、水位が上がった時点でことですか。
2:25:34	先例が該当お願いできますでしょうか。
2:25:43	東北電力オオエです。今の御質問に関してですね検知につきましては、デフH Oの不良盤のほうで来その一括契約警報を発報ってこれで検知するんですけれども、
2:25:59	現場盤のほうで相殺なコスト増隊ですね、守ってポンプの異常なのかとかですね、そういったところを発報しまして、その内容を把握できるように設計を進めているものでございます。
2:26:14	以上です。
2:26:45	すいません。先ほど大井課長、先ほど 3 こちら離してたのは 2 台の運用としての今後の運転 1 台起動して次反対が起動すると、そういった運転の場合は今の補足制をとったんですけれども、そちらについてもその資料のほうに加えていただきたいというようなコメントでしたので、
2:27:03	所拝聴しております。以上です。
2:27:08	ホクレン力を入れて、了解いたしました。
2:27:12	。
2:27:13	規制庁の小野です。今の故障の話も含めて少し間のこのポンプ 2 のどういうふうなものなのかっていうのを記載していただくとわかりやすくなるかと思えますのでお願いします。
2:27:30	ダテです了解しました。先ほどその検知管がすぐ可能というところを少し掘り下げて、一括警報からその現場に飛んでといった流れも含めてちょっとわかるような形で記載します。以上です。
2:27:42	規制庁のんです。よろしく申し上げます。続いてなんですけれども、コメント。
2:27:49	回答整理表の 2 ページ目の 16 番。
2:27:54	なんですけれども、
2:27:56	この地下水位低下設備の効果が及ぶ範囲っていう話で、これを 6 ページのところのアスタリスク 2 番ですかね、に記載していただいていると思うんですけれども、端的に言うと、これは、
2:28:09	設計。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:11	経営している解析のモデルの解析範囲内のものは、地下水位低下設備の効果が及ぶ範囲っていうふうに理解していいのかなと思っていて 30 ページで言う。
2:28:27	この右側の設計用モデルの回数、
2:28:32	この解析領域っていうところのことを指してるっていうふうに理解していいのでしょうか。
2:28:40	はい。とく電力のダテです。それは出資いいですね今回の資料のほう整理したということでございます。
2:28:50	うん。
2:28:53	規制庁のDES承知いたしました。わかりました。
2:28:57	続いてなんですけれども、これちょっと、
2:29:05	規制庁杉原ですけれども、6 ページのところですね自然水の定義がちょっと書いてあるんですけれども、
2:29:12	これは
2:29:14	地下水位低下設備等の人為的な措置の影響が含まれない地下水位を指すっていうふうにあるんですけれども、
2:29:22	これは
2:29:24	後であろう。
2:29:27	どんどん使っても観測水位一覧表のところに⑤ページがあって、それから 16 ページのほうですね再現期間再現
2:29:40	解析期間と地下水流動オーバーの状態というふうなグラフが、あのグラフとかしゅうがありますので、
2:29:48	いずれの時期、見ててもですね、2006 年以降ということなんですけども。
2:29:57	この時期っていうのはですね、現実にもう建家周りの市、なんていうんすかね排水ドレン
2:30:05	というのは、稼働してる。
2:30:07	団塊いいだと思っんですけれども、
2:30:11	その影響はどういうふうに見られて、それは
2:30:17	人為的な措置の影響ではない。
2:30:21	はい。特にこのダテでございます。16 ページ目のこの表でございますけども。はい、窃盗観測水位が並んでいる一番上の欄に上の欄に過温の場がございます、地下水位低下設備の稼働状況という情報でこちらでその既設の地下水位低下設備をずっと可撓性と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:40	というようなことをございますので、実際実績もそうですので、そういう意味ではじゅ貨物貨物 4.8 円盤での水位というのは、この影響が含まれてる水というふうに考えてます。
2:30:53	そうですか。はい。そうすると自然水位っていうのはですね、そこはその影響は
2:31:03	こみの復水っていうことになってます。
2:31:06	とですね違う調停 8 年版はあくまでどれが常に前列常に水を引っ張ってる状態での観測水位ですので、その観測水位自体は、資料については違うものだというふうに理解を整理してます。
2:31:21	そうすると、具体的にですね、
2:31:25	例えば 5 ページの表なんかに出てくる水位っていうのは、これはもう自然水じゃないと。
2:31:33	はい。そのように考えますただトータル 15 ページ目の平面図でいきますと、はい。例えばその観測セイジウ読みたいんですねその高台エリア。
2:31:44	ですね、そのドレンの影響が及ばないエリアで、うん。ここで観測されてる数字というのはトレイの寄与があってもらってもこのせいだろうというふうに思いますので、そこはその自然推移というふうにみなすいいのかなと。
2:32:00	そういった整理です。
2:32:02	ちょっとわかりやすく言うそうですね、14.8m 場合よりも上のほうにある水位っていうのが、これは自然水なんだと、そういうことですか。
2:32:17	えっとですね、今後いろんな設備付加していったってですね。はい、地下水位低下設備の能力がまず大きくなれば影響は表として受けるかもしれないけれども現状はでは、
2:32:31	それを高いところ 8 自然水だっていうふうに一応みなしてるよという、そういうことですか。
2:32:39	そうですね。その観測データ自体に対してそのこれはここまでが影響が含まれて含まれてないっていうのは線引はしておりませんで、静的には急にその勾配が急減するとですとか、mol 努力がなくなるとか状況が変わりますので、そういう意味では
2:32:59	斜面上の観測請求とか 11 まで行くと、さすがにそれは地下水低下設備の影響中なかろうというふうに想像するんですが、そこはその再現解析上はあくまでそのドレーンをモデル化した上で
2:33:15	広域のモデルを用いてますので、そういう意味ではここに出ている観測数はすべて検証に使えるというふうに考えています。
2:33:25	ここの伝わってますでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:27	いや、すいません私の言い方が悪いんだけど。
2:33:31	要するに自然水位っていうのはですね、コンセプトの話なのか、それとも自然推移として認識している観測水位というのがどこかあるんですか。
2:33:46	はいダメです。そういう意味では-60円盤観測政治業務はこれは及ばない地下水位低下設備の影響が及ばない修繕についてはというふうに認識しております。
2:34:02	いろいろ上の方は違うよというやつは、
2:34:07	また、資機材けど。
2:35:40	基本的にはもう全部自然すいてきて、設計上はすべてネットマークスで地表面で設計しますって今回変えました排気塔のところは微妙ですね、政党提供受けてないのかというと、必ずしもすべてねっという風なんかに申し上げました。
2:35:58	止めてないですから、測れないって、だから配送ところはもう招聘今日わからないので、これも満水にします地表面深さの問題ではイトウの部分は満水しますというふうに整理し、
2:36:16	杉原ですあの後でちょっとモデルのところでもた関連してお聞きするかもしれませんが、とりあえず今のをほぼお答えは、わかりました。はい。
2:36:32	規制庁のS続いてなんですけれども、40ページになります。
2:36:39	このレイワ3号機の海水ポンプ室のところだけ、アスタリスク2がついていないんですけれども、ここの防潮平気あるんですけれども、これは何か理由があるんですか。
2:37:01	それで本店が補足ののでしょうか。はい。
2:37:06	もちろん今いたします。詳細、
2:37:11	はい、東北電力の松永でセット
2:37:15	第3号機海水ポンプ室のアスタリスク2番についてですけれども、おっしゃる通りはい対津波構造物関連ではあるんですけれども、屋外重要土木構造物として評価してる部分。
2:37:32	がございますのでこちらについては、
2:37:35	この表記上アスタリスク2番は扱わない図面をこの後ろのほうにつけておりますので、作業改正ポイントについて、についてはアスタリスク2番をつけてない。
2:37:47	ということになります。
2:37:49	回答は以上です。
2:37:51	。
2:38:03	規制庁のです。
2:38:05	ちょっとよくわからなくなっちゃったんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:11	屋外重要土木構造物のほうの第 1003 号機海水ポンプ室でここに記載しているということですよ。
2:38:22	それ以外の*にはついてるものは全部津波の観点で書いていて、この 3 号機のやつだけは屋外重要土木構造物として書いてるっていいのでしょうか。
2:38:39	そうすると例えば左側に前のページだと。
2:38:45	津波の施設が書いてあるんですけども、
2:38:52	そうすると、
2:38:55	第 3 号機補機冷却海水系放水ピットとか用水道のところとかにも何か津波の施設を変えたほうがいいんじゃないかなと思うんですけども、
2:39:14	D
2:39:15	規制庁のエサキですが、
2:39:17	わけがわからないんですけど。
2:39:19	そもそもが、
2:39:22	いわゆる耐津波設計で水が流入するとか、取水性ができるかとかいう話であれば、地殻変動の大きいものっていうのは加味しないと安全側にならないですからそうなるんですけど。
2:39:36	ほぼここでやろうとした耐震設計ですよ。
2:39:40	事象と解析をする上で、例えば、考え方に言うと、では、有効力解析もそうですけど、地下水どこに島使ってるんだけど。
2:39:50	ね地球規模で全部下がっちゃってるのに、そんなもんだから関係あるんですかっていう話あるんだけど、解放基盤面の乱れ変えるんですかってのは縛る必要が何かちょっとよくわからないんだけど、ここで言っている、例えば 1 メーター。
2:40:04	下げるっていうふうイトウは何ですかって話でね。
2:40:10	うん。
2:40:12	東北電力の松永で正当。
2:40:17	こちらのアスタリスク 2 番の趣旨としましては、491 ページ以降の図面の中に
2:40:27	標高が 14.8m で記載している図と、時間で 8m で記載している図が
2:40:35	今後も混在しておりましてそちらについては耐専設計管理関係の施設については -13.8m で、図面のほうを書いておりまして、その混在することにより、
2:40:50	補足としてちょっと*2 を記載しておりまして、地下水としましては
2:40:57	それぞれ 1m、人口シルバー 1m 沈降した数字を書いているということで、そのそれぞれで地表面とその地下水の標高の関係を分けているということではなく、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:41:14	だめ外注混在してることの付則としてちょっとアスタリスク 2 番を記載しているというふうに接してきた。
2:41:22	ちょっと回答になっておりますでしょうか。
2:41:26	東北電力の辨野です。あくまでマナガの言ったことをちょっと繰り返しのことなんですけども、14.8 円盤で基準にしているか、13.8 円盤に基準にしているかの差がどうしても図面上、津浪対象構造物は 13.8、つまり 1メートル沈下を考慮して安全側に
2:41:44	やりますって宣言しているの、図面がどうしても 14.8 と 13.8 に分かれているので、それガス以上この表の中では表し切れないので、アスタリスクをつけてるっていうことになってますので、ちょっとそれで私もちょっと向かい持ち帰ってきちんと整理いたしますけど、3号機の海水ポンプ室がほんとに苦渋として 14.8 の記載。
2:42:04	のままになっていかとか少しちょっと整理します。位置付けがですね 3号機のものなので、2号機とちょっと位置付けが違っている中で、3号機っていうのはどういふことか、少しもう 1 回整理させていただきたいと思ます。
2:42:18	規制庁の植竹ですけどもその標高合わせるっていうことであるわかるんですけど。
2:42:24	じゃあ送付均衡することで地盤沈下して岩着のものですからそれで均衡してないのかってような手を液状化ではないから、岩盤有無も含めて沈降してるんでしょけど、その辺の誤解も受けたりしませんかって話があるって話ね。
2:42:42	だから、いけないということではないんだけど。
2:42:45	国内価格でもう少しわかりやすく、
2:42:48	うん。
2:42:50	ね。
2:42:58	多分ですね計算処理たときに出てくるのは、共同計算とか、そういう元は津波の配慮というところでその標高というものが含まれてくるんですけど、そういったものはそういうところの局のところそういう説明すればよくて、全体を変えてしまうと。
2:43:17	全体のながらでして、おかしなことになりませんか話なんですけど。
2:43:21	うん。
2:43:29	私が私は規制庁私が言いたいのは、そう、一つの施設の総設計の整合性で全部をしていく。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:38	全体の流れの中で一つの耐震性だとかいろんな話をしたときに、標高要目表もかえるんですかって話ないですよ、或いはないですよ。だからそういうことが考えと何か何かおかしいことになってませんかってのは、絶対こう
2:43:54	耐震性とか等地下水の設定の中で
2:43:58	もう必要条件になってるかって話なんだけど。
2:44:02	だから、使うべきところでしっかりとそれを説明した上で、そういった保守的な系配慮すればいいんじゃないかなと思うんだけど。
2:44:15	規制庁出たわけですけどもその1メートル下げるっていうことが、そう、耐震設計とかそういった部分で出てくるんですかっていうと、
2:44:24	ないですよ。
2:44:27	だから、いわゆる取水性の問題。
2:44:31	そういった話だけですよ。
2:44:36	あとは上昇側のほう、これはちょっと
2:44:41	沈降だから下がると基本的には水が入りやすくなるから取水する関係ないからゼロとして考える話なんで。そういった話だけだと思うんですけど、上昇側として低くなるんで入力進めたことに対して防潮というはある程度、
2:44:54	売り思ったことを考えなきゃいけないとそういう話になると思うんですけども。
2:44:59	ハシモトさんからオザキさん。要は耐震計算書上の位置付けとして13.8っていう数字が意味あるのかっていうことを今エサキさんは、繰り返し御確認いただいでいて、津浪上は1m下げて安全側に評価津波水位としては1m下げて、
2:45:18	安全として評価してますっていうような対応は理解いただいでるんですけど、実際、耐震上でこの1mの差っていうのは、設計上聞いてくるようなことでしてますか、視点など私は、
2:45:30	記憶していかがでしょうか。
2:45:39	はい、東北電力の橋本です。
2:45:44	おっしゃる通りですね、耐震については呼び方を14.8としてるか13.8にしているか、その時に近い水を朔望平均満潮位で設定しているところは+1.43としているか、プラス2.43としてるかの違いであって、
2:46:03	計算の中身としては違いありません。対津波構造物については、強度計算と耐震計算が二つありますのでその双方で呼び方が違うとちょっと混乱を招くというふうにならば我々のほうでは考えて、
2:46:20	それぞれの呼び方を合わせているといった形になります。以上です。
2:46:30	これからの状況を私のほうも同じ認識だということが確認取れてちょっと持ち帰って検討をしたいんですけども、ここに出てくる地下水と後段の図書との関

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	係がわかりやすくするためについていうことで今いっぱい火災リスク 2 番がついてると思うんですけども。
2:46:48	この地下水の設定の中で 13.8 にするっていうのが果たして真実かというふうに評価がちょっとおかしいんですけど、統一性という面ではわかりにくいんじゃないかで、実際計算書を出すときにはその計算書各計算書でこの場合はそれに 1 メートル沈下を考慮して 13.8 なり地下水も、
2:47:07	それに下げた値にしていますっていうような説明のほうがわかりやすいんじゃないかという御指摘をいただいているのでちょっと 1 回持ち帰って、その辺の話し方次回のヒアリング等までに、その該当するということでいいでしょうか。
2:47:29	東北電力の橋本です。
2:47:33	おっしゃる通りで整理をちょっと検討させていただきたいと思います。
2:48:24	ペンノでございますけれども
2:48:29	多分要目表もう今、1 メートル沈下を考慮したような値になってると思うのでちょっとその辺も含めて、合わせて確認をしていくようにしたいと思います。それでよろしいでしょうか本店が、
2:48:50	はい、東北電力ハシモトですはい合わせて整理させていただきます。
2:49:07	規制庁のです。続いてなんですけれども、三番のコメントの回答で今回、
2:49:15	54 ページとか、あの防潮ていうの。
2:49:20	地下水設計を地下水の考え方を記載していただいているんですけどもちょっともうちょっと詳しく書いていただきたいなと思っているのか。
2:49:30	例えば岩盤 54 ページの上の岩盤部は岩盤地表面に設定してますか。その次の一般部のところは朔望平均満潮位で 1 本で成否てますので、
2:49:45	次の方のページと 56 ページになると、森胴部のほうはこう山側は地表面とするっていうところが
2:49:54	全部文書が保守的にこうしますっていうのを書いてあってその根拠といいますか、なぜこう設定したのかっていったところのその考え方っていうのを何かもう少しその地域周辺の
2:50:09	地盤状況とかそういった影響も踏まえて、
2:50:13	こういうふうにしてるんですけどいうところを各施設ごとにもう少しわかりやすく丁寧に記載していただけないでしょうか。
2:50:23	はい、東北電力の橋本です。はいすいません。
2:50:30	浸透流解析実施前なのでいうちょっと頭が強い多過ぎてですね断面ごとの違いという書き方が少し欠けていたのでそういうところも評価して少しちょっとその図面への補足ということにとらわれず、内容がわかるように少し記載を充実というか修正したいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:50	以上です。はい、よろしくお願いします。続いての 56 ページのところも、その下のところがあるんですけども、これはあれですかね、記載だけなのかもしれないんですけども、黄色のところに沿ってですね設計地下水の汚染が本当は入る。
2:51:07	ですから聞いちゃってるような気がするんですけども、
2:51:26	はい、東北電力の橋本ですすみません作図長というか、ちょっと
2:51:32	図面の関係でちょっと消えてしまっているかもしれませんので適正化いたしますすいませんでした。以上です。
2:51:39	はい、規制庁のです。よろしくお願いします。私からの質問で最後なんですけれども、ちょっとまず考え方蓄積を地下水の考え方を教えていただきたいくて、
2:51:53	浸透流解析による地下水は三次元でこうもモデル化したものがありますとで設計を地下水っていうのは、施設ごとに決まっているもので、それは三次元で全敷地全体として、
2:52:08	ものはないのかなと思っていて、それでちょっと層というふうに感じたのか。
2:52:17	あれですかね。
2:52:18	5049 ページとかの一般部のところは、設計の防潮。設計用地下水は高 1 本線を引きますっていうふうに書いてあって、
2:52:29	49 ページのところ、一般部の海水ポンプ室のところだとかこう、海水ポンプ室に多分着目していると思うんで、あの防潮での設計を地下水がさっきの四つやつより下がってるっていうのは、
2:52:45	これはあくまでも積極地下水は施設に着目しているので、同じ防潮でも変化するっていうことでもいいんですよ。
2:52:59	はい、東北電力の橋本です。等もちょっと記載が足りなかったんですがあの防潮てにつきましては縦断方向に長いということも踏まえて、設置許可、設置変更許可段階のときに
2:53:15	あと、地下水の浸透流解析が確定していなかったこともあって高めに設定した経緯がございましたので、そのあたり傍聴低のほうにむしろ
2:53:25	記載を充実するようにさせていただきたいと思います。以上です。
2:53:32	規制庁のです。承知いたしましたよろしくお願いしますでこないだの屋外重要土木構造物の耐震安全性評価で隣接構造物とかの影響を考慮するときの地下水っていうのはどういうどれを使うんですか。
2:53:48	例えば仮にこの海水ポンプ室 49 ページのやつでやるとこの海水ポンプ室で決めた設計を地下水ですべての構造物の隣接してるやつも含めて、
2:54:02	地盤も含めて地下水で評価するんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:07	東北電力の橋本です。傍聴低として科医本断面の影響を検討する。解析としては傍聴低の地下水位を採用してプラス 1.43、一律での
2:54:24	検討等をしております。以上です。
2:54:30	すいませんちょっと質問の趣旨を間違えたかもしれません、ちょっとベンノでございます。要は設計条件として合わせているということを今ハンモトとは言っていますので防潮という設計するとき、その設計条件として建屋の影響があるか話し合ってみるためにはそれ地下水を下げたしまうとそれは地下水の影響もきちっと入ってきた形で、
2:54:50	何を比較しているかがきつと混在してしまうので、設計上の考慮として、その水位は守ったままにしておいて、海水ポンプ室を入れるような話をする、一方、海水ポンプ室を設計するときが地下水位低下設備の効果を期待してつというふうに構造物状を扱っていますので、それはそれに着目した。
2:55:09	水位に基づいて逆にその水位はいじらないで、もしその海水ポンプ室の水位が保守的になってんのかどうかという議論があった場合には、それを動かすときはそれはそっちを動かすようなことになってると思いますので、今橋本が言っていることを補足するとそういうことだと理解してますということでございます。
2:55:28	すみません東北電力イトウでその質問は 60 土木構造物で隣接構造物をモデル化するときの地下水をということだと思わんですけれども、と海水ポンプ室の中を断面に記載されている
2:55:43	防潮では回収ポンプ槽隣接構造物としても考慮するかはするんですけども、地下水を苦渋をあの海水ポンプ室を対象として設定してるこのAと、図 49 ページに記載の通りの地下水で当モデル化することになります。以上です。
2:56:03	規制庁のエサキですが、この 49 ページの図の 3-3-30 で、
2:56:08	これで
2:56:10	その海水ポンプ室。
2:56:12	あと、確認のためかもしれませんけど、防潮での検討するということだと思わんですけど。
2:56:18	そうしたときにこうタービン建屋の図の左側の地下水はどうされる建屋と地下水位は吸い上げてるから。
2:56:27	一次元でモデル化してるだけだから、
2:56:30	考慮しない。
2:56:32	それに合わせて、左の部分は、ロシアはですね、地下水位は書いてないじゃない。
2:56:38	向こう地下水はないものとする損益が
2:56:42	どういうふうに考えてるかは使わないですけどね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:46	すいません東北電カイトウです左側これ原子炉建屋に載ってまして、ここについては回収ポンプ数の評価のときにも減少建屋モデル化しますので地下水を管板状になります。以上です。
2:57:07	規制庁の江崎です。文化岩盤上っていいんですけれどもそれはあれですか浸透流解析
2:57:15	求まった地下水を設定する形になるんです。
2:57:19	この辺がちょっと
2:57:21	ということで、考え方とかですね。
2:57:25	多分、隣接のやつで、そういうのもし、
2:57:28	見てわかるようであれば、
2:57:30	次のページも復水タンクのところも、
2:57:34	あれですね、これも検証建屋があって、左側のほうは、こっちは書いてあるふう
2:57:41	こちら書いてあるんですね、もしかして 49 ページは、
2:57:46	消えてるのか薄くて見えないのかわからないですけど、その辺は明確にしていただければ。
2:58:09	すいません東北電カイトウで正当。
2:58:13	図が消えているので、確認して示しますけれども、基本的に
2:58:18	浸透流解析で求まった水位をそのままモデル化する予定でおります。以上です。
2:58:28	規制庁の杉原でちょっと関連してですねちょっとお尋ねしたいんですけど。
2:58:34	68 ページですね、これ不動産の 3-41 っていうところで、
2:58:41	これはアクセスルートの評価において参照するって書いてあるんですけども。
2:58:46	これ
2:58:48	建屋の下にもコンターがありますよねこれ。
2:58:51	これはどういうふうに今解釈すればよろしいんですかね今し方は今原子炉建屋の下については底盤部に地下水っていうのが解析上得られてるっていうふうなふうに聞こえるような
2:59:07	お話いただいたんですけど。
2:59:10	お答えいただけますか。
2:59:15	特にこのデータでございます 68 ページ目の図でございますけれどもこちら何を表示しているという、
2:59:22	マークする等の評価用にですね先ほどその 4 通りの探傷をお示して御説明しましたけれども、ちょっとゴルフの形で、その地下水の分布を引いてますただしこれは勝井という形が機能する状態ではなくって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:40	これからですね、それから
2:59:42	2ヶ月の方のほったらかしですね図2ヶ月通60日後の薄い分布として表示しておりますのでこのような表示が得られているということでございます。
2:59:55	以上です。
3:00:00	ありましたありがとうございます。
3:00:08	規制庁フジワラですと私のほうから、
3:00:12	ちょっと先ほどの中野地盤耐震化を進行による標高について、ちょっともう少し私がちょっと設置許可にやってなくてわかんないんですけども、PTのはこれでどこを基準にした。
3:00:26	当高さのかっていうのは何かどっかの図書に書いてあるんのかをちょっと教えていただけますか。
3:00:39	東京電力の野崎でございますが、津波評価におきましても考慮しておりまして、この資料には本則売差市場にはローン申し訳ございません書いてございませんが津波の資料に書いてございますので、こういったよと。
3:00:56	いうそれにつきましては、こちらのほうに、
3:01:01	必要な記載させていただきたいというふうに思っております。
3:01:06	それとも何をとってますようお願いですね、構造を進める上で設定しております。回線の標高参考参照しました数字でございます。以上でございます。
3:01:28	設置許可とかでも踏まえ記載してございますので、こちらの資料のほうにもその定義というか、前提として、記載するようにいたします。
3:01:46	規制庁フジワラですが、ちょっと私の理解がオオエなくて質問続け等ありましたけど、今の話だとOPっていうのは、この女川の敷地のどっかのポイントかな基準の高かったというよりもPPを基準にしてそっからの差分によるOPということですね。
3:02:07	はい。
3:02:08	わかりました異常な入金したかという今後地盤が隆起し続けたときにも、要はTPPを基準にしているかわからないとそういうことですね。
3:02:17	じゃあ、いよいよ目標の数字としてそれがPN使うときに、
3:02:22	あまり今、
3:02:24	そうですね。
3:02:25	こんなんで、TPP使わないんですか。
3:02:40	東京のオザキでございますが、事故選定して御説明したいと思っておりますけども、既工認でないからOPとつっても使ってますが、7ページという略称でPdでございます。基本の参照して設計してございますので引き続き使っております。その定点の関連性は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:57	ございますので、そちらの整備をしたものがございますのでそれもお示したいと思います。以上です。
3:03:04	規制庁布田です。また外す時間損するよみては、また何かわからない二つ聞きますと、引き続きまして資料③-6 ページをちょっと開いてください。
3:03:17	6 ページの中の内ですね
3:03:22	米印 1 の上にあるなお書きの
3:03:24	ところの内容ですね。
3:03:26	なお地下水を高く設定することが保守的t長い可能性がある場合については、必要に応じて、耐震安全性の影響を確認するというふうに書かれている。
3:03:41	この必要に応じてっていうのがちょっと今回のこの地下水の設定方針という中で、こういう書き方される高まり方針述べてるようには見えないので、これにつきましては、従前からミウラ或いは過ぎ幅
3:03:59	私が参っておる三つ査定するとありますよね、防潮低濃度で海側と山側の水位差、或いは、排気塔連絡ダクトの辺水圧まあそれは関係。
3:04:15	ハウスイにはそういった施設をきちんと網羅す。
3:04:19	ここの場所で網羅した上で、ちょっと請願に対する方針をきちっと述べると。
3:04:24	そういう中のことを今後お願いしたいと思っております。必要に応じてじゃなくて、本資料できちっと説明をいただきたいと思っております、これについては別途資料と
3:04:39	お願いしたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
3:04:43	トピックのダテでございます。それと今皆さんおっしゃるようなボートで排気ダクト、あと、例えば基礎版っていうところを具体的にイメージした上で記載したんですが、
3:04:59	そのうちという文言、
3:05:01	これちょっと今はねたメンバーの評価をまず戸籍以前、
3:05:07	イメージを持てとその記載の仕方ですね
3:05:10	ちょっと修正を考えたいと思いますのでここの地下水の資料ではあくまでも答申として、こういう場合いいについて評価をお釜影響確認するという保証述べてここのその評価についてはここの耐震検層なりの中で、
3:05:27	説明席というようなことも考えておりますけども、そのような整理でよろしいでしょうか。
3:05:34	規制庁フジワラです基本的に申請している設備というのはもう明らかであって、しかもそれに対する地下水のコンター図というのは明らかであって、それ。
3:05:46	閉であれば、特段別に個別の種計算書類の物とも今回のこの設定の中で述べてもいような気がした採用は後回しにして後でひっくり返るのかと思いま

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	す。詰めておくのか、どちらかがちょっと規制庁の江崎ですけど整理さしてもらうと。
3:06:06	基本的にはこういう地下水の災害が起こり得るところはどこなのかというのを、
3:06:12	す。
3:06:13	明確にした上で、すべて評価対象になる施設はどれなのかということを出てそう次にそれらがどのような影響を實際外的な要因、
3:06:25	機能維持に期待してですね。
3:06:28	関係するのか、述べてそれに対するアプローチはどうしたらいいのかっていうことをある程度整理してください。
3:06:35	そういうことですね。
3:06:42	コメントⅡCは了解いたします記載についてちょっと検討したいと思います。
3:06:52	はい。規制庁浮上ですと引き続きまして、③-33 ページを
3:06:58	開いていただきまして、
3:07:01	今回 34 ページの隣にある 30、33 割ある 34 ページですか。建家の地下水というのは、追加いただいている。これちょっとわかりやすくなったかと思ってますので、
3:07:15	ちょっと私が考えたのが 33 ページにおける地下水容圧力、建家の技術力で、例えば 8.4 とか、これっていうのは、34 ページにあるような営推の曲線から、
3:07:30	出されているのかどうか、どうやって恒設出したのかってのはわからなかったんすをちょっと御説明ください。
3:07:40	はい、東北電力のマスナガでセット
3:07:44	33 ページに記載している建家内を圧力につきましては別途三次元の格子モデルの建屋底面の他所の圧力やつ。
3:07:55	こちらを抽出しましてこちらの面で平均化した。
3:07:58	対応をこちらに記載しておりますので、34 ページに記載している、ちょっと断面から直接求めるものではございません。
3:08:07	回答は以上になります。
3:08:12	規制庁フジワラですそれでなんかどっか資料上書いて、
3:08:16	もしあればいいんですけども仕掛けなかったらどっか記載いただけたらと思うんですが、いかがでしょうか。
3:08:23	東北電力の松永です。はい、承知いたしました。
3:08:28	規制庁フジワラですと、引き続きまして、
3:08:38	特にこのダテ今話だと 32 ページ目の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:44	これがですねその面的な分布を示しておりますので、こちらのですねそのある建屋底面に相当する、
3:08:52	表層のあの辺りを抜き出して平均化することですので、そういったプロセスがわかるようにまず、議案の記載することによって承知いたしました。
3:09:00	以上です。
3:09:04	規制庁フジワラですとこちら記載だけなんすけ 35 ページGで、
3:09:10	この制御建屋の上のほうにある図制御建屋の地下水分布なんですけど、赤い線が地下水ですよっていうふうには凡例が欠けてそうなんだと思って見たら、制御建屋の斜め下に
3:09:25	何か赤い線があって、これ一瞬地下水の方ちょっと勘違いしそうになったんですけど、ここはおそらく断層と思うんでなんかいろいろ書いて馴れ断層面つけるだとかですね、そういったちょっと工夫いただけると。
3:09:40	思ったんですけど、いかがでしょうか。
3:09:42	はい、ダメです。承知いたしましたとのそれぞれの個々の断層の凡例が赤でも同じですので、ここはちょっと区別できるようにちょっと記載いたします。以上です。
3:10:36	はい。
3:10:38	それだったら、そもそもさいますか。
3:10:44	上載今 35 ページ目の図の 3-3-23 の
3:10:48	その 45 分ぐらいで入ってるこそおそらく断層と思われる線の上の制御建屋とタービン建屋に跨るこの赤い線について、
3:10:59	これは何なのかという話だったんですけど、何かコメントといただけますか。
3:11:09	はい。
3:11:11	ちょっと確認させていただければと思います。
3:11:16	別途回答でもよろしいでしょうか。
3:11:21	はい。今の件もあわせましてちょっと表示についてはそういう誤解がそちら様にですね、ちょっと整理します。
3:11:33	すべてすべて同じ佐野断層等色分けが今一緒になっちゃったので、そこと
3:11:40	表示。
3:11:41	修正します。
3:11:46	規制庁フジワラです。③の 62 ページをちょっとお開きください。
3:11:52	これ前回私が防潮液位を横断するような図がちょっとあればということで、追加いただいた図になってまして、62 ページの上の図を見たときにですね、ちょっと
3:12:06	気になるというか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:08	放水立坑の左から2 防潮液が立ってまして、防潮障壁と岩盤のマイヤー
3:12:16	が分筆岩盤の上に改良地盤が当どんどの過程で、
3:12:20	改良地盤は結構な角度を持ってイトウNo.2 孔着底してると。
3:12:27	いうのは無駄がありますので、これ見たときに何か私はちょっと一つちょっと気になったのが、改良対応等、
3:12:38	岩盤境界で何かすべらないかっちゃうのがちょっと何となく疑問に思ってそれで実際三条ではもうまあ評価は多分、代表性をもってここで評価をコストだと思うんで、この辺は何か、何らかの形で三条の
3:12:55	代表性にはかからないようなものと、そういうふうな御説明ちゅうなんか今後あるのかだけちょっと教えていただきます。
3:13:12	答弁でござ域でございますが、回答いたします。そしてお待ちください。
3:13:18	。
3:13:55	東北電力の野村でございます。ご指摘の62 ページの放水立坑は機能と改良地盤につきましては、傍聴併記とオーバーラップするような形になってはなりませんけれども、
3:14:10	傍聴席をマーク1 として岩着しているという形でこの改良地盤については支持地盤ではなくて杭周辺の速報地盤という気づけになりますので産業の整理からは外れるという形で、今年の傍聴平気ですとかそういったところの
3:14:29	公認段階の審査の中でこの改良地盤の安定性という部分について御説明させていただきますと思います。以上です。
3:15:08	はい、規制庁フジワラです。イトウや今の件はわかりますし、また詳細は
3:15:15	計算断定は確認しまして、
3:15:19	ジャムコ、62 ページの下のほうの図ですか。
3:15:23	こっちはイトウ放水立坑の左っ側に防潮障壁があつてで、そこまでは傍聴席は岩盤の中に燃料を結構してますと、いうふうな形になってますので、この防潮引き
3:15:38	岩盤マネージされて頑張っているのは中3 日のみと結構直で聞いたって、結構なんか水位イメージがあつて、
3:15:45	何を禁止するかというと、防潮平均水平力価ときに、
3:15:50	懇破壊使うなんかコスト区域層が水平方向の力を入れたときに、岩盤が困難に落ちるような何かそういったふうなことになり得ないかっていうのは何となくちょっと不安に思ったんですけどその辺も
3:16:04	耐震計算のほうで
3:16:07	シミズってことですかね。
3:16:09	ちょっとその辺ちょっと教えていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:21	電力のオザキでございますが、もう一度すみませんお願いしたいんですけども、よろしくをお願いします。
3:16:28	規制庁フジワラですと防潮平気っていうのが岩盤に今整理されている。
3:16:35	ですね。
3:16:36	岩盤に根入れされた状態で、防潮併記に例えば南側から北側に向けると地震力が作用した場合、
3:16:45	要は左から右ですね。そしたらへの杭に作用する力っちゃうのが、岩盤に伝達されると。
3:16:52	そんな時にいってというのは円形また文献なんですかね、そのやつがある一定の確度を持ってこう岩盤内の高な応力を伝達するような形なんですけど、そこでスポットなんか抜けないんですかと。
3:17:08	要はコンクリートアンカーだとヘリや機能評価とかというのが多分あると思うんですけど、それに近いような評価が何か日不要なのか必要なかはちょっと今わからなかったの、そこをちょっと方針をちょっと教えていただけないかというのが趣旨ですが、
3:17:24	ちょっとうまく伝わってますでしょうか。
3:17:36	このオザキでございます。この趣旨理解いたしましたので冒頭機器の設計説明させていただくときに、今ご指摘いただきました点につきまして説明させていただければと思います。以上です。
3:18:09	少々お待ちください。
3:18:16	今の絵とこちら側でのホワイトボードを使っているいろいろちょっと確認しましたので、そう本店がお待ちください。
3:20:02	本店のほうをちょっと今確認できましたので、62 ページの下のほうのですね 3-3-35 の下のほうの
3:20:12	左側の防潮兵器のラインのところを見ていただくと、直角にこれ多分、建設時の止めの位置になるんだと思いますけど、CL級が左側ちゃんと続いているんだけど、右側戻り変わっていて、
3:20:28	ここが破壊して膨張兵器の杭に悪影響水平でも支持力ですね、それが悪影響を及ぼすのではないかというコメントでした。それに対してということでそれをじゃあ耐震計算書の説明のときに説明するというので大丈夫でしょうか、理解できましたでしょうか。
3:20:48	オザキでございますが、理解しておりましたので、耐震計算書設の増減施設内説明いたしますが、リスクの設計におきまして、国は簡略出ますのでよく分かんな力出ますので。
3:21:03	それと岩盤の強度せん断強度力だと思いますけどもそちらと比較しまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:09	安定しているということですね、お示したいと思っております。以上です。
3:21:29	ちょっと規制庁フジワラですねと引き続きましてええと。
3:21:33	参考資料のですね 1-1、ちょっと全般に関してなんですけれども、そこずに関するずっと気づきなんです、
3:21:42	参考資料 1-1g 全体のこの平面図なんです、プラント申すの向きがですね全部
3:21:51	結構バラバラになっているものが多いんですね、一方は何か、プラントの北側、左側に行ったり、或いは何か別の方向に向いたりとか、ちょっとかなり、何かミウラつつたままを回転させないといけないので、できるだけちょっとここと諸税統一いただけたらと思うんですが、いかがでしょうか。
3:22:11	はい。特にこのダテです。ここ以外も含めてちょっと雪が統一的にやっていきたいとございますのでちょっとそこは全体見てですね適正化します。以上です。
3:22:30	はい。規制庁フジワラですね、引き続きまして参考資料 1-2-2 なんですけども、これちょっと前ミウラがええと言っているいろいろと追記をいただいたものになりますので、ちょっとミウラの方からちょっとこれもちょっとこれ、説明を追加したほうがいいんじゃないかということを言われているのが、
3:22:47	設置許可の段階のときにですね、溢水のときですか、屋外タンクからの溢水対策として、構内の排水量なんか増設するっていうふうなお話があったということをして、それについても説明。
3:23:03	追加したほうがいいんじゃないかなと。
3:23:07	またちょっと別途参考 1-2-1 とかで支線排水量っていうのをちょっと行いつつあるのか全然わからないほど薄い色になってて、これもちょっと濃い色にしたいということ、あとは何かこれ設置許可から加工施設、廃止するというか、
3:23:25	ていうのかなのか、そこまで見た資料なんか若干
3:23:28	やっぱ経路が何か違ってる気がするので、そこをちょっと節機構の勝手ないいかどうかだけ確認いただきたい。その 3 点、
3:23:37	いかがでしょうか。
3:23:41	はい。特にこのダテです。3 点との説明がまずその溢水のその排水量増設の話をもっと入れたらどうですかって話はちょっと個別資料でもそのような情報を入れておりましたので、ここでえとより直接的なお話させて
3:23:56	分岐管をつけてという話を記載してますけども、そこそこ入れることで説明性が上がるかと思っておりますので、そこを入れることで考えたいと思っております。
3:24:08	もう 1 回の止水支線排水量から色はまず

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:24:13	わかるような形でもう少しこく入れますということと、あとこれは注釈で入れてる通りですねある時間断面での配置することで入れてございます。これこちら今後ですね、工事進める中で、
3:24:29	若干変わり得る可能性もあるものでございますので、ここはおっきな考え方としては北南の完成にまずしっかり回収するというようなことで、線型和、考えていくということになりますので、ここは
3:24:45	まずある時間断面での増という注記セットでちょっとあの、記載させていただきたいなと思っておりました。以上です。
3:24:53	はい。規制庁フジワラです。今の注釈の件処置はわかりました。はい。
3:25:01	規制庁のですね今のお話なんですけどフジワラのほうから話があった件なんですけれども、多分設置許可の五条一添付 29 私立だと思うんですよね、ちょっと気になったんですけれども、
3:25:16	中で、
3:25:20	香南排水量に確実に
3:25:25	水を流すために何か透水層一部エリアふやしますとか何かこう記載をしていただいていたと思っていて、その情報とかを少し入れていただけないでしょうか。
3:25:40	はい東北電力のダテです。そうさせて情報としてはそちらしております、今回その移動いろいろのその排水ドイ水源として考えたときに、直接的なものでは必ずしもないかなと考えて
3:25:59	記載は魅力とったんですけれども、改めてちょっと有効に機能するというふうに思える。考えられればそこはちょっと記載のほうを入れて入れていきたいと思えますので、よろしくお願ひします。
3:26:17	はい。
3:26:23	そうですね。EPの時も自主的設備として1ある時溢水のときにですね、議論をさせていただいて確認させていただいて、要は設計上はもう水がたまっていても、車が走れますと、だからそれは設置許可の適合性とすれば、まあ水があった状態でもちゃんと大丈夫です。
3:26:42	ただ、いつまでも水があるっていうのはあんまりよろしくない状況なので、我々として自主的にその排水設備を透水層をつくって地形なりに流れるように対処しますっていうふうにはPのときには御説明させていただいたというので、あくまで自主的対策なので、
3:26:59	ここにこうは直接的にそれを期待してしまうと、その適合性の項目になってしまうので、今ダテがもう申し上げた通り、基本的には分岐管お持ち設けて、きちんと水が流れそこは保安規程なりの適合譲渡性位置付けで、あくまで今の島先生の話ではそういう意味で直接適用ないということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:17	ちょっと記載しなかったと、そういう位置付けでした。
3:27:49	今ナグラさんともちょっとお話をさせていただいて位置付けとしてきちんと明確にして分けてですね、これはあくまで期待するというかあくまで念のためという感じ的な設備だということと、規制適合上必要じゃないというものをちょっとわかるような形で、例えばの例としてなお書きでお話いただきましたけど、
3:28:07	その辺も含めてちょっと記載を考えたいと思います。
3:28:14	規制庁フジワラですと引き続きまして、イトウ参考の3-2-2 オオエ逃避、お聞きください。
3:28:21	参考3-2-2では地下水位低下設備の施工の定着がここで示されておりまして、
3:28:33	これちょっともうちょっと説明をちょっと補強いただきたいのが、長谷工がどういうふうにやってやるから施工が成立すれば、今、こういう形でその施工が品質が確保できるかもそういう観点から、
3:28:46	説明をいただきたいのがあって、具体的にはですね、
3:28:51	放射状に入れると交換。
3:28:56	どうどのように挿入するかが掘削地点が中防普通に岩盤を掘削するような形になるんですと思うんですけど、洲本交換をどうやって挿入していくのか、1あるスパンと切ったやつをこう入れてつなぎながら、
3:29:13	入っていて何か守れるかなんかで隙間を埋めるかとか言ってよくわからないんですけど。
3:29:19	砕石ですかね。そういうふうに行の具体的なやり方をちょっと見せていただきたいと思った見せていただいて説明いただきたいと。
3:29:29	ヒューム管ですね、ヒューム管自体もこれも、例えば⑤のところでひむかも設置水平方向に埋設した状態で設置するような形で、④でも設置しているんですけど、これをどういう形で
3:29:45	入れていくのか、何かある程度ケーシングの形でやるのかそれとも
3:29:50	ホットに突っ込んでいくのかとか、その辺がちょっと説明を追記や、
3:29:56	補強していただきたいということをもう1点追記いただきたいのが、
3:30:01	④で瞬間を設置するときに接続ますと、こうつなぐ際これどういうふうに繋がるのか、増員等どうやって施工するのか。
3:30:14	この辺がちょっと今簡潔なずつつってなかなかわかりづらいので、そのあたりちょっと説明がちょっと今後いただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。
3:30:26	はい。とく電力のダテでございます。コメント趣旨理解いたしました。施行につきましてはどういう形でそのままヒューム管もそうですし、そうですね、施工の流れがわかるような形でもう少し情報を追記いたします鋼管につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:30:44	実際の試験施工の方法ともリンクしますけども、既設のピットで岩盤をこうとりながらですね、後追いでこの投入していくような形で考えておまして、その隙間に碎石を入れるようなことは考えていないと。
3:30:59	ということで、直接岩盤内に交換が置いて帰るような形になります。その辺りもわかるような形で情報を追記いたします。以上です。
3:31:11	はい。規制庁フジワラですと、じゃあその点、お願いします。引き続きイトウ 6-1-6
3:31:19	ちょっとお開きください。
3:31:24	今日の後半のヒアリングの冒頭で今後ちょっとフローはこの参考資料で示されてるものの位置付けというの整理いただくので、そこで大分改善が図られると思うんですけど、ちょっと源泉のこの資料でちょっとなかなかわかりづらかったのをちょっと今、
3:31:40	改めて申し上げまして、今後ちょっと
3:31:43	資料の適正化を 30 ご参考いただければと思うんですけども。
3:31:46	6-1-6 から始まる妥当性の考察ってということなんですけども、これに関しては前回のヒアリングでも確かちょっと一部ちょっと述べさせていただいたかと思いますが、
3:31:58	例えば 6-1-8 ページを開いたときに、観測水位T
3:32:06	ある期間、
3:32:07	観測水位と解析性比較しているのはこの表ですので、そういうの根拠なんていうのが、
3:32:15	後ろのほうの絵と 6-1-16 ページからですね。
3:32:19	この中の連続観測データの比較ということで、これ多分これらの観測水位を用いているんだと思うんですけども。
3:32:26	観測水位について期間が結構バラバラがですね、ある観測精度は 2018 年で観測性にでは 2006 年からとかで、こういったバラバラなんですけど。
3:32:43	なぜバラバラな理由を、
3:32:45	バラバラなのかでバラバラに用いたものと解析のモデルがどうリンクしてるのかがちょっとなかなか見づらいのでそこを説明いただきたいなど。
3:32:56	多分機関等、
3:32:59	この観測している時期等施設なんかこう工事をやっている時期とかの関係で多分こういうふうなわかりにくいなってるような気がしますので、その辺りをちょっと説明をきちっとしていただきたいんですが、いかがでしょうか。
3:33:17	特にこのデータでございます。今、
3:33:23	補足Mwの本文 536 ページのほうに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:33:27	何ですかね。
3:33:29	なぜこの時期のこのデータかっていうところは上の表の形でちょっと
3:33:37	整理をしてございますけども、やはり期間が観測期間が短いも本来は長いものが取れていてその監査の改変がないというのが面白かったんですが、なかなかそのまとまったデータがある人てるというのがなかったと。
3:33:56	いうところがございまして、それで今の検証に使ってるデータをこの青のハッチングをかけてる期間で補正ピックアップするということをここで述べてございます貯槽、貯槽融資性の検証用のデータというのは、
3:34:11	期間が短いものもあれば長いものあるというようなことになってございますが、回答になってございますでしょうか。
3:34:21	規制庁フジワラですね到達し側のこの6-1-16を見たときに、この本文の16ページのリンクはなかなかありそうですけどその具体的にどうリンクしているかという記載が何かあまりなかったような
3:34:37	気がします。
3:34:38	で、かつ後、
3:34:40	解析モデルについても、こういうモデルと、この期間ですっていうふうな具体的な説明っていうのがこの参考の6-1の関しては全然ちよつとないんですね、確か16ページを見ると何か上のほうに主なイベントで、いろんな工事が書いてあるんですけど。
3:34:56	じゃあこの参考6-1でどういうふうなモデルなのかっていうのがなかなか見たいのでそこ整理いただきたいと今ちよつと理解しにくいなと、それが趣旨ですが、いかがでしょうか。
3:35:09	コメントの趣旨、理解しました参考6-1回で見たときに、やはり抜けてる部分もありますので、少しちよつとわかるような形で、
3:35:18	それで詳細については参考6になったかって確認全然ストーリーなくて、そこだけ書いたんでしょ。だからによりますポンプ。
3:35:29	このスペックと整理されてね。
3:35:32	スクールちゃんと本部の中で完結させて、その詳細データのエビデンスはずつと参考6-1の通り、そういうふうにしてっていう。
3:35:43	はい、繰り返しませんけど理解いたしましたコメントはい。
3:35:49	操作器は今日の後半の冒頭で述べた映像だけ述べた冒頭述べたRBRの基本やった上で、さっきいただくもし漏れがないように先のところ私補足でちよつと言っただけですので、そこは今ベンノさんのほうが申し上げた通りだと思えます。
3:36:05	それと引き続きます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:36:09	次は、
3:36:14	規制庁杉原ですを
3:36:17	私の方からですね
3:36:21	資料 1 のですね 12 番の観測水位の一覧表についてっていうコメントさせてもらってるんですけども、
3:36:30	これ今の
3:36:35	補足の 16 ページの
3:36:38	この表の 3-3-4 というのを参照しながらですね。
3:36:44	大体お答えいただいたかなと思ってますので、当初は表 2 ですね、観測点と、それから、観測水位の観測期間。
3:36:59	が上がってただけなんですですね、それぞれがどういう解析との関係にあるかっていうのが表の 3-3-4 でわかりました。
3:37:12	それですね、
3:37:16	この表の 3-3-4 を見てですね、今のちょっとフジワラも話は出たんですけども。
3:37:23	ちょっと幾つか質問させていただきたいんですけども、
3:37:27	青い線で帯でオオエているところ。
3:37:33	期間を対象に、
3:37:35	再現解析された、そういうことですよ。
3:37:41	このときにですね、再現解析を二つの時期に分けて行われてるんですけども、
3:37:51	これはどういう理由で二つやられてるんですかと、もう一つはですね、これ、それぞれの時間が違うんですけども、そのときに、
3:38:04	モデル化の内容としてはですね、全く同じモデルで違うものは降雨のデータそれから観測した参照する観測水位、
3:38:21	が違うだけで、
3:38:23	なのででしょうか。それともモデルそのものも、
3:38:28	そういう例えば構造物が違っているとかっていうことなんだろうかなってちょっとお答えいただけますか。
3:38:35	はい。国連のダテでございます。今回の検証期間を二つ設けてますのはそれぞれの検証期間の中で観測。
3:38:45	データが得られている
3:38:47	まず範囲がですねまず偏りがあるかなと思っておりまして
3:38:53	例えばですね前半のその期間 1 という部分に限って言いますと完成高 2 と 8 から 11 ということで色的な若干南側に寄っているようなところがあります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:39:05	その後の後半のですねとか機関のほうでは観測セイジウ 4 ですか、お客様戻したいのエリアも含めてそのデータがとれているということがわかりましたので。
3:39:20	これどちらも検証すべきだろうというふうに考えたということでございます。あとはそう期間中ですね、大規模な改変例えば戻せば整理するですとか大規模なちゅう構造物を設立するとか、そういったイベントの特に何かと思うんですから、
3:39:36	このモデル上は同じいいモデルを用いて評価を行っております。以上です。わかりました。例えばですねこれ今所で 1 から 14 番の観測性についての比較はですねこの二つの時期でやられてるんですけども、
3:39:54	それ以外ですね、例えば観測生産盤ですとか 4 運営っていうと、4 番かな。
3:40:05	そういったやつは例えば 2020 年ごろのデータで確認は可能だと思んですけども、この時期はあれですか。やっぱり
3:40:17	いろいろ安全対策等やって地下水のを解析モデル自身が違ってくるっていうことで、ここはそういうモデル作ってないから、解析しなかったってそういうふうに考えてよろしいんですけどね。
3:40:36	東北電力の辨野でございます。表の 3-3-4 にもちょっと機関として主なイベントという欄をちょっとご覧いただいたことをわかりやすいんですけども、響いもう工事がこの 2015 年の膨張て嵩上げ工事を契機に、そのいわゆる時刻歴でも定常化できないような、つまりモデル化として、
3:40:55	ある日で暫定断面で切ることができるんですけども、いわば毎日少しずつ変わっているんで、観測水位そのものがへのモデル条件が日々変わっちゃっているんで、この期間をちょっとモデル化するのはできないとかじゃなくて、単純にも観測水位が日々そういう影響を受けちゃっているんで、対象期間としていないと、そういう考えでございます。
3:41:15	はい。
3:41:16	ちょっとついでにですねを申し上げますと、
3:41:21	ずれですね、...になっているところ。
3:41:27	がありますよね破線になっているところ。
3:41:30	これは要するにいろいろ設備が
3:41:35	できできつつあるっていうかできたときということであればですね、この時点で例えば
3:41:45	対象としてやればですね、これは予測解析になるっていうふうに思うんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:41:54	事業者のやっている予測解析っていうのは、この時点を対象としたものではないですね。
3:42:02	モデルの境界条件等が違ってることから。
3:42:06	戻りも違うということですね。
3:42:09	特にこのデータでございます。やっぱり今回の予測解析として実施しているモデルは再稼働時点での設備状態が地形改変状況を再現したモデルでやっておりますので、防潮低の車の
3:42:25	地盤改良も完成していて、新設どれも機能している状態。
3:42:29	でございます。ですので、
3:42:33	そのあとのそのあと初めてそのへと観測の成果が出てくるというふうに認識性ありますので、そういう意味では設備側の再稼働もですね、一定期間はSE観測を行うことで予測検証の精度が上がるだろうと。
3:42:53	いうふうに考えております。
3:42:55	具体的な結果を31ページ目のほうに絵と今後のその観測計画も含めて、記載してございますけども、この中に先ほど述べました14孔以外に青字で書いてる15から18ということで、傍聴の追加。
3:43:13	対策の工事の影響を受ける範囲ここはあの工事はなかなか検証で使えないんですが、そのまま使えるだろうということで検証データをとるというふうに考えておりますし、今図ってるデータについても、当然検証方法によって有効なデータというふうに考えてますので、
3:43:31	観測は行うというふうに考えております。
3:43:34	以上です。
3:43:38	ということはですね全部が完成した。
3:43:44	暁に観測される観測水位とですね。
3:43:49	解析値を比べるっていう作業をこれからすると。
3:43:54	それはしますとすることですね。はい。その時にはですね。
3:44:00	解析モデルそのものはですねどうなるんですが今の再現解析の領域のモデルを使うという
3:44:09	そういうふうに考えるんですかね。はい、えっとですね、データでございます再現解析自体はある期間の再現ですので、既設の地下水位低下設備しか入ってませんし、5. のしかも、そのもうツーツーな状態でまず再現をしますと、その上で、
3:44:27	予測解析は将来的な設備状態を模擬してモデル化しますので、その時点で取れる解析水位というのはmol予測解析モデルに合致してる状態というふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:44:41	すみません、ちょっと質問の仕方が悪かったですけれども、今あるのは設計水位設定のモデルがمایشیモデルとすればですね、再現解析に使ってるのは要するに山が
3:44:58	いわゆる水理境界っていいですか、峰をもうまでモデル化した二つありますよね。
3:45:04	将来的にここで行われるですね
3:45:11	予測解析
3:45:13	ていうのは、
3:45:16	どちらのほうを使われるんですか。
3:45:19	もちろん中のいろんな設備が違うというのは理解した上でですけども、解析で検証する。
3:45:26	この中のモデルを変えて、これとこれを成立させていただきたい。
3:45:31	それで、
3:45:35	安全が
3:45:43	東北電力のダテです。それぞれ手書すね十分理解して申し訳ありません。
3:45:51	今の予測解析モデルの小さなモデルのほうで設定した設計を地下水、これが
3:45:59	実際に安全対策工事が終わった後の観測水位に対しても、自分高いところにあるということを将来的に確認しようということで、この小さいモデルでの検証を行うということを申し上げました。
3:46:14	はい、じゃあ、あれですか将来的にこの予測
3:46:19	下位予測をするときは小さいモデルでやられる。
3:46:24	ですからその通りでございます。
3:46:26	ふうん。
3:46:33	それはあれですかね設計のを観測する設計地下水の設計値を出すときのモデルと同じモデルを使うという、そういう
3:46:46	はい。毎月でございますが、あくまでその再現性をまず確認するという行為は大きなモデルでやった上で、その上で息子小さなモデルで境界条件をさらにこう保守的に振ることで、設計汚水としては高目に出すと、そういう考え方でございますので、
3:47:04	そこで設定さその高めの小さなモデル設定した高めの水位というのがそれ的に家族性が超えて越えてこないということを確認しようと思っております。
3:47:18	うん。
3:47:19	それは多分超えないわね。そのハード強化条件だったらね。
3:47:28	東北電力ベンノです。今杉原さんがおっしゃっていただいた通りかなり保守的なモデルになっているので、超えないただこれはこれまでも議論が先ほどフジ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ワラさんからもご指摘いただいて、具体的に低い場合の影響があるのかないのかということ具体的なその構造物の設計をたとえにして、
3:47:47	具体例をちゃんと書いてそういうときには、場合によってはっていうのをやめて、こういう場合には営業確認しますということをやりますと、一方でそれ以外は逆に言えば、高いほうが不利だという条件になりますので、我々としては高めに設定することによって、
3:48:03	影響がない設計上の問題がないことを確認することが一義的に大事なことだと思うので、今回のその右側のモデルを使うことによって我々が使った水位を低くなってれば、実際がですね、設計するとしては駄目であるから問題がないんじゃないかということで例えば説明させていただいたという趣旨でございます。
3:48:22	わかりました。ちょっとなんか
3:48:28	了解いたしました。はい。ただ岩種なんか出てくるようであればまた追加で質問させていただきます。
3:48:36	それからですね、
3:48:40	うーん。
3:48:43	私のほうからはですね7ページですね。
3:48:47	フロー。
3:48:48	に関してなんですけれども、
3:48:52	うーん。
3:48:55	このフローをつけていただいて非常によくわかりました。これは非常にいいことだと思うんですけれども、
3:49:02	ですね。
3:49:05	上の二つの
3:49:10	内容ですね。
3:49:12	要はいろいろなことが妥当だと。
3:49:17	いうことをですねこの結果で、
3:49:21	判断するというふうな位置付けになると思うんですけれども、
3:49:26	一つ付け加えといていただきたいのはですね、この再現解析による戻り妥当性の確認のところですね、判断基準をですね。
3:49:38	つけていただけないかということですね、通常ですとですねこういうフローやったときにですね、こういう判断基準OKだったら、その下いきます。
3:49:49	そうでなければフィードバックするってということですね。
3:49:53	そういう覆うループがあると思うんですけれども、
3:49:57	それをぜひつけていただけないかなってうかがいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:50:05	特に陸のダテでございます。恐れた趣旨をですね、この 13 ページ目以降でその個々のその妥当性の確認に対してこういうプロセスでこういうことを承認してやっていくということをちょっと言葉で、
3:50:20	書いておったんですけども判断基準という形で改めて再整理して参りたいと思います。
3:50:28	全体がわかるような形でということだと思いますので、整理いたします。
3:50:34	それですね、
3:50:38	例えばここで妥当性の判断するときですねいろんな項目が出て、想定されると思うんですね。
3:50:46	一つは
3:50:51	透水係数の設定とかですね。
3:50:54	それから、いろいろな解析上のモデルの話とかっていっぱい出てくると思うんですけども、その中でですね透水係数は透水係数で別にその妥当性についてはですね、いろんな観点からすでに検討はされてるっていうことも理解しております。
3:51:14	それから、モデルの話についてはですね、例えばモデルの領域の取り方ですか、支店の大きさですとかいろんなことがあると思うんですけども、それは例えば
3:51:30	もうあるルールの中でですね、妥当性が確認されているっていうふうなことをですね。
3:51:37	例えばプログラムの概要の中身の説明でありますとか、それから、別途
3:51:49	ちょっと質問でもさせていただいたんですけども、企画基準とか論文の中でですね、そういうものは確認されているんだよっていうふうなもの切り分けていただいて、
3:52:03	で、そこら辺はもう既定値の値を使ってるからそれについては確認されてるとかですね、そういう整理をですね一緒に合わせてですね。
3:52:12	やっていただければいいかと思うんですけども、じゃあこのを再現解析のところですね名統制が説明されるっていうのをですね、言ったそういういろんな様相取り除いたそのこれで
3:52:28	確認しますとですね、そういった案が説明をですね、していただければいいかと思うんですね。
3:52:37	いかがでしょうか。
3:52:41	はい。特に東北電力のダテでございます。
3:52:45	ちょっと今墓石いただいた中にはそのプログラムの適用範囲も当然ございませし、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:52:52	あと資料中でもありますね、例えば文献値というような表示で
3:53:00	あまり詳細に書いてないところもありますけども、そういったところもただ一般的な基準等に照らすと一般としてこれができたから適当であるとか、そういったそういう一つ一つの評価を加えていくというようなことを
3:53:16	と理解しました。すいません。
3:53:19	規制庁のエサキではありますけども、参考のページかなんだけど。
3:53:28	2-2-1-2のページ、ページが、さっき説明があった。
3:53:33	杉原のほうで、前回、
3:53:36	どのような何である参考資料をもとにして、
3:53:42	こういうモデル化とかそういうことは説明してくださいと言いたいのは、資料見せても、その資料が何をに対してこれを反映して妥当だったっていうような話を書いてないから沼津わからんじゃんかっていう話があって、
3:53:59	そういったこともちょっと回りくどいちょっと吸い上げてますけどそういうからボタン走ってます。
3:54:04	なのでそこをまた別の大きさは何でって決めたのか。
3:54:08	例えばそういったときにですね、何を判断基準って多分こういう参考図書とか、以前のそういう
3:54:15	建設工認当時のもあるでしょうからさとか、そういったものを含めて判断されると思うんですけど。
3:54:23	境界条件とかですね、そういったものも含めて、どういったものをお基本的に
3:54:30	蒸気として、
3:54:32	この解析を行ってモデルとか解析をしているのかっていうのを説明してくださいと。そうするときに、そう解析の特性が、
3:54:40	プログラム特性があるんであればそれも含めて説明ください。
3:54:44	そういうことですよ。
3:54:47	どうもありがとうございます。
3:54:49	皆さんの客観的な評価指標ということとセットでというふうに理解しました。はい。
3:54:59	このところでまたそれはいいのかと思ってたんですけど、手間が省けましたどうもありがとうございます。
3:55:08	では次にですね。
3:55:10	現時点までのですねこれ妥当だと言われてるところのお話なんですけれども、
3:55:17	一つは17ページの以降にですね解析スイート観測Cの形状変化っていうことで、
3:55:26	これがずっと読んでいきますと、この上の比較も含めて、四角の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:55:35	これ最大値ですかねこれこの観測性の丸と、それから、
3:55:42	すいません。
3:55:45	45° の線にどれくらい近づいてるかということで、妥当だというふうな判断されてるわけなんですけれども、
3:55:53	例えばですね、この
3:55:56	下の刑事変化の図の中でですね、青線の観測値完遂とそれから、
3:56:05	朱色○の解析値地下水との差を見てですね。
3:56:12	で、例えば観測水位に比べて解析水位が非常に敏感に考慮に反応してるとかですね、これはどうしてなんですか。これはモデルの改良の余地はないんですかとかですね。
3:56:27	そういう点についてはもうちょっと詳しく説明をしていただきたいと思うんですね。
3:56:33	ドイツ、
3:56:38	綱領のですね、表面流出とそれから内部に浸透する水量の振り分けだとかですね。
3:56:48	表面での保水性の考え方とかですねこれ粗度係数っていうことなんですか、なんかもしませんか、そういった点でのですね、改善の余地はないのかとかですね、そういった点でちょっともう少し詳しい説明をわかりやすくしていただきたいなっていうふうに思うんですよ。いかがでしょうか。
3:57:10	。
3:57:13	東北電力のダテでございます。
3:57:17	そうですね。この再現性に関わる
3:57:21	主な要因としまして頭数係数ということもありますし、粗度係数ですとかその意向限り技術ですとか、そういったもののデータがまずその結果に影響してくるところは理解されてます。真面目な再現性ありというふうに判断しておりますけれども、
3:57:39	そういった夏から
3:57:43	全体として保守的であるという考察なんですけど、そう反応性の違いというところについてももう少しちょっと考察を加えるということで、はい、理解いたしました。
3:57:55	保守的保守性の考え方なんですけども、再現解析の中で保守性が必要かどうかっていうことについてもですね。
3:58:04	ちょっとそこは考え方を明らかにもうちょっと明示していただいたほうがいいかなと思ってますね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:58:13	設計時点での補修性というのですねそれから再現解析という要するにモデルの妥当性を確認するっていう作業の中で、
3:58:24	保守性が必要なのかどうかっていうこともですね。
3:58:27	もう少し考察が私はいるんじゃないかと思うんですがいかがでしょうか。
3:58:35	はい。特にこのダテです。最終目的が保守的な高い水位というところがあって、ありますのでちょっとそこをちょっとなんかそうまず今の断面で、その平均値と
3:58:48	東京都小さくした当たり二つ置いてますけども、この平均値の目的はまず観測に感知することというふうに理解しておりますので、その辺りちょっと、もうちょっと組成し、
3:59:02	整理して、北のほう臭いと思います。
3:59:05	再解析段階ではあくまでも再現することがまず第1目的でその上でその補正を積み重ねていって、説教地下水に落としていくというふうに理解しております。以上です。
3:59:17	すみません、休日配って入りますけども、このもともとの再現解析っていうキーワード。
3:59:26	先にこだわらずに、
3:59:28	ここでやってやるべき目的。
3:59:31	その再現性というものが、
3:59:35	二の次でいいのか。
3:59:38	水位を高目に設定するモデルを構築しようとしているのか。
3:59:43	その中にですよ。
3:59:45	その時のプライオリティーを考えたときにどこまでできてどこまでできないのか、それで。
3:59:53	こっちをとると、本来の目的を失う。
3:59:58	ということも踏まえて、
4:00:01	多分検討されてると思うんですけど、そういったことも趣旨も含めて説明いただければいいんじゃないかと、短時間で簡単につい最近はできないと思うんで。
4:00:10	そうしたときに、
4:00:12	東北電力としては何を優先したのかっていうのを説明したほうがいいのかと思いますけど。
4:00:20	杉原です。
4:00:27	東北電力がやろうとしているですね。
4:00:32	予測解析の中での保守性の大きい方っていうのも、私なりに理解してるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:00:41	私の解釈でいくと、境界条件の設定というのはかなり大きな保守性だろうと思ってるんですけども。
4:00:47	それをですね、7ページのこのフローの時にですね。
4:00:52	再現解析の位置付け、
4:00:55	それとおそれ以降のですね、設計を地下水の設定という段階にですね、どういうふうな位置付けにしてですね、そこに何が意図されてるのかっていうことですね、ちょっと
4:01:11	明らかにした上でですね。
4:01:13	今みたいな話ですね今の議論の話ですねどういうふうにな何を優先させて
4:01:25	評価を行うかっていうことを明らかにしてもらおうと、今の話とリンクするかなっていうふうに思っておりますいかがでしょうか。はい。
4:01:36	東北電力ベンノでございます。エサキさん及び杉原さんのコメント承知いたしました。ご紹介だけになるんですけどもこの再現解析っていうのは、まさに再現っていう意味はどうなんだっていうのが実はEPの会合のときもですね、石渡先生から同様な御指摘をいただいでいて、
4:01:54	そのときも最終的には御説明して了解いただいた内容がですね、わからない時は最後は最後モデル上は保守的になるような設定をするということでお約束をしてその上でその会合の場で御理解いただいでるという形もちょっとありましたので、
4:02:11	その辺もちょっと全然書いてない状態で初めてご覧いただく場合にはその辺の説明も受けていて、まさにエサキ3回をおっしゃっていただいで、東北電力として何をくらいOTをもってこの再現解析と生再現解析の名前がいいのかってちょっと少し今私モデル化の妥当解析って言ったら、
4:02:29	本当はいいのかもしれないんですけど、ちょっと従来から再現解析という言葉を使っちゃっていたもんですからわかりにくさをちょっとまわしているので、
4:02:37	そうですね。そうですね。本当はすごく
4:02:41	そういうようなことと、ちょっと言葉を含めて、今からちょっと再解析を直すのがいいのかちょっと議論があるかと思しますのでただ再現解析の意味というのはちょっともう少しきちんと明確にして構台に伝えている話とリンクでかけられるように、ちょっと整理をさせていただきます。
4:03:00	多分ですね、そうしたときに、例えば看板はできるだけ不透水層にして、
4:03:07	9表とも移動は透水層として水をできる流しやすくする。
4:03:14	とかですね、複合型が出てくると思うんですけど、逆にそこは、
4:03:18	もう透水性を下げ下げたほうが水が滞留しやすいんじゃないですかっていう話方向でできると思いますけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:03:25	まずはどう考えてこういう御てるかを構築していこうとしていて、
4:03:30	そうそう設計値を求めるためにね。
4:03:34	どういうコンセプトで提訴的に
4:03:38	どこまで表現できればいいと、崎田杉原の判断基準というところに関係してると思うんですけど、そこがあまり明確じゃない。
4:03:47	確かに。
4:03:48	許可段階ではそこはあまり明確ではなかったけど一応介護でそういうを受けたという話ですけども、それは詳細設計の段階ですから、そこは明確にさせていただきたいということで、
4:04:05	この時の措置の整理をして、はい。
4:04:09	申します。
4:04:14	水張らず引き続き、
4:04:18	時間までやりたいと思いますよ。
4:04:24	参考の 1-1 のところですね、
4:04:32	ドレーンのいう耐久性といいますか。資料を用意し、新たに追加されたんですけども、
4:04:44	ここですね
4:04:49	何といいますか
4:04:50	いろいろ観測、今まで過去のですね視察の実績とかですそういうの述べられてるんですけど、これ
4:04:59	方の話ですと、社内的にどういう資料にですねその記載されているのかとかです、そこら辺をちょっと一緒に明記していただければですね。
4:05:08	要するに要するにエビデンスとしてこういうところにこういう記録を載せてますと、それによれば、こうですというふうなですね、そういうふうな記載にさせていただきたいなっていうふうに思います。
4:05:24	特にこの縦です出店をまず明らかにするということで理解しました。
4:05:34	それから参考の 2-4 のところですね。なんですけれども、
4:05:43	これちょっとお尋ねなんですけど、旧表土等もリードの透水係数一緒にするというふうなことでですね、その理由として、
4:05:52	解析対象とする構造物が近傍にないから、影響は少ないだろうから同一しましたっていう記載があったんですけども、
4:06:02	これは
4:06:04	解析上ですね、ぼりどの透水係数と、
4:06:10	一緒にする例えば

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:06:12	旧表土の層は層としてあるわけですからその透水係数の入力値変えるだけじゃないかなって言うふうに思うんですけども。
4:06:20	これは何かもっと積極的に負荷があるんですよ。
4:06:24	そうで東北電力とダテですけども、参考 2-4-5 項に、その辺りのコメントに対する記載。
4:06:31	それとコミュニティという形で記載してますけれどもまずその
4:06:35	旧表土自体の分布がまず審査の限定的であるということで、あとその透水係数を設定する上で、まず
4:06:45	一緒に扱おうと話した上で、旧表土の方が若干透水性が要するに低いようなものではあるんですけども、そのあと加算性平均しているということで、全体としては旧表土の小さい透水係数に引っ張られるような物性を、
4:07:01	絵文字を含めた全体に当たっていますので、そういう意味では計画に追加補正審査されるというようなこともありまして、一緒に河成を合わせると、そういう判断をしたということでございます。
4:07:18	保守性の一環だっというふうなことなんですか。
4:07:25	補修性確保の一環で一緒にしたっというふうに
4:07:30	東北電力の辨野でございます。先ほどのエサキさんとの議論にちょっとかぶるところだと思っんですけどね。つまりモデル化としてどこに着目して、そのきちとすべて精密なモデルを組むべきなのか、我々として最終的に水位を高目に設定することが、
4:07:48	目的な場合に、この二つを同時に扱うのか使わないのか、逆に言えば、水位が下がったほうが不利だとか、そういう場合には圧壊終わんのフルフルとかですね、そういう目的をもって数値の設定がちょっと明確に飛び地みたいになって今説明しているのも全体の流れとして、
4:08:06	ここで話をしてしまうと、本当にそれが保守的なのかってというのが全体像がちょっと今お話をさせていただいて、ちょっと見えてないから、ちょっと本当にそれかっていうようなところもあろうかと思っますので、やっぱり全体として最終的な目的っていうのはどこにあって、
4:08:23	そのためにはその積み上げの一つとしてここも分けてやるほどの簡単に言えば、感度はないと考えていて、統一しているとかその辺がわかるようにちょっと記載をさせていただくってことを考えておりますけども、いかがでしょうか。
4:08:41	わかりましたじゃ出来上がったものを見せてもらってからまたコメントがあればさせていただきますと、ちょっと規制庁エサキ跨って申し訳ないんですか、もしそれって、今まで三次元と二次元等も含めて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:08:57	検討出させられているからでしょう、県立公認当時から含めて何か数値として持ってないと思ってないんですか。
4:09:05	何だか、
4:09:06	ケーススタディやってみて効果を確認したとか、何かあるんであればそういったものは、今の
4:09:12	工認のモデルとある層がなくともある。
4:09:16	概略個々のサイトの特性を表して説明できるんであればそういった
4:09:22	結構数値計算とかあるんであればそういうタグ突き合わせて詰めたほうが理解しやすいかなと思って。
4:09:29	今聞いてください。うん。
4:09:32	東北電力の辨野です。今実際としてファクトとしては森と9動を旧表土分けたモデルっていうのは思っておりません。ただ、今おエサキさんがおっしゃったように、例えばこれをワンオーダーずらしたらどういふことがあるかっていうのが実際にこの
4:09:47	もう二度と旧表土の違いっていうのはそういうので表せると思いますので、直接ちょっとということができるか、今残ってるデータちょっとまだはつきり等はオノだずらしたらどれぐらいあるかっていう解析やってないよね。
4:10:00	そうですね。その辺は今ちょっとどういふことができるかってのは前回いただいたときから、進めていることもありますのでちょっとその辺が用意できるタイミングでちゃんと六条例えば六条5条に落としたりどうなるかということもお示したいと思っていたもんですから、ちょっとそれが今間に合っていないので、
4:10:17	今エサキさんから改めてそういう御指摘があったと理解しましたので、その辺もタイミングを見計らって化できるでき次第、きちんと示せるようにさせていただきます。
4:10:38	引き続きですけど。
4:10:42	参考資料2-4のですね、ところで空冷が方法を
4:10:50	の評価の中での
4:10:53	森土中の大粒径の利益分の影響の話はですね、回答されてるんですけども、
4:11:02	どこだったっけ。
4:11:06	23
4:11:10	そうそう。
4:11:11	それですね。炉注度大粒径の利益実施分の影響についてはですね、いろん

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:11:20	地盤定数の測定とか評価のときに、個別にさせていただいてるんですけどこれ
4:11:28	ベンノさんの方にもですねちょっと場外出ました。委があるんだけど、
4:11:35	一つの取り組みを
4:11:38	女川の盛堂っていうのは非常に今回の地下水の評価のときもそうですし、それから、
4:11:45	液状化の評価においても、非常に重要な位置付けにあると思うんで。
4:11:51	この
4:11:54	代理権できる部分についてですね影響が一つとシリーズみたいな形で全体的にを通してですね見て評価していただくようなものを一つ用意していただきたいなっていうふうに思ってるんですけども、
4:12:09	そこんところは今すぐ返事いただきましても検討した結果として、伺いたいなと思っております。
4:12:20	で、もう一つですね、このO2-4-23 だけに関して申し上げますね。
4:12:29	非常にそのマクロ的な観点で考えれば平均的な透水性に影響をさほどではないと判断できるというふうな
4:12:38	こういう理由で返答回答されてるんですけども。
4:12:44	もしこういう判断ができるようであればですね、こういう判断を支援するようなですね指示するような論文とかですねそういうものをあわせて、
4:12:56	提示していただきたい。要するにエビデンスになるようなものをですね併せてちょっとご回答いただきたいと思います。いかがでしょうか。
4:13:04	もう一つ前の話と一緒にですね、誤開ちちょっとお願いいたします。
4:13:11	はい。じゃうの二つ目の話ですが、補選参考 2 の 23 につきましては
4:13:20	そうですね。フグ勧誘率がまず有意義な比率はないというところからこれらの考察を行ってるんですがもう少しこのテレビの情報を
4:13:34	を含めてですね、記載のことと、まず検討させていただきます。
4:13:39	エビデンスということだと思っておりますのではい
4:13:42	はい。
4:13:45	東北電力の辨野でございます。1 点目の話ですけども今回は透水係数、つまり地下水の扱いとしては透水係数済みでありますのでそれに着目したエビデンスという考え方を示させていただいているのに対して、この物性値としての
4:14:01	話もいただいておりますので、それを今次のヒアリングのときにですね、その辺は御説明しまして最終的には今ちょっと時間の都合もあって、2 回に分けてやっちゃっているところもありますので、最後の資料としては当然一つのシリーズとして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:14:18	それぞれの面で、この利益分の影響っていうのがあるのかないのか、我々はないと考えておりますのでないという考え方について合わせてセットして御説明最終的にはセットになるように考えておりましたので、その日にさせていただきたいと思っております。
4:14:35	その際にですね、例えば既存の° 試験法、
4:14:42	いろいろルールがあると思うんですけども、そういうものに対してどういう適用されてるかっていうのもですね、併せて参考にですね。
4:14:49	示していただきたいと思っておりますのでそこら辺もよろしく申し上げます。
4:14:54	。
4:14:57	いたしました。
4:15:03	その他の本店側で今の件に関して何か追加で確認するようなことがあれば、お願いします。
4:15:14	東北電力の橋本です。
4:15:18	積極的分の影響についてはちょっと今解析というか、
4:15:24	動的解析、
4:15:27	いや、強度への影響という観点で少し取りまとめを行っているところでございまして、
4:15:34	ちょっとそういったところを御説明させていただきたいというふうに考えております。ちょっと
4:15:41	教徒ず評価上の影響としてはないということをちょっと次回御説明したいというふうに考えております。以上です。
4:15:51	はい。
4:15:54	すみません東北電力の松永で次が火山のほうから最後のほうにコメント等ありましたの施設試験等の関係のところをちょっと一部機器。
4:16:05	しまったかもしれないとかすべてもちろん血糖鳥原ですわかりました。私が思ってるのはですね、例えば
4:16:15	ウエキ情報の方いきますとですね相対密度とかってというような指標が使われてるんですけども、
4:16:22	こういった大きな粒径のべき部分を含んでいるようなものに対してですね相対密度っていうのはですね。
4:16:33	どういうふうにして評価されてんのかっていうので評価されているというかもととのその相対密度の測定算定をですね、どんなふうにしてるのかっていうのがですね、ちょっと
4:16:47	想像できないんで、そこら辺は一体どういう工夫なり対応されてるかとかですね、そういうことでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



4:17:00	東北電力の橋本です。ちょっとそこまで近いところまで回答できるか、ちょっとわかりませんがちょっと意識した回答を考えたいと思います。以上です。
4:17:16	私のほうからは以上ですけども。
4:17:32	はい、じゃあ、規制庁フジワラですと私のほうからちょっと連続で幾つかやりますので、まず一つ目がですね参考の 2-4-1 から浸透流解析に用い共通係数の設定根拠ということで、
4:17:48	さっき松原もいろいろと言っておってベンノさんとのやりとりの中でも実際は、今回の地下水の設定という大きな目標に対して、この透水係数というのがどれだけの感度があるのか。
4:18:04	シノ実際影響のあるやなしやというのがなかなかちょっと見づらかったのでもこら辺積ちょっと補強が必要かなっていうのに関して具体的にちょっとこれをちょっと確認したいというのが私のほうから申し上げさせていただきます。私のほうからちょっとそもそものお話なんですけども。
4:18:22	参考の 2-4-6 をちょっとお聞きいただきまして、
4:18:27	ここで前回のヒアリングのほうで
4:18:31	現位置も理科と旧表土については現位置透水試験やってるのか否かっていうのは話があったときにやっておられるということで、その結果がちょっとどうなってるんですかって言うので、今回これを示していただいたというふうに認識しておりますので、
4:18:46	今回現地試験結果が表の 2-4-4-1 ですか、書かれて現地等水位試験守りと旧表土がっちゃんこしたのが出て 8 掛け 10 のマイナス 5 に会議して試験結果資金化粒度分布から出した。
4:19:05	SRスピード分布から推定した後 1 年が 2.1、ちょっと現地と組織にもちょっと若干高いですね、若干ここで、一方設定値はそれも高いですというふうなこういうふうな横並びになってますと、
4:19:19	先ほどちょっとダテさんのほうもお話あったんですけども、透水係数が低いほうが水位が高くなりがちだっちは、大ざっぱな砂とかあるので、原則は何か低い方を使った、じゃあ現実透水試験を使うなりないというところがちょっといわゆる説明性がちょっと
4:19:39	よく見えなかったのでもうちょっと補強したほうがいいのかって言うのがちょっと私の趣旨です。
4:19:45	そういうふうな設定値の妥当性につきましては、ちょっと私のほうから 3 点ほどちょっと申し上げたいのはこういうふうな説明をやっていただいてそれが本当に影響ありやなしやとかその辺ちょっと確認したいと思ってます。まず 1 点目なんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:20:01	ちょっとホワイトボードにちょっと図を書いたちょっとお待ちください。
4:20:34	ちょっと仙台側、Fauske、
4:20:58	ちょっと今ホワイトボード上の画面に映しますので少々お待ちください。
4:22:08	あとは規制庁フジワラですと、準備ができましたので御説明いたしますと、今要は
4:22:17	これが原子炉建屋であと立坑でドレンがあって、実際株、ちょっと資料にはわかんないですけど多分岩盤の中にドレンが入ってるんですよね。そのように盛り度があると
4:22:30	実際水っていうのは、これ今協会があつてこちら多分予測モデルですか。こちら再現モデル、こちらは雨が降りますので、そういった上で推移を岩盤上面に設定した森度がない、あるかもしれないですよ。
4:22:44	そういったことからの水の浸透の水の流れをきちっと書いていただいて、
4:22:52	あと森野からはもうこれでいくとその水の供給というのは、岩盤からだけですよ。で降雨がないとしたら、こっから出てくるおつと岩盤から来済出してくるやつぐらいしか多分ないのかな。これ私の勝手な想像ですね、もしかしてこういうのって、解析何か断面切って、
4:23:10	何かもし出す出す事できたらこういった理由流線図、
4:23:14	お示しその流線の中で、あと速度ですか。実際どういうふうな速度になって、どこが要は水位に感度があるのかとかそういった何か定性的な図。
4:23:28	でもって何か、要はこれでいけばその盛り度からの水というのはあんまり大したことがないから、岩盤、
4:23:35	熱をパラスタやとときやいいでしょうか。そういうふうな
4:23:38	何かイメージがちょっと湧きづらかったので。
4:23:42	ちょっとこれはあくまでも1例なので、こういった、ちょっと図でわかりやすいものの中トライしていただけたらいいのかなと、これは1点目。
4:23:50	だけどこれいかがでしょうか。
4:23:58	やはりとく電力のダテです。今いただいた図のイメージ、実際はその
4:24:03	岩盤中の交換今書いていただいている赤のドレーンで頑張っって水を待つのと、あとはその頑張れと境界付近に駿考えていてそっから水をするというので、を深さ方向には二通りの
4:24:19	排風機構があるという状況なんですけど、今おっしゃったような表示その流線と丹生線の形で表示するというのは、ちょっと
4:24:30	表示できるかと思いますが今いただいているイメージに近いものになるのかちょっと検討させていただきますので、
4:24:38	ちょっと表示を検討します。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:24:43	規制庁フジワラですね等、私が守ってる感覚というのは、これちょっと例えば計算書にたとえたら申請書添付資料でいく計算書ですね、結果だけがぽんと出てくるんじゃないで結果に至る例えば曲げモーメントだったりとかですね。
4:25:00	そういった何か途中で出てくるようなかそういった過程のやつが何かあまりないので、ちょっとイメージがつかなかったという。
4:25:17	ふうん。
4:25:18	規制庁浮上ですそうですね今現在やられてる解析の中で分析が可能な限りやってそのわかりやすい絵と図で合わせたというところです。はい。
4:25:30	そうですね、補足しますと、いわゆるそういう分析をしていくと、実際の実現象と照らし合わせて、或いはあり得るような現象をちゃんと解析してくれてるのかっていうようなことが一つ判断できるんだと思います。そ分析してどのような要因で起きるとそういうことは、
4:25:47	あり得るよねっていうことか。
4:25:49	あり得ないだろうということなのか、そういう一つの判断基準られるのですね審査の判断基準になると思いますんで、そういったことでちょっと分析をお願いしたいということです。
4:26:01	はい、特定のダテです。今おっしゃられた趣旨からいくと公募型というような非常解析の中で有線を表示してみるとかそういった跡地だと思ってまして。
4:26:11	実際に席を使って定常解析なので、ある境界を固定した水面 9 だけが出てくるということになりますので、そこをちょっとこう繋がるような説明をちょっと考えたいと思います。以上です。
4:26:26	はい。規制庁フジワラですと、その 1 点目のほうをお願いしまして副もう 1 個 2 点目がですね、さっき言った参考 2-4-6 で現地機能がちょっとちっちゃ目なんですけど、先ほど辨野さんが何かちょっとちっちゃい値で
4:26:42	なんか影響をちょっと見られるっていうお話がちょっとあったような気がしましたので、その時にこういった観点でいいんちゃいまったとしても、その影響程度っていうのは、警備或いは全くない。或いは設計地下水にセット影響与えないほど微小であるとかそういった
4:27:01	御説明をちょっと今後いただきたいと思っておりますが、これは県もよろしくお願ひできますでしょうか。
4:27:08	電力ダテです。実際は時の何乗というオーダーのところが実際の強度によって区分と思っておりますが、この発炎を数字を対象にしたときにどうかということかと。
4:27:22	思いますのでその影響という趣旨で受けとめましたらちょっと対応について検討したいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:27:28	感度解析とですね。はい。
4:27:31	はい。規制庁フジワラですねと、あと最後にもう1個等参考2-4-11ですかね、ここでさっきもちょっと話がちょっとちらっと出てましたパラスタ建設工認時のパラスタですねというのがなされていて、基本これは建家の
4:27:49	基礎番に対するよう圧力という観点でのパラスタ作業は見てる箇所が今ちょっと限定的のような印象ちょっと私実は受けてまして、これも説明の一つかもしれないんですけども、もし変わったら今回その敷地の
4:28:06	周辺建屋の周辺にあるような地下水っていう観点でのなんかこういった影響ですかというのを何か説明がきちっとなんかやっていただけたらというふうなものがちょっと私のほうは割愛を何が言いたいかっていうと仕切って直轄ないところの
4:28:23	説明に関して、建屋直下の説明を持つのはちょっと何か御説明が足りてないのかなというのがちょっと私の印象ですが、この教育に関してはいかがでしょうか。
4:28:38	はい、東北電力のダテです。先ほどのコメントと同じような話出資で感度いかほどかということかと思えます。前回ヒアリングでも少しこの辺り話題になったんですけども、ここであるパラメータを拘束洪積付加的に
4:28:58	複合的な線やなるけども感度が損なわれるとかですね、そういったその傾向もおそらく出てくるかと思えますので、そのあたりも含めて、どういった感度があるのかっていうのをちょっとまとめるということで理解いたしました。以上です。
4:29:14	規制庁フジワラですと、その点よろしくお願ひします。では等、私のほうからと今度ちょっと今簡単な内容のシリーズ結構沢山あるんですけども。
4:29:27	えっとですねちょっと僕も確認したいことがあって、参考の
4:29:33	ところが、
4:29:35	3項の6号、2-1ページで、多分その前の参考6-1も関係してくるんだと思うんですが、
4:29:45	こーっ代表として6-2ということで、降雨に対する設計用地下水位の余裕について。
4:29:52	ということなんですね。
4:29:54	さっき冒頭に、
4:29:59	私はフジワラがいて、この部分の
4:30:02	ふうん。
4:30:03	いわゆる成果がどこに反映されてるかっていうのは説明を前のほうに加えていただくという説明があって、いわゆる
4:30:12	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:30:13	その位置は、
4:30:17	ページは、
4:30:19	ページ。
4:30:20	7ページのフローの一番下のところ、
4:30:26	になるわけですが、7ページの下の方のところのいわゆる
4:30:31	検証。
4:30:32	検証 97 と地下水位の設定のその根拠ということで、補正の確認ということになるんですね。
4:30:39	もう一度先ほど普通目的に応じた話で、
4:30:45	私もこれは最小読ませていただいたんですが、
4:30:49	もう1回参考 6-2-1ドルんですが、これにて二つ解析やっていて、再現解析等をもともと
4:30:59	そう設計地下水位設定は解析っていう風がもともと持った設計地下水ですね。
4:31:06	当対比をしていると。
4:31:08	その再現解析っていうのは多分ですね、
4:31:15	非定常で今回たり降雨を考慮してるんでし定常解析ということで、それでただ、
4:31:21	防潮低の下の
4:31:24	地盤改良っていうか、沈下をための改良は含まれていないし、新たな
4:31:29	地下水位低下設備も含まれていないという条件になるわけですね。
4:31:34	そう見たときに、
4:31:38	表 6-2-5。
4:31:41	改定表彰表示がございます。参考 6-2-5 ページで書いてある表の 6 号、2-3。
4:31:49	ですねここで、いわゆる設計すると、いわゆる
4:31:55	いわゆる地盤改良とかいうのも含めない状況の推移等を比較しているところは書いてあるかもしれないですけど、この辺がよくわからない。だからAsIsで地下水だけをこうだけそう厳しい条件にして、
4:32:12	だとしても設計水位は十分なんで余裕を持ってっていうシナリオになってんのかなと思って読んだんだけど、何かそうでもない砂層な感じもするしコメントちょっと事実関係がよくわからないんで。
4:32:24	動かそうと思っていた中で迷ってて、なかなか理解が進まないのは、今言った点。
4:32:30	ここは実際はどうなのかっていうのをちょっと説明いただきたいんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:32:35	はい。特に東北電力のダテでございます。参考 6-2-1 ページ、いろいろ前段で再現解析というふうに説明していたものと、
4:32:45	若干異なる部分があるということを参考 6-1-1 の中段辺りで記載してございます。広域のモデルを使うと言う部分については変わらないんですけども、導通条件等については水晶体モデルと同一としています。
4:33:06	小さなモデルですね。ええと同一としているということで設備状態とすると
4:33:13	ですから、エサキ設計用地下水の 3 層に合わせているということをやっています。その上で、仮想的な雨を与えるということをやっております。
4:33:29	それで、
4:33:31	以上です。
4:33:33	規制庁エサキですが、ここで非常に重要なところになるんで、ちょっと増県とか停電に
4:33:40	変えて欲しいなと思っていて、
4:33:42	でないとですね、多分、
4:33:46	この 6。
4:33:47	不祥近くのところでは確か解析条件のモデル化のところ、
4:33:53	6 同じ G6-1-1。
4:33:57	課長さん黒く網 1-2 ページですか、これに再現解析等が書いてあって、
4:34:04	このことを言ってるのかなというふうにちょっと誤解どっちを呼んでいるかわかんないなので、
4:34:11	なお、
4:34:13	いわゆる須藤マップを作ってください。フロー作ってくださいっていうところに一番こういうところが重要だところがきちっと
4:34:22	誤解を招かないようにきちっと書いて欲しいということです。
4:34:26	以上です。
4:34:29	はい。特に東京電力のダテです。了解いたしました。はやの条件としてはわかる形で記載します。
4:34:37	以上です。
4:35:19	その方にちょっと理解をいただくためにあえて同じ話をさせていただきます。東北電力ペンノでございます。トーマツ条件としてどれだけ保守性があるかってのは前段のところ、うたうべきところだというふうに理解しております。さっきの話で何に着目して何をやるかっての整理がまず一つ。
4:35:36	で、結果としての余裕として再現解析の中でも水道を若干上回ってることも含めていってるんですけど条件だけじゃなくて結果としてもそれぐらいの雨が降っても、この水位っていうのは高めに設定されてるんだよっていう意味を込めて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:35:51	参考 6 の利益の今回の新規でつけさせていただいたということでございますので、その辺もさっきのエサキさんがおっしゃったマップの話と、それから条件の明確化、それをちょっと理解した踏まえた上で我々がお示したいことに
4:36:07	ちゃんとなってるっていうことがわかるようにちょっと書き直したいと思います。
4:36:11	規制庁のエサキですけども、ここでこちらがどう考えていらっしゃるかということ。
4:36:18	はちょっとはつきりしないんだけど、ここでは確かとして考えると重要なところなんで、本文に入ってきてもおかしくないのかなと。
4:36:30	何かそこに出しちゃった。
4:36:32	条件とか細かいところは出しちゃっても構わないんだけど。
4:36:37	基本的には、コンセプトとしては、
4:36:40	頭をうまく条件が保守的でさっき栗栖の結果が保守的だと言っているところで、何をもちこれこの結果が、
4:36:49	妥当性とか、保守性を示しているのかっていう一番コープ設等がとして重要なところになってくるんで、そこはやっぱり何となく本部み大方のことは、
4:37:02	考え方がしっかりわかるぐらいは変えていただけたほうが良いと思うんですがいかがでしょうか。
4:37:08	東北電力の辨野でございます。はい、おっしゃってることは理解しました。要は、今ちょっと通す構成上、参考のほうに回せますけれども、本来これきちんと本部に入れるべきものもつとほかにも沢山あると思いますので、エサキのマップの話も含めて本部に入れるべく補足本文に入れるべきものと、
4:37:27	データだけを示すいわゆる紐付けさせるものとかちゃんと仕分けして、次回までに修正したいと思います。
4:37:34	東京汽船のエサキですが、3を東北電力として、やっぱりその視聴したいところはそこを少し骨格としてですね。そう説明した時刻ははっきりと明確にしないと我々としてそこが中で何を持って、
4:37:51	妥当だとしてるのが全くわかってなくて、そこはやっぱりはっきりさせた後、しっかりと書いていただく。そうした人いただいたほうが良いと思います。
4:38:05	コメントとして理解しました。はい、後ろのほうに入るいたします。
4:38:13	規制庁フジワラですと、私のほうからちょっと簡単な内容のシリーズがつつ幾つかありますので、
4:38:20	といたしますの③の資料の 20 ページのほうなんですけども、用語だけの話なんですけども、この下から 3 行目の右端に再稼働段階っていうふうな用語があってこれと何か今一井規制基準の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:38:38	何かよくわかんないんでここを何か規制基準の中用語に置き換えて具体的にちょっと示していただきたいんですけど、いかがでしょうか。
4:38:48	東北電力のダテです。安全対策工事の完了した段階に対応する設備状態という趣旨でございますので、表現のほう適正化いたします。
4:38:57	以上です。
4:38:59	はい。規制庁浮上ですねとは私の方は引き続き、この同じページでですね、ここの経営地中構造物が再稼働段階におけるですね、モデル化するというふうになされて、じゃあ具体的にどんなやつをモデル化したのかっていうのがですね。
4:39:15	なかなかリストもなく等、具体的な図も 21 ページの図を見てもよくわからないので、まずそれはちょっと何か可能な限りリストアップいただいた上で、あと、この 21 ページの上の図で、
4:39:30	このモデルを一応細かくPDFで区だしてみようとしたんですけど全然見えないので、この図についてはちょっともうちょっと大きくいただいた上で、改造もきちっと上げて、どういうふうにモデル化しているかがわかるようにちょっといただけないでしょうか。
4:39:46	はい特にこのダテですコメント検証ついでいたしましたモデル化する範囲の考え方はわかるような形で凸の改造も含めて時再調整いたします。
4:39:58	はい。規制庁浮上ですと債まあ地盤改良の位置も、なんですけども、ここにちょっと図をPd附属くらいすると、岩盤の掘削斜面が一応スタートの地点でそれもちょっとわかるようにいただいた上で、あとどれが入ってから何かもし配置。
4:40:17	できればちょっと難しいかな、これは、
4:40:20	すべて実時間バック冷めないけどもわかるようにいただきたいと思います。いかがでしょうか。
4:40:25	はい。特にこのダテです。どうせ形状等も含めてモデル化されますので、その辺りちょっと、わかるような表示のドレンについても
4:40:35	即抜き出して表示することは可能かと思っておりますので、そのあたりちょっとメンバーがわかるような跡構成要素がわかるような形でちょっと表示を工夫いたします。以上です。
4:40:44	はい。規制庁浮上ですと引き続き 32 ページをお開きください。これも表現だけの話なんですけど、地下水の分布の図がここにありまして、これが予測解析位置なのか何かアマンノかが、
4:40:59	一番明確なんですけど、せっかくやったら 1 に両方、はい入れていただいたほうがわかりやすいかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



4:41:09	はい、東北電力のダテです押し通り予測解析値の結果ですのでその記載いたします。
4:41:15	以上です。
4:41:17	ましょ予測解析 2 のものとコンター図もここに何か。
4:41:23	ここ来なくてもいいんですけど、どっかに示していただくことは可能でしょうか。
4:41:28	はい、東北電力のダテでございますが、可能ではございますが、アウトプットとしては湧水量という形でのアウトプットオオエ等をしてそれぞれのですね。お勧めしておりましたが、表示を
4:41:44	可能でございますので、はい、記載する形にしたいと思います。
4:41:50	以上ですが、規制庁じゃないですが、そうですね、今、目的に応じた図という観点では、もしかしたらの影響先と積雪の影響評価のほうがいいかもしれない貯槽をいかに仕分けをちょっとお願いします。はい、了解しました。
4:42:04	引き続きまして 59 ページを開いてください。
4:42:13	59 ページのですね、上のほうの図 2 号機放水立坑の点検分の傍聴平均の展開図ですね、上に書いてあるスポーツに書いてある第 2 号機排水立坑西側。
4:42:30	とか南側とか書いてあるように西側南側南側南側西側ってなってるんですけど、北と東が抜けているのでこれ多分誤記かなと思うんで訂正いただけたらと思うんですが、
4:42:41	いかがでしょうか。
4:42:43	仙台側でフォローいただけますか。
4:42:46	東北電力の尾崎でございますので、大変申し訳ございません者の下に訂正させていただきます。
4:42:54	規制庁フジワラです。この 60 ページのですねえと上のほうの図の 2 号機放水立坑横断図の
4:43:04	放水こう立坑の右っ側にある防潮引き個々の下部に何となく地盤改良がありそうな雰囲気は私は感じたんですがこれを行ってないんでしょうか。教えてください。
4:43:18	東北電力オザキでございますが、こちらですねNS断面切っておりますして実はですねshot少々お待ちください予定人数今探しております。
4:43:29	んとですね、24 ページにですね、坪 3.3-17 というのは、
4:43:36	図がございまして補正叩く左点多分建屋て下に青い線で囲まれた部分、これは放水立坑になりますので、そこに多分受け継がから熟成感が出てまして、そのところに防潮兵器がございまして、今回この 60 ページ切ってる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:43:55	ダムっていうのは調査の盗むと本社のちょうど中央をちょっと切らせていただきまして、ちょうどですね防止がそこまとめる形になっておりまして、改良体としては、このシノと財務にあるような形になってございます。
4:44:14	以上でございます。
4:44:16	規制庁フジワラです。何か実際はないということでは今、今の説明だとあまりよくわからなかったので具体はじゃあ細かい計算書のときに確認させていただきます。
4:44:29	了解しました。失礼しました。はい。続きまして 65 ページをお開きください。
4:44:39	65 ページの用水路の図が下のほうですかねえと東西方向ありまして、ここの改良地盤の範囲についての確認なんですけども、この改良地盤の青色で階段状に示されて、
4:44:55	今も里道ん守りの付近は大体改良されてるんですけど、一部傍聴抵当岩盤と改良地盤で囲まれた範囲でのみ改良部があってこれって、改良部で残すような設計という理解でよろしかったでしょうか。
4:45:25	はい、東北電力ハマモトでございます。こちらの方ご指摘の通り未改良部が残るような格好となっておりますので補足いたしますと、階段状になっている部分につきましては、近傍に防潮機器が 3 号海水ポンプ室の防潮機器がございまして、
4:45:41	こちらの地盤改良範囲を記していると合併しているというような状況でございます。以上です。規制庁フジワラですが、そういうちょっとあまり坑道のイメージができないんですけども、今後じゃ計算そう見るときに、はい。具体ですと確認して参りたいと思います。
4:45:58	引き続きまして、参考 2-4-5 をちょっとお開きください。
4:46:10	参考 2-4-5 で
4:46:14	これも多分事実確認だけなんですけども里道の透水係数試験結果で平均値マイナスの値が記されてまして、雨森と旧表土ですね、この右腕のていうのがD20-oneシグマなのかそれとも
4:46:29	D20 から設定した透水係数の私今の活動がちょっとよくわからなかったのそこはどちらを指してるか教えていか説明してください。
4:46:41	東北電力の松永で政党E27 体で簡単した都税件数もプラスとマイナスを示しております。以上ですはい規制庁布田です。その点ちょっともうちょっと記載だけちょっと追記をいただきたい。
4:47:00	あともう 1 点と同じページでイトウ※2 でこれ先ほどコメント回答の中でD20 でどうやって平均値出したんですかっていう説明の回答がここで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:47:14	粒度試験結果に基づき曲線保管で算出というふうにあつて、今伊地知等イメージがやっぱこれもわからないですね。
4:47:24	曲線、これはもうちょっと具体的にこうやってらっしゃっている中、参考で示していただくわけないでしょうか。
4:47:35	はい、東北電力のマスナガですと。
4:47:38	ちょっと具体的にはですね年月試験データシートに臨時の値がシートに明記されますのでまた読ま拾っておりまして、それはどうやってらっしゃるかっていうと
4:47:55	ちょうど 20%の数字がないことが多々ありますので、そこ曲線他にいらっしゃるということで等ということで家方向として曲線保管ということで記載しておったんですが、
4:48:09	こちらからのデータシートとかを
4:48:14	レジするような形でよろしいでしょうか。
4:48:18	規制庁ごめんなさい規制庁フジワラですが、時水箱で記載しようとしてるイメージがはいわかりましたけど、私が聞いたかったのがですねこのD20 算定するときに、要はいろんなエリアから、
4:48:33	例えば一つのボーリングから何か幾つか試験結果を曲がって、要は全試験の全数を平均したのかそれとも一つのボーリングごとに平均値を出してそれを何かこう、全エリアで平均 3 の方進め或いは
4:48:49	もう一度と旧表土がっちゃんこするときにもそういったデータ数と平均値の重み付け考慮して平均値を出すのかその辺りがちょっとわからなかったんで、具体的に数字がどういった形で 2.1 っていうのを出したのかなということなんですけども。
4:49:06	そういう中で出て自治会
4:49:11	東北電力のマスナガです。はい、そのコメントの趣旨理解しましたのはいへ追記いたします。はい。規制庁フジワラですと、引き続きまして 2-4-7 参考の 2-4-7 をお開きください。これ単純に誤記だけかもしれないですけども、この表の 2 の 4-4 の中の
4:49:30	調査地点①の旧表土の震度
4:49:33	この旧表土が二つ欄があつてと両方とも同じ深度になっているので、これって別々の振動な気がしたんですけども、これ実際同じ地震とかどうかちょっと説明いただけますでしょうか。
4:49:47	東北電力のマスナガで窃盗はいとすぐ申し上げますと下のほうの急遽どの深度が、
4:49:55	おりますので適正化いたします。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:50:01	はい。規制庁フジワラです。そこは適正化いただいてあとその次へと2-4-11、これ記載だけの話なんですけども。
4:50:11	建設時工事計画認可申請時というふうはこの多少目がこの図書の出店的なノウハウですけど、これは建設工事計画の時の申請書としてこれが実際に出たものなのか。
4:50:28	それとも、そのときの参考資料なのかという位置付けがいまいちちょっと今これで見ると何か申請書本体ですっていうふうに見えるのですが、これはちょっともうちょっと、もし
4:50:38	添付の申請書で点検とかですなそんななかったら、そういうふうきちんと書いたほうが良いと思うんですが、いかがでしょうか。
4:50:55	。
4:50:56	グループの松沼です。はい、承知いたしました。
4:51:00	肺塞栓抜くんダテですけども生産者の申請書類ではなくって、審査の中で御説明する資料という位置付けですのでその辺りわかる形で記載いたします。以上です。
4:51:14	規制庁フジワラです。引き続きまして2-4-21 ページをちょっとお開きください。20 ページと21 ページに跨ってるんですけども。
4:51:26	私のほうが1000、前回のヒアリング時に、森泥と旧表土については、進路ごとで、あともしあの分けられたら分けて一つ見せてもらってその気持ち均一性の説明オノつと。
4:51:41	審議して欲しいというふうなコメントを出してこれ旧表土については、震度別ってというのが書いていただいた分これはわかりましたので、
4:51:51	もう1個の守弘のほうがですね14 ページとか15 ページを見てみますと、
4:51:57	46 ページも一緒ですけど、あまりちょっと深度ごとでちょっと分かれ分かれていなくて、これは何か進路ごとで分けられないんだカー技術的な何か問題があったのかちょっと教えて説明いただけますでしょうか。
4:52:13	はい、東北電力のマスナガでセット
4:52:18	参考
4:52:19	日本も13 ページをご覧いただきたいんですが、
4:52:24	今回整理したのがこの赤丸の地点の粒度試験結果なんですけど、こちらの
4:52:33	上の文章のなお書き以降の記載の通りご承知の通り岩砕等が含まれておりますので等の一部を含む粒度試験ということで、現場でいろいろ試験を実施しておりますので基本的に
4:52:51	地表付近で実際掘削して流動試験を実施しておりますので、
4:52:58	今回の整理したデータの中では検診の方向のデータがございませんので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:53:06	そちらについては今回の設計いないというふうにしておりまして、ただ一応補足として最後の文章のところになお書き記載しておりますけれども減少の統制試験については震度別の結果がございまして、
4:53:22	そちらでの震度別の有意な差がないということを一応、
4:53:25	ちょっと補足させていただいておりますと、今日回答は以上になります。
4:53:31	規制庁フジワラですと事情の方はわかりましたものの、今おっしゃられた要は事象面で粒度試験をピックアップしてその試料をとってますっていうことと、じゃあ具体的に内表面から
4:53:47	旧表土まで或いは岩盤までのうちのどの位置ぐらいのやつをとっているのかっていうのをちょっと示していただけますでしょうか。
4:53:58	はい、東北電力の松永です。承知いたしました。
4:54:03	規制庁浮上です。参考 5-4-2 をお聞きください。
4:54:14	でしょ。
4:54:19	参考 5-4-2 についてはこれ下階 10 土木構造物のヒアリングの際にも何かいろいろ話した液状化の発生の有無をちゃんとまずありやなしやとかを見た上でいろいろと確認するつちゅうのは、話があったかと思うんで。
4:54:35	今これちょっと今後なんですけども、進展に合わせてこの辺もきちっと整理いただいてもらえますでしょうかっていう話なんです。いかがでしょうか。
4:54:49	はい特にこのってダテでございます。あとコメント趣旨理解いたしました。
4:54:59	そういう。
4:55:11	それほどあそこだけですけれども、
4:55:15	次に、
4:55:21	ちょっと先例が多いですけれども今のコメントの趣旨ですけれども、液状化の話について最終的にどの断面でまとめるのかという話も含めて、今後整理という趣旨のコメントでございました。何かそれに対してコメントあればお願いします。
4:55:41	東北電力の橋本です。° のところのフローに
4:55:48	等々抽出結果をこの第 3 回でまとめるのかという趣旨と理解していくとCでしょうか。
4:55:57	規制庁フジワラです。そうですね、ちょっともう 1 回言った今こちらのほうで持つ話をしてたんですけども、今はですね、液状化に関するその断面の選定のやり方っていうのが三つの分野に出てきていた一つは今回の地盤でもう一つが、
4:56:13	屋外土木でもう一つが津波。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:56:16	これらの三つのうち、コメントを先に出したのは、屋外土木でしたけども、実際にどこでまとめて話をしたほうがよいのか。
4:56:28	という点については東北電力さんのほうで、要はまとめて整理をいただいて、例えば
4:56:36	うん。
4:56:37	今、議論を効率的な説明ができるような形になればいいのかなと思うんですが、そういう趣旨で、
4:56:44	てくださいねということなんだからフローを変えろというよりもどちらかという屋外土木出たコメントを咀嚼して地盤で該当するか、或いは屋外土木のところで該当するか、そういったふうな話になりますが、いかがでしょうか。
4:57:03	はい。東北電力の橋本です。コメントに応じまして例えば基本の方針は、地盤の液状化の中で御説明させていただくとか、あと個別の断面選定に関わるのところについては施設の中で説明させていただくとか、そういった
4:57:22	説明の切り分けというかですね、そういったところを整備させていただきたいと思います。以上です。
4:57:35	当東北電力の辨野です。今こちらでもちょっと確認をハシモトさんの回答に関して、こちらでもちょっといろいろ確認してるんですけど個別にやってしまうと外バラバラ感がちょっと否めないんじゃないかとか、心配というかですね。
4:57:51	いずれその盤弁でひっくり返るとか、そういう統一性がなくなるのではないかとちょっと御指摘もあるので、ある程度やはり液状化の検討の中で大きな方針は心一つにまとめたのが今までの
4:58:06	やり方た設置許可の段階でもやってたと思うので、それを踏まえて、各構造物ではこうするっていう展開のストーリーじゃないとちょっとわかりにくいかなという議論がありますけどその辺を踏まえてちょっと取りまとめをするということでもいいでしょうか。
4:58:24	本件の方。
4:58:28	東部と東北電カイトウでしていいと思います。ちなみに多く要望では、
4:58:35	もともと地下水のほうでフローが出てましたので、9時の断面選定のKKと同じ断面選定のフローの設定そのあとにですね、解析手法の選定ということで、この同じフローに基づいてとか構造物
4:58:54	オオエ等解析手法の選定を記載する予定でおりましたので、
4:58:59	ここで方針、あと個別施設で具体的な選定という流れでいいかと思います。
4:59:11	東北電力ベンノです。今伊藤さんの説明でこちら了解いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:59:20	ちょっと私のほうから最後なんですけども、参考 6-1-10 人をお開きいただきまして、6 の根本と解像度だけの話なんですけども、この上のほうの階の 6-1-4、海水ポンプ室の設計を
4:59:35	地下水については、一生懸命このPDFでこう拡大していると、水位を見落として非常にもう苦労してくるケースがほとんど見えないんですね、引率たらまあなお見えないので、
4:59:49	これだけに限らないんですけど、基本的にこの回Srし地下水位を見て欲しいんだったらその地下水がわかるような解像度で前回の資料を見たの見渡してちょっと改造高めていくなどの努力をいただきたいんですけども、いかがでしょうか。
5:00:08	特にこの立て付けの先ほどの断層線の方もそうなんですけどもちょっと生命のところでございますので、全体ちょっとチェックして表示工夫します。以上です。
5:00:23	規制庁のエサキですが、
5:00:25	当 10 個別の③の資料の 16 ページの表かっこいい
5:00:32	地盤構造物のモデル化の一番最後の行で、また、
5:00:40	海側の地中伝播駅の影響を保守的に考慮しない。
5:00:44	通していますが、なぜ保守的なんでしょうか。それはね、
5:00:48	私のナグラはしてるんですけども。
5:00:52	海からの流入量をされるんですよ。
5:00:56	陸ちいがっていうか、いわゆる防潮て夜山側サブドレンですちゃってるから地下水が非常に低いと海面よりも、そういう状況になっちゃうからって話違うんですか。はい。データ操作等で右側からの流入というのが現状その相当あるという状況ですので、
5:01:16	そういう意味ではチュウデンベきをモデル化することで、その機能が減ってしまうので、それでは法律なことで保守的になモデルになると、そういう趣旨で記載しております。言葉だけなのでちょっとここはちょっと表現へ付議します。
5:01:33	あとですね、31 ページ、これはちょっと僕もほぼ答えを持ってないんですけど、DGの予測解析の検証今後ということで、確かにも今後ですね、今後にするしかないんですけど、このステータスは事実的なものだというふうにはしているんですが、
5:01:49	ここに関しては、もし
5:01:52	地下水が、
5:01:54	その観測して、
5:01:58	まさかと思うけども。
5:02:00	設計水位を上回ったときとか、どうされる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:02:24	はい、東北電力のダテです。今の御質問はわかりましたってその観測水位が設計を超えてしまった場合という話かと思いますが、
5:02:36	ここについては、
5:02:39	3 項
5:02:42	6ー
5:02:44	それとも、少々お待ちください。
5:03:02	すみませんちょっと今すぐ見つけられないんですけども、えーと、ですね将来的に関する上回る可能性があるような場合の取り扱いについて記載を酸素数量追加してございますとそこの
5:03:20	委員長。
5:03:28	はい。特にこのダテで参考の 6ー1ー15 ページでございます。ここで
5:03:33	解析条件に対する変動要因への対応についてということで記載してございます。現時点でその見込める増要素はすべて見込んでますので、現時点でその変動予測要因というものは特にないと。
5:03:48	思っていますが、将来的にですねへの大きな改編があった場合など、こうの対応として、そんな時の債権産業再検討を行うという趣旨を記載してございます。
5:04:31	特別のダテです今の皆さんの御質問今の参考 6ー1ー15 ページの超える可能性がある場合は再検討を行うというものに対して運転中はどうするのかという話でございましたがその場合は
5:04:47	まず前半戦の議論の通り留めるも含めてですね、機能復旧の段階に移行するというふうに考えてございます。これはその設計として超えるような事象が明らかになったときの対応ということで書いてございます。以上です。
5:06:08	東北電力ベンノです。LCOの話については今こちらでもを確認させていただいてる通り営推ではなくてポンプの運転状態で一方で、液状化とかの影響っていうのは北国閉等、
5:06:25	広がりを持った水位の話は今エサキさんは、御懸念されているかと思いますがその辺については、時間余裕として仮にとまったとしても 2 ヶ月ぐらい上がってきててもまだ問題ないというようなところもありますのでその辺もちょっと事象の違いもちゃんと整理した上でそれについてどう対応するかっていうのをきちんと整理しなきゃいけないというふうに
5:06:44	今考えて今思いましたので、ちょっとその辺の事象の変位変遷とですね、併せてきちんと御説明できるようにしたいと思います。
5:07:10	規制庁側からの確認というのは以上になりまして東北電力さんの本店側のほうから何かございますでしょうか。
5:07:27	そこら辺のオザキでございます。こちら特に特段ございませんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



5:07:33	では東北電さんの方からもないようですので、ヒアリングのほうのこれで終わりたいと思います。以上です。
---------	---

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。